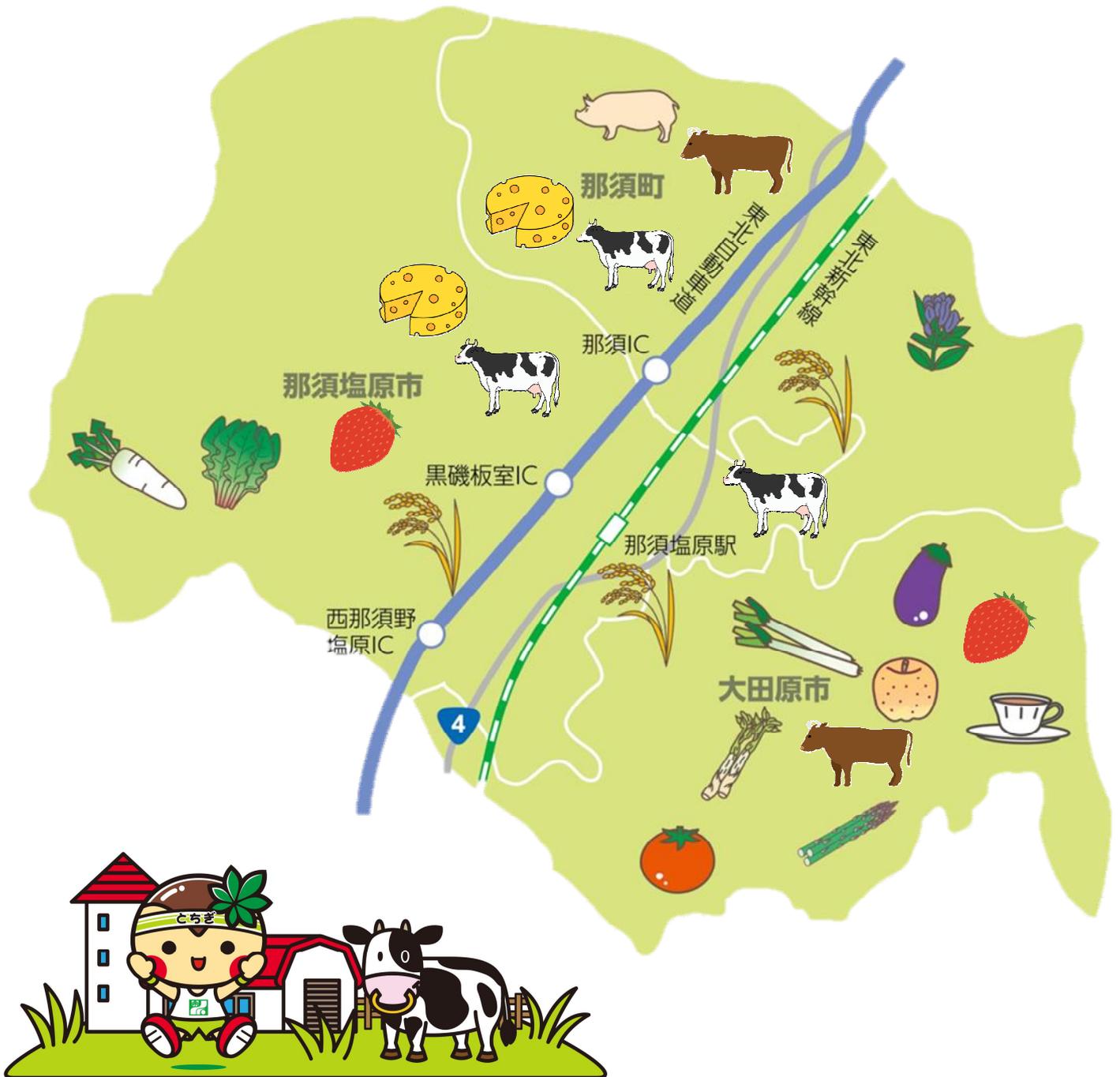


那須地方の農業



令和7（2025）年4月

栃木県那須農業振興事務所

はじめに

那須地方の農業・農村の振興につきましては、日頃から御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今日の農業・農村を取り巻く環境は、担い手の減少と高齢化、不安定な国際情勢に伴う燃油や生産資材の価格高騰などの問題に直面しているほか、デジタル化の進展や気候変動、都市住民の田園回帰やインバウンドの増加など、大きなターニングポイントを迎えています。

このような中、県では、本県農業を成長産業として持続的に発展させるため、農業振興計画『とちぎ農業未来創生プラン』に基づき、地域農業を持続的に支えるための「とちぎ広域営農システム」の構築や、土地利用型園芸の導入などによる収益性の高い水田農業の確立、先端技術の活用や耕畜連携の推進による畜産力の強化、都市農村の交流促進などに取り組んでいるところです。

那須地域では、豊かな水と広大な農地を活かした農業生産に加え、素晴らしい農村景観、有数の観光地などの地域の特性を十分に活用しながら、「時代を超えて持続的発展を目指す那須の農業」をテーマに、

- ①那須野ヶ原水田農業の確立
- ②那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
- ③地域資源を生かした農村地域の活性化

の3つの地域戦略に基づき、水田のフル活用や、園芸、畜産の産地発展、地域活性化の取組を中心とした農業・農村の振興に取り組んでおります。

家畜防疫については、那須地域の1例を含む全国の養豚場における豚熱の発生や他県の養鶏場での高病原性鳥インフルエンザの多発など、予断を許さない状況が続いています。管内においても関係機関・団体と連携しながら、野生イノシンに対する経口ワクチン散布や養鶏場周囲のため池における野鳥飛来防止対策などの発生抑制強化の取組を進めて参りました。引き続き、危機管理体制を維持・強化して参りますので、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

このたび、令和6(2024)年度の各種事業の実績と管内の農業・農村の動きをとりまとめました。業務の参考にしていただければ幸いです。

令和7(2025)年4月

栃木県農政部参事兼那須農業振興事務所長 大谷 義夫

目 次

トピックス	1
第1 那須地方の概要	15
第2 那須地域農業振興計画 2021～2025	
1 地域農業・農村の現状と課題	16
2 計画の推進方向	16
3 地域戦略	17
4 令和6年度取組結果	19
(1) 地域戦略指標の達成状況	19
(2) 地域戦略の取組に係る課題と対応策	21
5 那須農業振興事務所地域戦略の推進体制(令和6年度)	25
第3 那須地方の普及活動のまとめ	
1 令和6年度課題体系図	26
2 活動経過及び成果	
課題1 地域農業を支える多様な担い手の確保・育成	27
課題2 収益性が高い水田農業の確立	30
課題3 土地利用型園芸導入による園芸産地の拡大・強化	31
課題4 那須地域の特徴を生かした園芸の振興	32
課題5 生産技術改善及び規模拡大による畜産力の強化	33
課題6 水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進	34
課題7 安全・安心な那須の農畜産物生産の推進	35
3 管内認定農業者の動き	36
4 那須地方農業者組織の概要	37
第4 深山・板室ダムの管理状況	38
第5 農産物モニタリング検査状況	39

第6 那須地方の農業の動き

1 農業

(1) 市町村別農業産出額	40
(2) 市町別主要農産物の面積、収穫量	41
(3) 農漁業災害の状況（農作物、施設、畜産暑熱被害等）	41
(4) 農家戸数の動き	43
(5) 専兼業別農家戸数の動き	44
(6) 経営耕地面積規模別経営体数の動き	45
(7) 農産物販売金額別経営体数（農業経営体）	46

2 農業労働力

(1) 年齢階層別の経営体数の動き	47
(2) 基幹的農業従事者の推移	48

3 農地

(1) 年次別耕地面積の推移	49
(2) 市町別耕地面積の状況（令和6年）	50
(3) 市町別農業振興地域の現況地目別面積（令和5年）	50
(4) 市町別農用地利用集積及び利用権設定の状況	51
(5) 農地移転・転用の動き	52

4 市町別5年以内の後継者の確保状況	53
--------------------	----

5 ほ場整備実施状況（令和6年5月現在）	54
----------------------	----

6 農業協同組合等の概要	54
--------------	----

7 とちぎの地産地消推進店（那須地域）	55
---------------------	----

8 農業の6次産業化総合化事業計画認定一覧	57
-----------------------	----

9 那須地方の主要園芸作物（令和6年度）	58
----------------------	----

10 那須地方の直売所等

(1) 農産物直売所	59
------------	----

(2) 農村レストラン	60
-------------	----

(3) 農産物加工所	60
------------	----

11 カントリーエレベーター・ライスセンター設置状況	61
----------------------------	----

12 令和6年度経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付面積	63
-----------------------------------	----

13 令和6年度多面的機能支払交付金実施状況	64
------------------------	----

14 令和6年度農業制度金融承認実績（令和6年12月末現在）	64
--------------------------------	----

15 令和6年度主要事業実施状況	65
------------------	----

16 市町村の地域指定等について	70
------------------	----

17 地域計画策定状況	71
-------------	----

18 令和6年度主な農業関係表彰受賞者一覧	74
-----------------------	----

19 栃木県農業士等名簿（那須地方）

(1) 栃木県農業士	75
------------	----

(2) 栃木県女性農業士	75
--------------	----

20 那須地方の土地改良区名簿	76
-----------------	----

21 関係機関一覧	77
-----------	----

1 農地の受け皿となる法人の育成

地域営農の持続的な発展に向け、大田原市の北滝・片田集落では、座談会の開催等により集落構成員の合意形成を図り、令和6(2024)年3月、集落内の農地調整を担う「北滝・片田農用地利用組合」が設立されました。

さらに、農地の受け皿となる担い手組織の設立に向け、担い手座談会の開催、先進地視察、経営相談会における税理士による法人化指導を行いました。

今後は、新たに設立される法人を中心とした担い手の経営発展及び連携を推進し、作物ごとの団地化による効率的な営農体制の構築を支援していきます。



先進地視察



経営相談会での法人化指導

2 アスパラガスの産地強化

令和6（2024）年7月、出荷調整時の労働力不足の解決に向け、補助事業の活用により整備した「選別施設」が稼働し、選別作業における分業化の取組が開始されました。

12月には「アスパラガス高収益セミナー」を開催し、作業性に優れる「柵板式高畝栽培」や未来の農機「ロボット収穫機」の開発成果について講演しました。

今後は、分業化の取組を検証するとともに、余剰労働力の有効活用による規模拡大（単収向上・早出し作型導入等）を推進していきます。



選別施設の内部



高収益セミナー

3 剪定枝からのなし花粉確保を実証しました！

中国産花粉が輸入停止となり、令和6年産のなし花粉が不足することから、国庫補助事業を活用し、剪定枝のハウス加温による花粉確保実証に取り組みました。

令和6(2024)年3月、豊水の剪定枝5,659本を水稻育苗ハウスで生育促進させることにより、露地より5日程度早く開花させ、181gの花粉が採取可能であることを実証しました。

今後は、花粉専用品種の栽培推進や、花粉確保融通体制の確立等により、高品質果実の安定生産と更なる生産者の所得向上が期待されます。



剪定枝の採取



ハウス内での花粉採取

4 生産性向上のための機械利用セミナーを開催しました！

令和6（2024）年10月、ほ場条件等に合わせた適切な排水対策技術の導入及びスマート農業技術の活用による生産性向上を図るため、「生産性向上のための機械利用セミナー」を開催しました。

各メーカーによる機械の展示を交えた排水対策・技術や栽培管理支援システムについての説明の後、栃木県農業機械士会員から、作業機械点検のポイント等について講義をいただきました。82名の参加者からは、活発な質問等があり、経営改善や農作業安全意識の向上が伺えました。

今後も、技術指導や講習会などを通じて、生産者のさらなる生産性向上を支援してまいります。



講義及び農業機械の紹介

5 那須地域における稲 WCS 等飼料作物の生産利用拡大研修会を開催しました！

令和6（2024）年12月、水田における飼料作物の生産・利用拡大に向けた研修会を開催し、80名が参加しました。

山形大学農学部 浦川修司教授による講演の後、作物を生産する耕種農家と給与する畜産農家によるパネルディスカッションでは、活発な意見交換が行われました。

耕畜連携による飼料作物の生産利用の体制を構築し、水田の有効活用と飼料の安定確保を図ることで、耕種、畜産両者の経営の安定化を目指します。



講演の様子



パネルディスカッションの様子

6 那須管内で繁殖・肥育された黒毛和牛、全農枝肉共励会で最優秀賞を獲得しました！

「第26回全農枝肉共励会」において、JAなすの肥育牛部会長・佐藤和徳氏（大田原市）の出品牛が黒毛和種・去勢部門にて最優秀賞を獲得しました。

出品牛は、寺崎康人氏（那須塩原市）が育成し、佐藤氏が肥育素牛として矢板家畜市場で競り落とした、那須管内で繁殖・肥育された純那須地域産です。

肥育期間中は関係者による巡回や超音波肉質診断を行い、詳細な飼養管理指導を行いました。

今後も世界に誇れる那須ブランドを目指し、関係者と連携しながら、地域の畜産振興を推進していきます。



最優秀賞の枝肉と佐藤氏



最優秀賞となった肥育牛

7 第11回那須地域良食味米コンクールを開催しました！

那須地域のお米のPRやブランド力向上に向け、「那須地域良食味米コンクール」を開催し、「コシヒカリ部門」、「とちぎの星・その他良食味米品種部門」合わせて83点の応募がありました。

測定機器による分析で選別したサンプルについて食味審査を行い、アーデルファーム株式会社（那須塩原市）が2年連続で最優秀賞を受賞し、“殿堂入り”となりました。

那須地域の美味しいお米をPRするため、今後もコンクールを開催していきます。



各受賞者



優良事例の紹介

8 「道の駅 那須高原友愛の森」農村レストランにおける運営方針策定及び新メニュー開発支援

新たに施設整備される「那須の食のレストランなすとらん」の令和7(2025)年度オープンに向けた取組を支援しました。

専門家を交えた検討会や試食会が開催され、新メニューが決定されるとともに、団体客受入やスタッフ不足に対応するための運営方針が策定されました。

オープン後も引き続き、道の駅が交流人口増加を目指す取組を支援していきます。



試食会の様子



新メニュー検討会の様子

9 農地バンクを活用した農地整備事業地区の農地集積・集約化の取組を推進しました！

大田原市下深田地区では、農地整備事業を契機とした農地の流動化を進めるため、話し合いを重ねました。また、那須農業振興事務所及び大田原市が連携し、地域に寄り添い農地バンクの活用に向けた支援を行いました。

地区面積の8割で農地バンクとの契約が行われ、担い手を中心とした安定的な営農体系が構築されるとともに、地域には機構集積協力金が交付されました。

さらに、令和6（2024）年度から多面的機能支払交付金による農地維持活動の取組も開始され、持続的な地域農業の発展が期待されます。



農地バンク制度説明会



農地集積・集約状況図

10 災害に強い農地づくりを推進しました！

夏季高温などの気候変動に伴い増加している農業気象災害への対応力を強化するため、防災対策の支援を行っています。

日塩ほうれんそう暑熱対策研究会に加入するほうれんそう農家において、暑熱対策に向けた遮光ネットの効果検証を実施しました。さらに、那須野農業協同組合いちご部会における、農業版 BCP の取組を推進しました。

今後も、産地の持続的な発展に向け、気象災害への対応力強化を支援していきます。



遮光ネットを設置したほうれんそうハウス



農業版 BCP の推進パンフレット

11 50th anniversary 深山ダム

一級河川那珂川上流に位置する深山ダムは、半世紀もの長きにわたり水資源の安定供給を通じて那須地域の農業や人々の生活を支えています。

建設 50 周年を迎え、現地見学会の開催や記念ダムカードを配布することで、ダムが果たしている役割についての理解促進を図るとともに、老朽化が進む施設や設備の点検、補修・更新等の整備など、安全性や信頼性の維持に向けた取組を一層推進しています。

次の半世紀も利水ダムとしての役割を果たし続けられるよう、利害関係者と連携しながら、適正な維持管理に努めていきます。



深山ダム



現地見学会の様子（7月）

12 鮎料理教室を開催しました！

那珂川の鮎をPRするため、那珂川あゆ街道推進協議会では、令和6（2024）年11月、一般消費者を対象とした「鮎料理教室」を開催しました。

料理研究家の白居芳美氏を講師として、13名の参加者が3品の鮎料理の調理と試食を行いました。参加者からは、鮎の新たな食べ方を知り、魅力を再発見することができたとの声が上がりました。

那珂川沿川の地域資源のPR及び地域への誘客促進のため、今後もイベント等の開催を支援していきます。



料理教室の様子



鮎のオイル煮のカナッペ

13 牛乳を味わおうキャンペーンを開催しました！

那須地方農業振興協議会では、那須地域の牛乳の消費拡大を目的としたキャンペーンを実施しました。

令和6（2024）年12月～令和7（2025）年1月の期間で、管内市町ブランドに認定されている牛乳購入者を対象としたキャンペーンを開催し、県内外から150件の応募がありました。また、管内酪農家のインタビューや牛乳の紹介記事を掲載したリーフレットを作成・配布し、PRと酪農の理解促進に努めました。

引き続き、イベント開催などを通じて那須地域の牛乳のPRに取り組んでいきます。

大田原市・那須塩原市・那須町
那須地域ブランド牛乳

日光精酪高産大牧場株式会社 那須塩原牛乳
那須塩原市内の酪農家が搾った牛乳を100%使用しています。那須塩原産の牛乳は濃厚でコクがあり、牛乳らしい牧草のような芳醇な香りが特徴です。

新生酪農株式会社 バスチャライズド牛乳
提携酪農家による新鮮で良質な生乳を原料としています。さらさらとしたほんりの甘い、本来の生乳に近い味をお楽しみいただけます。

ホウライ株式会社 千本松牧場牛乳
生乳の自然な味わいも、からだに良い成分も生かしたまま食卓に届けたいから、搾りたての生乳を低温殺菌しています。さらさらと癖がなく、ほんりの甘い味わい。しぼりたての生乳がもつ、雑味のない味わいを楽しんでいただけます。

株式会社鹿ヶ丘牧場 ガーンジーゴールドミルク
一般的に知られるホルスタイン牛に比べて、体格も一回り小さく、搾れる乳量も半分程度の希少な「ガーンジー種」の牛乳です。乳成分が高く、コクがあっただけでクリーミー、それでいてクセも少なくすっきりとした味わいが特徴です。

ブランド牛乳のほかにも那須地域で生産された牛乳の製品はたくさんあるよ、お家で試してみてください。

酪農家インタビュー
「バスチャライズド牛乳」の生産者、「君島牧場」をご紹介します

那須塩原市にある君島牧場では、乳用牛約60頭を飼養しています。経営主の君島竜さんは、昨年お父さんから経営を引き継ぎ、現在は、お姉さんと2人で協力を牧場を運営されています。

生産のこだわりは？

- 飼料（エサ）について
自分の農場で作った牧草やトウモロコシを中心に、非遺伝子組み換えの穀物を給与しています。また、一頭一頭に合わせた量を、体調を見ながら調整してあげています。
- 乳質について
牛舎をきれいに保つことで、乳質に影響を及ぼす病気を予防し、那須帯根酪農組合の厳しい品質基準をクリアした生乳を出荷しています。

酪農の楽しさや魅力を教えてください。
自分の努力が牛の健康や生乳の品質に表れることです。

苦労していることは？
牛のためには良いエサを作らなければいけないので、学ぶことがたくさんあり、日々試行錯誤しています。

最後に、消費者へのメッセージをお願いします。
バスチャライズド牛乳は、栄養と味わいが売りなので、ぜひ普段飲んでいる牛乳と飲み比べてみてください。

那須地域の牛乳を飲モ〜ウ!
〜那須地域は全国有数の牛乳の産地です〜

那須地域の牛乳を味わおうキャンペーン
対象牛乳の購入&応募で賞品を当てよう

R6(2024) R7(2025)
12.1日〜1.31日

A賞 (10名) 那須チユルチーズ研究会
B賞 (7名) 那須地域
C賞 (5名) 栃本県内

チーズ詰め合わせ 市町ブランド産品 観光いちご園
組み合わせ 組み合わせ ペア入園無料券

応募方法
① 商品を購入したレシートの写真と専用応募フォームに添付して送信。(1レシートにつき1応募) または
② Instagramに購入した商品の写真をハッシュタグ「#那須の牛乳キャンペーン2024」を付けて投稿。

※応募必須可 ※賞品はホームページの応募規約をご覧ください。
●最速なる到着の上、2月以降に出発前までメールもしくはインスタグラムダイレクトメッセージの発行にて発送いたします。

8月・12月は「栃木県民牛乳消費拡大月間」

牛乳消費拡大リーフレット

14 とちぎグリーン農業を推進しました！

グリーン農業に対する生産者や関係機関団体の理解促進を図るため、研修会を2回開催しました。

1回目（8月）は、みどり認定を受けた管内農業者の事例紹介、2回目（11月）は塩谷町(令和5（2023）年度オーガニックビレッジ宣言)及び有機農業実践者による講演を行いました。

JAなすの湯津上天狗園芸部会やどてはら環境保全会に団体認証を推進し、管内の認定者は145名となりました（令和7（2025）年3月21日時点）。

今後も各市町でとちぎグリーン農業を推進します。



那須地域グリーン農業研修会

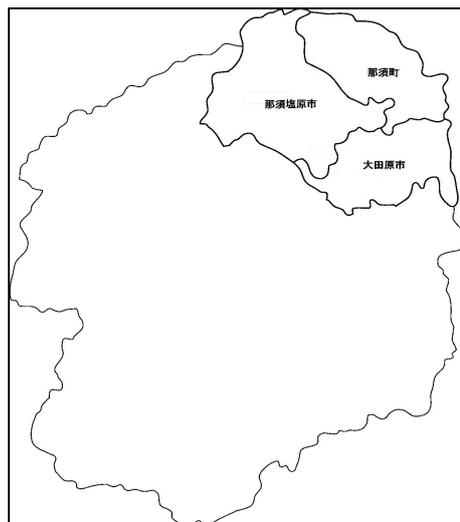


みどり認定 認定式
(どてはら環境保全会)

第1 那須地方の概要

1 位置

那須地方は県の最北部に位置し、大田原市・那須塩原市・那須町の2市1町からなり、東経139度44分から140度16分、北緯36度43分から37度09分に至り、東部は茨城県に、北部は福島県に接している。



2 地勢

那須地方の面積は、1,319km²で、県全体面積6,408km²の約21%にあたる。

このうち、耕地面積は222km²で県全体の耕地面積の約23%を占めている。

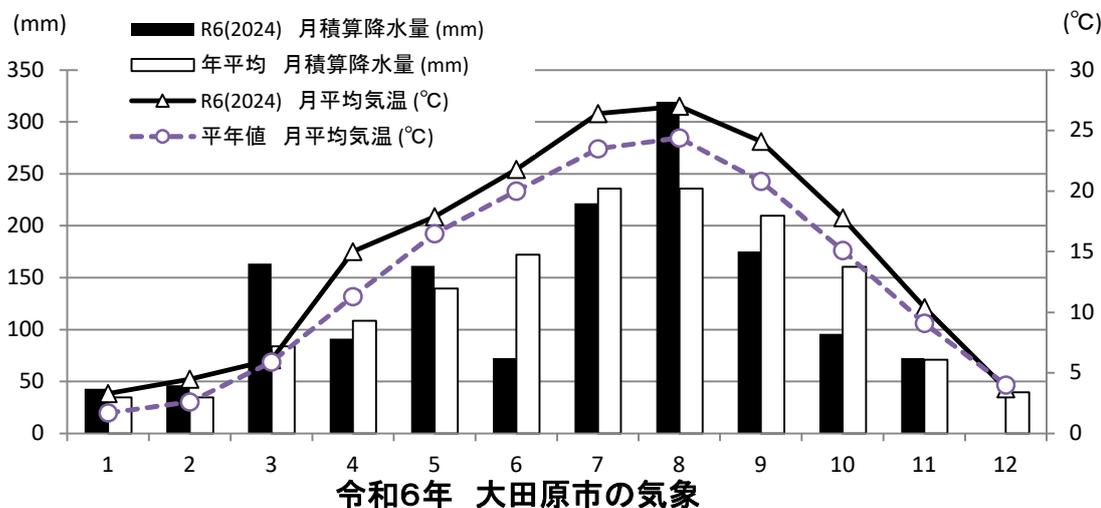
東北西三面は山岳地帯で自然美に恵まれ、中央以南は那須野ヶ原扇状地が開けている。河川はおおむね源を北西部の県境に発し、那珂川が余笹川、箒川等を合流して東折し、茨城県的那珂湊に注いでいる。

3 気象

6月初旬ごろには日本海を通過する寒冷前線の影響により、雷雨・降雹をみることがある。冬は太平洋側の特徴を示し、乾燥した好天気にも恵まれ気温は低い。

大田原市の年平均値は平均気温が12.9℃、降水量1,526mm、日照時間1,954時間、平均風速1.6m/sである。

令和6年の月別平均気温は、いずれの月も平年並か平年より高くなり、年平均気温が平年比+1.9℃と高くなった。降水量は、6月が平年比42%と少なく、3月が平年比195%であったが、年間積算降水量は平年比96%と平年並となった。



気象庁気象統計データより

4 人口

那須地方の人口は211,253人で県全体の約11%を占める。

年次別総人口及び農業人口の推移

(単位:戸・人・%)

	総人口		農家人口		農家世帯率
	世帯数	人口	農家数	人口	
平成7年	61,608	208,938	11,761	60,087	19.1%
平成12年	69,783	216,851	11,058	54,898	15.8%
平成17年	75,534	220,740	10,361	48,646	13.7%
平成22年	81,325	222,167	9,648	36,289	11.9%
平成27年	82,925	217,522	8,773	29,789	10.6%
令和2年	86,356	211,253	7,697	22,834	8.9%
令和2年/平成27年	104%	97%	88%	77%	

* 平成12年から農家数は販売農家数と自給的農家数の合計、令和2年から農家人口は農業経営体の世帯員数

(資料) 総人口は国勢調査・農家人口は農林業センサス

第2 那須地域農業振興計画 2021～2025

1 地域農業・農村の現状と課題

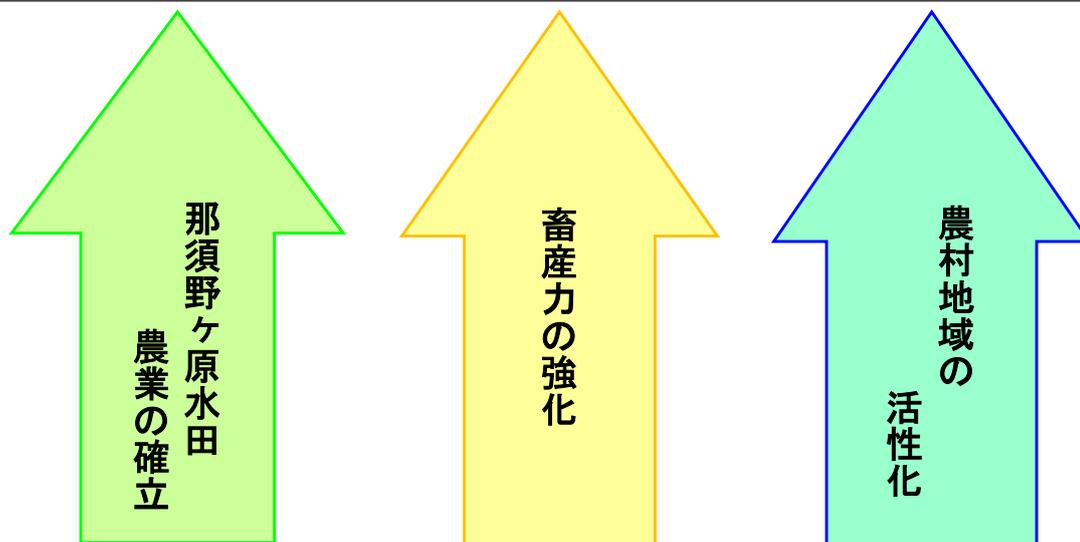
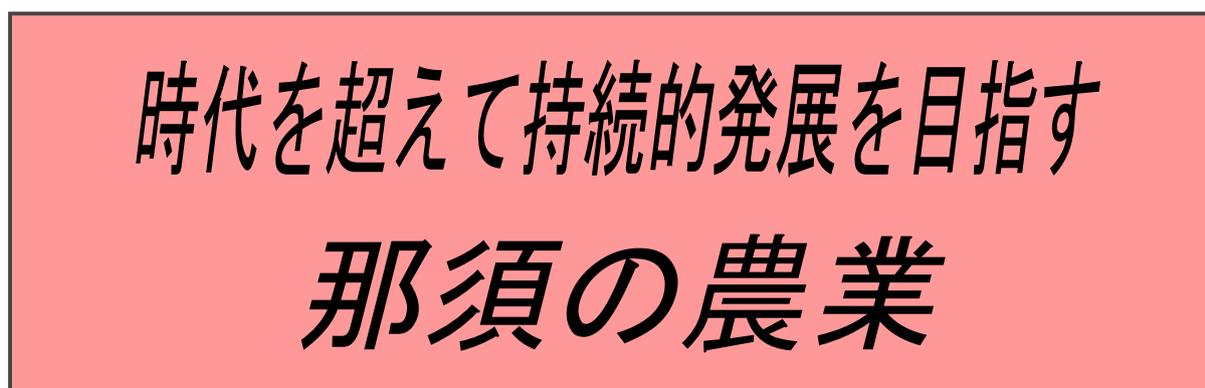
那須地域は、那須連山等の裾野域を中心に、酪農をはじめとする本州一の畜産基地が形成され、中南部の扇状地では、那須野ヶ原を代表とする広大な水田が広がり、米麦を中心とした大規模な土地利用型農業が盛んに営まれているほか、「那須の白美人ねぎ」や「那須の春香うど」などのブランド野菜など、地域に適した園芸生産が行われています。

一方で、水田農業においては、10ha以上の経営体の増加など一定の規模拡大が進んでいるものの、生産者の高齢化や後継者の不在などにより、地域の担い手不足が懸念されています。

畜産においては、農家1戸あたりの飼養頭数の増加に伴い、国際情勢に左右される飼料価格の変動等により経営が大きく影響されることから、効率的な飼養管理や飼料作物の生産拡大が必要となっています。

また、豊かな観光資源に恵まれ、観光客をターゲットとした紅茶やチーズ等6次産業化商品の開発及び地域の食・文化と結びつけた都市農村交流の取組が進んでいますが、さらなる誘客促進を図るため、那須地域の特徴ある取組の磨き上げや情報発信力の強化を進める必要があります。

2 計画の推進方向



3 地域戦略

地域戦略 1 那須野ヶ原水田農業の確立

対応方向

水稲+ねぎなど那須地域にあった家族労力を中心とした安定複合経営の確立を支援するとともに、集落営農組織の連携や合併を推進し、経営強化を図ります。

また、土地利用型経営の所得向上を図るため、農地の大区画化や経営発展に合わせた先端技術の導入による作業の効率化及び良質・良食味米の産地である地域の特徴を生かした米のブランド化を推進します。

主な指標

項目	現状(R2)	目標(R7)
○水田を活用した園芸生産者数	234名	⇨ 300名
○集落営農組織の合併（再編・連携・組織化）数	—	⇨ 3地区
○新たな水稲品種「とちぎの星」の導入面積	206ha	⇨ 400ha
○10ha以上の土地利用型経営体数	402経営体	⇨ 475経営体
○ほ場整備事業実施地区数	4地区	⇨ 8地区
○スマート農業技術導入経営体数	59経営体	⇨ 150経営体



広大な水田が広がる那須野ヶ原

取組方策

- 水稲+ねぎなど地域にあった水稲+園芸複合経営の確立
- 実需が求める良食味米生産技術の確立と省力・低コスト稲作技術の普及
- 人・農地プランでの話し合いによる担い手の確保・育成及び農地の集積・集約化

地域戦略 2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」

対応方向

水田における飼料作物の生産と利用を拡大して、耕畜連携による資源循環型農業を推進するとともに、飼養管理の省力化・効率化を図るためにスマート農業技術導入を推進するなど、畜産力の強化を図ります

主な指標

項目	現状(R2)	目標(R7)
○スマート農業技術導入割合(経営体数)	9% (75経営体)	⇨ 17% (111経営体)
○規模拡大及び新規就農(参入)農家数	5戸	⇨ 20戸
○水田における飼料作物(稲WCS等含む)等栽培面積	4,587ha	⇨ 6,250ha



WCS用稲の収穫

取組方策

- スマート農業技術導入による畜産力の強化・効率的な飼養管理技術の確立支援
- 規模拡大農家、新規就農者や新規参入者等担い手の確保・育成
- 生産基盤強化のため水田を活用した飼料作物の栽培利用の拡大

地域戦略 3 地域資源を生かした農村地域の活性化

対応方向

那須地域の多彩な地域資源を最大限に生かした農村地域の活性化を図るため、農村拠点施設の機能強化等を支援するとともに、食を中心とした「農・宿・湯・遊」をつなぐ仕組みづくりと地域組織等の育成を進めます。

主な指標

項目	現状(R2)	目標(R7)
○交流拠点施設利用者数	285万人	⇒ 380万人
○将来ビジョンを作成する拠点施設数	2施設	⇒ 7施設
○都市農村交流に取り組む地域組織数	6組織	⇒ 11組織



イベントでの菜の花プロジェクトPR

取組方針

- 拠点施設の機能の多様化と組織間連携等による農村拠点施設の機能強化
- 地域資源を生かした都市農村交流の促進に向けた組織の育成
- 新規就農者や農業後継者等による「仲間づくり拠点」の形成による魅力ある地域づくり活動の推進



4 令和6年度取組結果

(1) 地域戦略指標の達成状況

【概要】

令和6年度は、3つの地域戦略の12指標の中で、農業資材価格高騰等の影響により、達成率が低い指標もあったが、8指標で目標値を達成した。

特に、「スマート農業技術導入経営体数」の実績値は、目標値を上回り、経営体の規模拡大等に合わせて効果的な取組が進められている。

今後とも、那須野ヶ原水田農業の確立、畜産力の強化、農村地域の活性化に向けて、各戦略課題の取組強化を図っていく。

地域戦略名	1 那須野ヶ原水田農業の確立
-------	----------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R6目標値に対する達成状況
水田を活用した園芸生産者数	名	234 (R2)	248 (R3)	262 (R4)	276 (R5)	290 (R6)	300 (R7)	86% △
			234	245	252	251		
新たな水稻品種「とちぎの星」の導入面積	ha	206 (R2)	240 (R3)	280 (R4)	320 (R5)	360 (R6)	400 (R7)	100% ○
			325	138	196	363		
30ha以上の土地利用型経営体数	経営体	21 (R1)	23 (R3)	26 (R4)	29 (R5)	32 (R6)	36 (R7)	109% ○
			22	23	26	35		
ほ場整備事業実施地区数	地区	4 (R2)	4 (R3)	4 (R4)	5 (R5)	7 (R6)	8 (R7)	85% △
			4	4	5	6		
集落営農組織の再編・連携・組織化	地区	— (R2)	0 (R3)	1 (R4)	1 (R5)	2 (R6)	3 (R7)	100% ○
			1	1	1	2		
スマート農業技術導入経営体数	経営体	59 (R2)	76 (R3)	93 (R4)	111 (R5)	130 (R6)	175 (R7)	123% ◎
			113	117	136	161		

地域戦略名	2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
-------	---------------------------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R6目標値に対する達成状況
スマート農業技術導入割合 (経営体数)	%	9 (75戸) (R2)	10 (80戸) (R3)	11 (85戸) (R4)	12 (90戸) (R5)	16 (108戸) (R6)	17 (111戸) (R7)	102% ○
			10 (80戸)	11 (85戸)	15 (105戸)	16 (110戸)		
規模拡大及び新規就農(参入) 農家数	戸	5 (R2)	8 (R3)	11 (R4)	14 (R5)	17 (R6)	20 (R7)	100% ○
			8	9	14	17		
水田における飼料作物(稲WCS等含む)等面積	ha	4,587 (R2)	4,620 (R3)	4,652 (R4)	4,679 (R5)	6,220 (R6)	6,250 (R7)	88% △
			5,182	6,135	6,080	5,458		

地域戦略名	3 地域資源を生かした農村地域の活性化
-------	---------------------

➤ 指標値

(上段：計画値、下段：実績値)

項目	単位	(計画時)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)	R6目標値に対する達成状況
将来ビジョンを作成する拠点施設数	施設	2 (R2)	3 (R3)	4 (R4)	5 (R5)	6 (R6)	7 (R7)	100% ○
			3	5	5	6		
交流拠点施設利用者数	万人	300 (推定) (R2)	320 (R3)	340 (R4)	360 (R4)	370 (R6)	380 (R7)	95% △
		285	305	309	323	336 (推定)		
都市農村交流に取り組む地域組織数	組織	6 (R2)	7 (R3)	8 (R4)	9 (R5)	10 (R6)	11 (R7)	100% ○
			8	9	9	10		

R 6 目標値に対する達成状況集計表

記号	達成率	指標項目数	割合	備考
◎	115 %以上	1	8%	
○	100% 以上115% 未満	7	58%	
△	100 %未満	4	33%	
計		12	100%	

(2) 地域戦略の取組に係る課題と対応策

[概要]

- 那須地域農業振興計画の3地域戦略については、関係機関・団体との連携のもと、地域の特徴を活かした次の各種施策を展開し、着実に効果を上げている。
- 「水田農業の転換」については、土地利用型園芸を導入した安定複合経営を推進・支援するため、園芸作物導入研修会による新規栽培者の作付支援、アスパラ選別施設の本格稼働に合わせたアスパラ高収益セミナーの開催、露地ねぎ栽培講習会等の開催及びJAなすのねぎ選果施設運営委員会と連携したメガ産地育成の推進を行った。
- 「実需が求める良食味米の生産」については、良食味米生産に向けた技術対策の検討、那須地域良食味米コンクールの開催等により良食味米産地をPRした。
- 「次世代につなぐ農業の展開」では、生産性向上のための機械利用セミナーの開催によるスマート農業技術導入推進、地域座談会開催支援や先進地視察等による広域営農システム構築支援、グリーン農業研修会開催等によりとちぎグリーン農業推進を図った。
- 「畜産力の強化・効率的な飼養管理技術の確立支援」では、スマート農業技術導入状況の調査を行うとともにドローンを活用した飼料作物増産技術の実証によるドローン等の導入推進を図った。
- 「飼料作物の栽培利用の拡大」では、「那須地方耕畜連携推進会議」を開催やセミナー開催により、耕種農家における堆肥の活用や飼料生産の担い手確保等の推進を図った。
- 「農村拠点施設の機能強化」では、道の駅「那須高原友愛の森」（那須町）で規模拡大及び施設配置の最適化による誘客促進を目指す中、再整備される農村レストランの営業戦略作成及びメニュー開発を中山間地農業ルネッサンス推進事業（国庫）を活用して支援をした。
- 「地域資源を生かした都市農村交流の促進」については、地域活性化に取り組んでいる実践者・団体等の交流会を開催し、実践者同士のネットワークづくりや今後の展開に向けた情報交換を行った。
- 「魅力ある地域づくり活動の推進」では6次化アドバイザー派遣によるブランド化及びHACCP取得支援や、農村整備活動を実施する地域活性化組織とボランティアのマッチング支援を行った。



広域営農システム集落検討会



耕畜連携セミナーにおける酪農家と耕種農家のパネルディスカッション



塩原地区の農業・農村活性化に向けた意見交換会

地域戦略名	1 那須野ヶ原水田農業の確立
-------	----------------

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
<p>○土地利用型園芸作物の導入推進による、新規栽培者の確保 (15名)</p> <p>●高齢化による栽培規模縮小や離農者が増加傾向</p> <p>○アスパラガス選別施設が7月10日から本格稼働 稼働日数79日、利用者54名、出荷総数量142t</p> <p>○園芸メガ産地の育成支援によりメガ産地栽培面積が40haを達成 (R5年度実績から11ha拡大)</p> <p>○実需が求める良食味米生産に向け、特Aプロジェクトによる良食味生産技術の展示ほを8カ所設置した結果、県北産コシヒカリが「特A」、県北産なすひかりが「A」を獲得</p> <p>○関係機関と連携し、那須地域良食味米コンクールを開催、優良事例の紹介や意見交換を実施</p> <p>○生産性向上のための機械利用セミナー (10月) を開催しロボットトラクタや栽培管理支援システムを紹介した結果、スマート技術導入経営体数は19戸増加 (R6実績: 161経営体)</p> <p>○広域営農システムモデル地区で、集落営農組織再編・連携のための座談会の開催を支援</p> <p>○市町の地域計画策定を支援し、R6年度末に全93区域で地域計画が策定・公告</p> <p>○ほ場整備計画地区 (1地区) とほ場整備実施地区 (2地区) 支援。下深田地区で地域集積協力金を活用した農地バンク利用による集積率が向上</p> <p>●<u>地域農業の担い手確保及び水田農業の省力化・低コスト化の推進</u></p> <p>○とちぎグリーン農業の推進を図り、みどり認定件数122件 (R7.2末)、有機農業取組面積145ha (R5実績140ha) に拡大</p>	<p>◇さらなる新規栽培者確保に向けて、那須地域就農支援ネットワーク会議等で就農支援情報の収集・一元化を図るとともに、県内外の就農相談会への出典を積極的に誘導</p> <p>◇産パ事業を活用した産地拡大支援、長期出荷に向けた早期出荷策型の導入支援</p> <p>◇夏ねぎ作型の安定生産技術の確立、那須地方就農支援協議会等と連携した新規栽培者確保</p> <p>◇関係団体と連携した展示ほの設置・運営。特に気候変動 (温暖化) や地理的条件を考慮した施肥設計の検討</p> <p>◇「環境に配慮した取組」のPRも目指したコンクール内容を検討</p> <p>◇農業支援サービス事業者等の育成支援とスマート農機の導入支援</p> <p>◇広域営農システムの推進による地域農業の担い手の確保・育成</p> <p>◇関係機関と連携した地域計画の実行に向けた支援</p> <p>◇農地集積計画の策定やほ場整備計画作成に向けた支援</p> <p>◇次世代型生産基盤技術の導入や農地の区画拡大など、スマート農業に対応した条件整備の推進</p> <p>◇関係機関と連携したみどり認定の取得推進、オーガニックビレッジ宣言に向けた取り組みを支援</p>

地域戦略名	2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
-------	---------------------------------

主な取組状況 (○) と課題 (●)	課題への対応策
<p>○水稲立毛状態におけるイタリアンライグラスのドローン播種現地実証 (10月)</p>	<p>◇自給飼料増産に向けたドローン等のスマート技術の導入推進</p>

<p>○畜産公共事業活用農家3戸における草地造成・整備等を推進</p> <p>○各種会議等における関係機関と連携した就農者情報の収集徹底</p> <p>○耕畜連携推進に関するセミナーを開催し、稲WCS専用品種の普及推進ならびに酪農家と耕種農家の意見交換を実施(12月)</p> <p>○「那須地方耕畜連携推進会議」を開催し、耕種農家における堆肥の活用や飼料生産の担い手確保等について関係機関で協議(8月、2月)</p> <p>●<u>飼料生産の作業担い手(コントラクター等)の規模拡大及び新規担い手確保の推進</u></p>	<p>◇有効性検討により農家へ情報提供を行う</p> <p>◇畜産公共事業、畜産クラスター事業等を活用した基盤強化の支援</p> <p>◇新規就農者への就農計画等の立案の就農支援</p> <p>◇新たに稲WCS専用品種の栽培や給与を行う農家に対しての技術指導</p> <p>◇堆肥利用組織や飼料生産の担い手に対して、機械導入による規模拡大を支援</p> <p>◇飼料生産の担い手に対して、作付品種・品質管理、拡大計画等の指導を実施</p>
--	---

地域戦略名	3 地域資源を生かした農村地域の活性化
-------	---------------------

主な取組状況(○)と課題(●)	課題への対応策
<p>○「那須高原友愛の森」の農村レストランの営業戦略及び新メニュー開発支援、「明治の森黒磯」の乳製品開発支援</p> <p>○北那須産直会の活動支援により、管内直売所間の連携強化及び那須地域の農産物のPRや新規顧客の獲得を促進</p> <p>○地域活性化実践者・団体の横の連携強化を目的とした交流会を実施</p> <p>○6次化実践農家のステップアップ支援</p> <p>○大田原グリーンツーリズム推進協議会連携委員会における農家民宿の整備に係る取組支援</p> <p>○那珂川あゆ街道(R2~5年度活動休止)の活動再開を支援</p> <p>○牛乳の消費拡大を図るため、「那須地域の牛乳を味わおうキャンペーン」を開催</p>	<p>◇関係機関及び運営会社と情報共有し、必要に応じて事業等活用しながら引き続き支援を継続</p> <p>◇農産物直売所や農村レストランの新商品の開発や、よりよい店づくりの取組に対する支援を継続</p> <p>◇引き続き地域活性化実践者・団体等の交流機会を作り、情報共有や連携を活性化させる取組を継続</p> <p>◇6次産業化に係るアドバイザー派遣を通じたブランド化、新商品開発支援</p> <p>◇引き続き個人向け農泊の受入体制強化のための施設整備及び体験コンテンツ等の拡充を支援</p> <p>◇地域資源である鮎を活用した誘客促進やPRなどの協議会の活動を継続支援</p> <p>◇インスタグラム等活用し、旬の農産物等の情報発信を継続</p>



地域の将来を考える集落座談会



6次化アドバイザー派遣



土地利用型園芸の推進
(ねぎ：園芸作物導入研修会)



ドローンによる牧草種子の直播



鮎料理教室（那珂川あゆ街道）

5 那須農業振興事務所地域戦略の推進体制（令和6年度）

那須地域農業振興計画推進会議 [開催：5、9、2月]

【会長：所長 構成：部課長会議メンバー、各推進チーム】

地域戦略推進委員会 [開催：5、9、2月（必要に応じ開催）]

【委員長：企画振興部長 構成：各部総括補佐、各推進チームリーダー・サブリーダー】

各推進チーム会議 [適時開催]

重点戦略

総括窓口・所内調整（企画振興部総括補佐）

1 明日へつなく

「意欲的な若者をはじめとする多様な人材が活躍し、本県農業を力強く支え、明日へつながる農業を展開します。」

経営普及部

2 強みを伸ばす

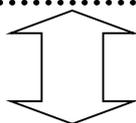
「大消費地に近く、広大な水田と高い生産技術などの本県の強みを最大限に生かし、成長産業としての農業のさらなる発展を図ります。」

経営普及部
企画振興部

3 呼び込み・拓く

「新しい人の流れの創出による農村地域の活性化と安全・安心で住みよい農村づくりを進めます」

企画振興部
農村整備部



地域戦略（推進組織：推進チーム）

地域戦略1

那須野ヶ原水田農業の確立

リーダー：経営普及部 農産課
サブリーダー：企画振興部
メンバー：14名

地域戦略2

那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」

リーダー：経営普及部 畜産課
サブリーダー：企画振興部
メンバー：9名

地域戦略3

地域資源を生かした農村地域の活性化

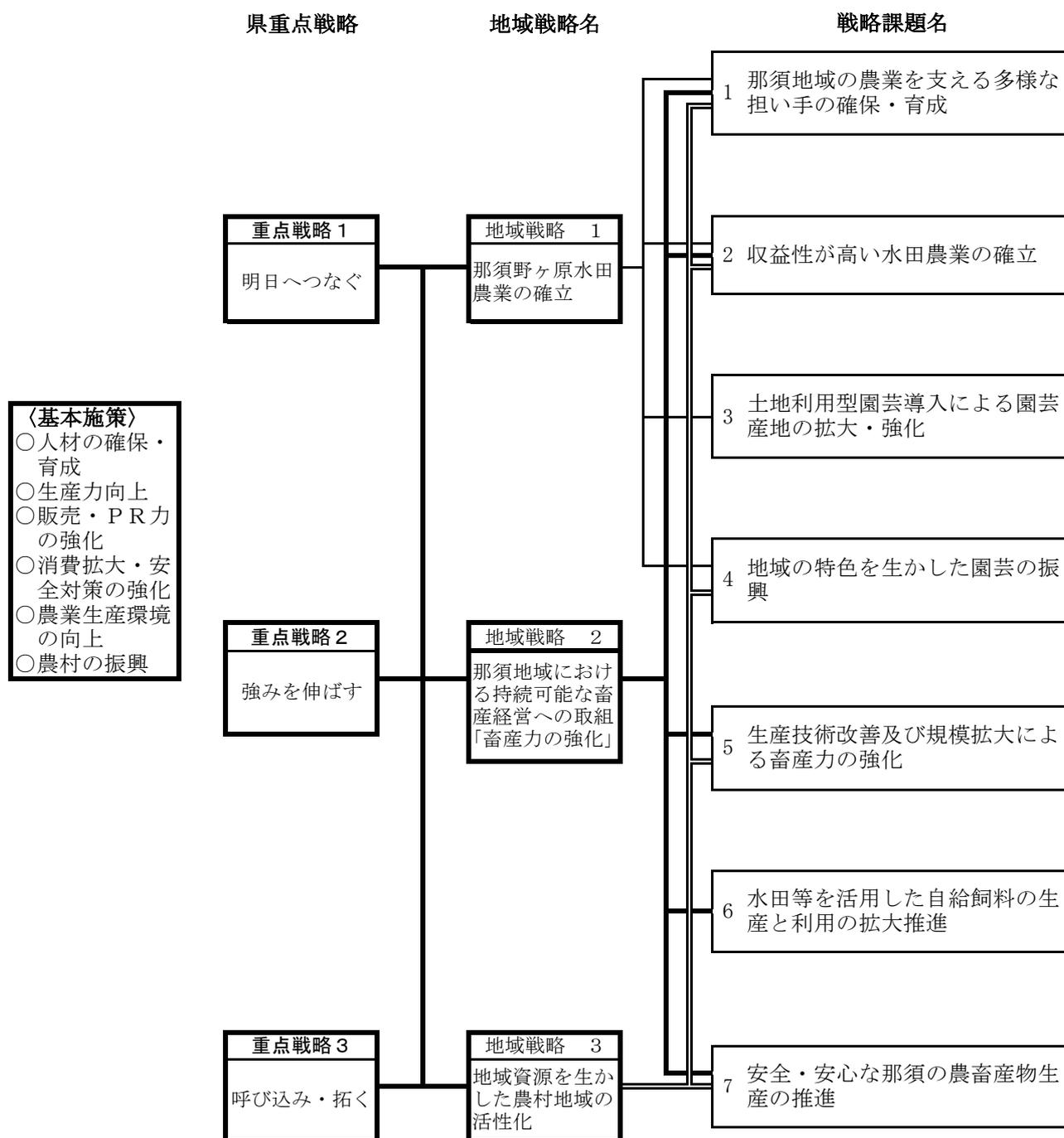
リーダー：企画振興部 企画振興課(振興T)
サブリーダー：企画振興部
メンバー：10名

所内調整（各部）

第3 那須地方の普及活動のまとめ

1 令和6年度課題体系図

◀ 基本目標：成長産業として持続的に発展する農業・栃木 ▶



2 活動経過及び成果

課題1 那須地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

【新規就農者の確保・育成】

1 取組の背景

那須地方の永続的な農業発展のためには、関係機関・団体が一体となって新規就農者等の確保・育成を図る必要がある。また、青年農業者で組織される青少年クラブは、クラブ員数の減少やそれに伴う活動停滞が課題となっている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 就農支援体制及び研修体制の強化による青年新規就農者の確保

就農支援ネットワーク会議をとおして就農支援情報や施策の共有化を図り、就農希望者各々の要望や就農準備段階に応じた相談対応を関係機関・団体と連携して実施した。また、6月、8月、10月、2月には関係機関・団体と協力し、那須地域就農相談会や現地見学会を開催するなど、就農希望者の掘り起こしや就農に対するイメージ作りを支援した。さらに、令和5年2月に設立された那須地域新規就農支援協議会に対して運営支援を行い、令和6年度研修生3名の指導と就農準備の支援を行った。また、令和7年度研修生を1名確保し、継続的に就農希望者を確保、支援する体制が整いつつある。教育機関との連携では、県農業大学校学生や那須拓陽高校生徒との面談を行うなど、就農意欲の醸成に取り組んだ。

(2) 青少年クラブ組織活動支援及び専門部活動支援

青少年クラブ員や新規就農者及び新規就農者育成総合対策事業活用者等を対象に、新規就農コンサル事業を実施し、個別指導や各種セミナーの開催による経営、技術の改善を図った。また、青年農業者の個別経営課題解決に向けたプロジェクト活動を支援し、実績意見発表会において3課題の発表が行われた。



那須地域就農相談会



長期研修の様子

【活動実績】

項目	R2※	R3	R4	R5	R6	R7	R 7 目標値
新規自営就農者のうち青年新規就農者数	164名	25名	30名	16名	21名		175名 (35名/年)
プロジェクト発表数	13課題	3課題	4課題	2課題	3課題		15課題 (3課題/年)

※ H28～R2の累計 R3～R7は単年度

3 今後の展開方向と課題

(1) 就農支援ネットワーク会議及び就農支援組織等の機能発揮による新規就農者の確保

就農支援ネットワーク会議の機能強化を図るとともに、現地見学会や地域内外での就農相談会への参加を促し、多様な担い手の確保を図る。また、新規就農支援協議会を始めとする管内研修制度の運営を支援するとともに、就農希望者に対して技術習得に向けたサポートを実施する。

(2) 支援体制の強化による効果的な青年農業者の育成

新規就農者、青年農業者等を対象とした新規就農コンサル事業（個別支援・各種セミナー）を開催するとともに、個別経営課題解決に向けたプロジェクト活動を支援することで、青年農業者の経営・技術改善と資質向上を図り、将来の地域農業を担う人材を育成する。

【女性農業者の育成】

1 取組の背景

「第5期とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」に基づき、パートナーシップに基づく経営の推進、次世代女性農業経営者の育成を図ってきたが、活力ある農村形成のためには、これまで以上に女性農業者の活躍が重要となっている。農村女性が農業経営や農村社会において力を最大限に発揮し、魅力ある農業経営と農村生活を目指した活動に取り組めるよう、環境づくりや組織活動の支援を行っている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 男女共同参画意識の高い農業者の育成

農村女性会議役員を対象に「私らしく楽しむ農業」と題して、令和5年度に女性農業士に認定された沼野里美氏を講師に男女共同参画推進研修会を実施し、女性リーダーの資質向上を図った。

また、大田原市農業委員 Team あゆみが、これまでの活動が評価され、令和6年度農山漁村女性活躍表彰「女性地域社会参画部門（組織）農林水産大臣賞」を受賞した。

本年度の家族経営協定締結数 14 件のうち、女性を含む締結数は 11 件であった。

(2) 次世代を担う女性農業者の確保・育成

農業経営に参画して比較的経験の浅い女性農業者を対象とし、スタートアップ講座を開催した。今年度は、新規就農者へも参加を募り、国際医療福祉大学糸数教授から「農作業の正しい姿勢と体のほぐし方」とし、腰痛など体を痛めないための知識と、予防のためのストレッチを実習した。また、「農場紹介カードづくり」を行い、自らの農業経営の発信力の向上を図る講座も開催した。

ロールモデルとなる農村女性の育成を目的として、農業経営に参画している女性農業者向けのアクティブ講座を実施した。今年度は、女性酪農家組織「カウベル」を対象に仔牛の哺育管理技術向上のため伊藤忠飼料株式会社 養牛事業課 岡崎氏から、仔牛の預託事業について説明を受け、哺育技術・経営について情報交換を行った。

また、地域の活性化に取り組む女性農業者が、東洋大学生と連携し、hikari no cafe 蜂巢小店で「ハチのクリスマス会」を開催した。女性農業者のほか若手農業者や高校生などが参加し、それぞれの生産物を販売するなど、消費者及び参加者と交流した。



男女共同参画推進研修会



アクティブ講座(酪農)



ハチのクリスマス会

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7 目標値
男性受講者の割合	—	7% (3%)	11% (5%)	10% (10%)	33% (15%)	(20%)
女性を含む家族経営協定締結数	20 件/年	10 件/年 (30 件/年)	13 件/年 (30 件/年)	13 件/年 (30 件/年)	11 件/年 (30 件/年)	(30 件/年)
新規女性農業者研修受講者数	—	12 名 (5 名/年)	21 名 (5 名/年)	5 名 (5 名/年)	10 名 (5 名/年)	(5 名/年)

3 今後の展開方向と課題

(1) 男性の男女共同参画意識向上に向け、男性農業者の理解促進を図る。

(2) 次代の地域農業を担う幅広い人材の確保・育成に向け、若手女性農業者が農業経営に円滑に参画できる環境整備・支援を行う。

【効率的かつ安定的な経営体の確保・育成】

1 取組の背景

地域農業及び農地の維持に向けて、認定農業者、集落営農組織等の担い手の育成・確保を推進してきたが、高齢化と後継者不在のため、個別・組織ともに担い手数が減少している。そのため、広域で営農を担う経営体を確保・育成するとともに、地域住民等も参画し地域営農を支えていく「広域営農システム」づくりを推進する必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) 効率的で持続性の高い経営体の確保・育成

経営改善計画作成に係る助言、経営改善情報誌「Fight!」の発行による情報提供、経営高度化個別相談会の開催による経営継承等の相談、複式簿記基礎講座・パソコン簿記講座の開催により、担い手の経営管理能力の向上を図った。また、リストアップした20ha以上の経営体に対して各種研修会への参加を促し、更なる経営規模拡大を推進した。



複式簿記基礎講座

(2) 経営体・集落営農組織の法人化推進

法人化志向経営体の個別相談や、経営相談会での農業経営指導スペシャリストからの助言、専門家派遣事業の実施により、法人化までの体系的な支援を行った結果、2経営体が法人となった。



先進地視察(北滝片田地区)

(3) 集落営農組織の再編推進

八木沢天領地北営農組合への員外への作業受託拡大や、集落営農組合飛火鞍法人化への法人化を働きかけたが、新たな取組には至らなかった。また、集落営農組織の巡回活動の中で、大田原市薄葉地区の既存の3組織（中薄葉上集落営農組合、中薄葉下集落営農組合、合同会社五月営農）を中心とした新たな組織化の動きを把握した。

(4) 広域営農システムの推進

管内3モデル地域（北滝片田地域、下大貫周辺地域、桜久保周辺地域）での広域営農システム構築を推進し、北滝片田地域では、先進地視察の実施や経営相談会、専門家派遣事業の活用により、今後の地域農業の主な担い手となる株式会社が設立される見込みとなった。

【活動実績】

項目	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R7目標値
30ha以上 ^{※1} の経営体数	—	22	23	26	35	36
法人経営体数(注)	125(4) ^{※2}	128(5)	131(5)	139(5)	141(5)	143(8)
意向確認組織数	20	20	20	20	20	20
広域営農システムモデル地域選定	0	3	3	3	3	3
新規集落営農組織の育成	0	0	0	0	0	2

※1：那須地域の土地利用型経営（耕種）の育成すべき経営体モデルを30ha以上（農業所得1,500万円・労働力2.5人）とした
 ※2：（ ）内は集落営農法人数

3 今後の展開方向と課題

- (1) 規模拡大志向担い手をリストアップし、法人化、雇用環境の改善等による経営発展を促すとともに、スマート農業技術や直播等の省力技術の導入、主食用米以外の作物の作付拡大による経営規模拡大を支援する。
- (2) 経営改善計画や資金計画等から法人化を志向する経営体や集落営農組織等を把握し、個別巡回等による意向確認や、経営相談会への誘導、専門家派遣による法人化支援を行う。
- (3) 北滝片田地域については、新規設立法人等の経営強化、担い手間の連携、団地化・ゾーニングの推進支援を行う。また、「地域計画スタート事業（県単）」を活用し、地域計画実行のモデル地区を選定し、担い手への農地集積・集約化及び広域営農システム推進のための支援を行う。

課題2 収益性が高い水田農業の確立

1 取組の背景

(一財)日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて、R6年産「栃木県北コシヒカリ」が特A評価を獲得するなど那須地域は良食味米の産地であるが、「良食味米産地」だけでは「令和の米戦国時代」の中、「消費者に選ばれる米産地」としては厳しい状況にあり、水稻生産者の経営維持・拡大が難しくなりつつある。また、近年夏季の異常高温により、主力品種コシヒカリの品質・等級が低下している。これらの課題を解決するため、食味向上要因の解析と技術普及、産地PRのための良食味米コンクールの開催、登熟期間の高温に強い「とちぎの星」の作付けを推進する。

一方で、経営安定のために主食用米から国産需要の高い麦・大豆の作付拡大を推進していく必要があるが、異常気象に対応した収量・品質確保に向けた栽培様式の改善が必要である。

同時に、農業者の高齢化や後継者不足の影響による土地利用型農業の担い手不足を補うために、スマート農業技術や省力・低コスト栽培技術を導入した大規模経営体の育成が急務である。

2 普及活動の経過と成果

(1) 高品質な良食味生産技術の導入

良食味米生産のための展示ほを管内8か所に設置し、特A評価の獲得に向け、関係機関・団体と連携した栽培技術指導を行った。その結果、R6年産は「県北コシヒカリ」が特A、「県北なすひかり」がA評価となった。

(2) 売れる米づくりの推進と産地PR

第11回那須地域良食味米コンクールに2部門合計83点の応募があった。機械分析による一次審査を経て、各部門2点が進んだ二次審査では、県内の消費者7組、とちぎフレッシュメイト及び管内若手耕種農業者4名が食味審査を行い、最優秀賞1点を選出した。

また、「とちぎの星」の作付けを推進した結果、主食用米の作付面積は363haとなった。

(3) 麦・大豆の高品質化

二条大麦について講習会・現地検討会・啓発資料等で高品質安定生産に向けて指導した。R6年産の単収は、前年比107%の393kg/10aとなった。大豆について現地検討会を10月に開催し、合計22名の参加があった。

(4) 省力・低コスト化稲作生産技術の普及

スマート農業研修会を10月に開催し、81名が参加した。

超低コスト水稻生産に向け、スマート農業技術を導入した

3経営体の指導等を行ったほか、補助事業を活用し、スマート農業技術導入を支援した。



生産性向上のための機械利用セミナー

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7目標値
食味ランキング評価（コシヒカリ、なすひかり）	A	特A※	A	特A※	特A※	特A
「とちぎの星」生産面積（ha）	206	325	138	196	363	400
二条大麦の単収（kg/10a）	351	386	332	368	393	383
大豆の単収（kg/10a）	181	164	170	139	115	199
スマート農業技術導入経営体（耕種農家：戸）	24	64	73	86	100	105

※：R3, R5, R6の特Aはコシヒカリのみ（なすひかりはA評価）

3 今後の展開方向と課題

(1) 展示ほの設置による良食味米生産の技術支援と「特Aプロジェクト」の充実強化を図るとともに、那須地域良食味米コンクールを開催し、県内外へ良食味米産地をPRする。

(2) 需要に応じた主食用米生産を推進するほか、高品質かつ多収の「とちぎの星」の作付けを推進する。

(3) 麦・大豆ともに作付面積は減少傾向の中、異常気象や病虫害等の影響で収量・品質が不安定となっているため、展示ほ等を活用しながら技術支援を行い、収量・品質の向上を図る。

(4) 大規模化と生産性向上による高収益経営を推進するため、優良事例の紹介や各種補助事業の活用を積極的に支援し、スマート農業技術を導入した水稻経営のさらなる低コスト化を目指す。

課題3 土地利用型園芸導入による園芸産地の拡大・強化

1 取組の背景

那須地域は、県内有数の広大な水田が広がり、大規模な土地利用型農業が展開され、主食用米の他、転作作物として麦、大豆、飼料作物及び園芸の産地が形成されている。特に園芸では、米麦との複合で取り組む農家が多く、水田を活用した土地利用型園芸品目では、ねぎ、うど、なす等が産地化されている。近年、米の需要減少が続く中、県内有数の広大な水田の活用方策について、更なる工夫、取組が必要となっている。

2 普及活動の経過と成果

(1) 土地利用型園芸品目新規栽培者の確保

園芸推進会議を開催し、管内の土地利用型園芸の拡大について共通認識のもと推進した結果、本年度は新たに12戸が、夏秋なす、ブロッコリー、ねぎ、とうがらし等の品目で栽培を開始した。

(2) 露地ねぎの安定生産技術向上と産地拡大

ねぎ選果施設を軸とした産地基盤強化に向け、ねぎ部会、ねぎ選果施設運営委員会に対するメガ産地構想の達成支援及び夏ねぎの作付推進や栽培技術指導を行った。生産者は減少傾向にあるが、栽培面積は前年と同程度の115haが維持された。



夏ねぎのべたがけ栽培

(3) うどの高品質多収技術の確立

株養成時・伏せ込み時に病害防除や栽培技術を指導した。

(4) モデル産地の規模拡大による生産安定

モデル産地（JAなすのたまねぎ部会、(合)マルホファーム、(株)那須ハートフルファーム）に対して、産地構想達成に向けた作付拡大・栽培技術支援及び商談会への参加誘導を行った。

(5) 土地利用型野菜導入による新たなモデル産地の育成

新たな産地モデルの掘り起こしに向け、関係機関・団体と情報共有に努めるとともに、候補となる経営体の現状把握を行なったが、新たなモデル産地の確保には至らなかった。

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7目標値
土地利用型園芸新規栽培者（戸）※	77	89	104	110	122	157
露地ねぎ栽培面積（ha）	83	90.5	100	114	115	130
山うど平均単収（kg/10a）	728	763	688	725	615	775
軟化うど平均単収（kg/10a）	1,306	1,137	1,132	1,251	1,202	1,350
JAなすのたまねぎ部会 栽培面積（ha）	4.6	5.6	4.4	4.6	4.5	10
マルホファーム 栽培面積（ha）	-	2.4	4.8	6.1	5.7	8
那須ハートフルファーム 栽培面積（ha）	-	-	6.0	7.3	7.8	8
新たなモデル産地の育成数※	3	4	5	5	5	6

※ 累計数

3 今後の展開方向と課題

- (1) 土地利用型園芸作物の推進及び新規栽培者の確保・育成のため、関係機関・団体と連携した土地利用型園芸作物の導入を推進するとともに、新規栽培者の定着・育成、栽培技術の向上のため支援を継続する。
- (2) 露地ねぎの産地拡大を図るため、安定的な周年出荷に向けて、メガ産地の拡大及び夏ねぎ（7月どり）の導入推進とともに、ねぎ選果施設の安定稼働を図る。また、有望品種の選定など安定生産のための技術支援を行う。
- (3) 土地利用型園芸導入による新たなモデル産地の掘り起こし及び、既存モデル産地の拡大に向けた各種支援を継続する。

課題4 那須地域の特徴を生かした園芸の振興

1 取組の背景

那須地方の施設園芸は、いちご、アスパラガス、トマト、にらで、主要園芸品目販売額の約43%を占めている。近年は、環境モニタリング機器を導入し栽培管理に活用する農家が増えており、更なる導入促進と活用技術の普及が必要である。また、既存園芸産地の高齢化が進む中、JA園芸部会による新規栽培者確保と新規栽培者への技術支援として那須地域新規就農支援協議会の取組が始まった。なお、農家後継者、担い手確保とあわせて、産地維持拡大のための基盤強化が必要である。

2 普及活動の経過と成果

(1) 新規栽培者の確保・育成

関係機関、団体と連携し、就農相談や栽培技術等を支援した結果、7名の新規園芸栽培者を確保した。

(2) アスパラガスの産地拡大支援

選別施設の整備に伴い、作付拡大の推進及び安定生産に向けた技術支援を行った。令和6年産の栽培面積は56.8haで、販売額は2年連続で10億円を突破した。



アスパラ選別施設

(3) いちごの安定生産・収量向上支援

栽培講習会等を通じた「とちあいか」の品種特性周知・適正管理指導による普及推進に取り組んだ結果、令和7年産の栽培者数は86戸20.4haに増加した。また、環境モニタリング機器を活用した多収栽培技術の横展開や、実証展示ほの成果周知による芽数管理技術の普及等に取り組んだ結果、令和6年産の「とちあいか」平均単収は5.4t/10aとなった。

(4) トマトの新技术・新品種導入による品質収量向上

栽培講習会等で定植時期の前進化や品種比較試験を活用した新品種の導入推進などを行った結果、冬春トマトの単収は6.9t/10aとなった。

【活動実績】

(5) にら単収向上による経営安定

「ゆめみどり」の技術指導により単収が1.4t/10aとなった。

(6) 輪ぎくの秀品率向上

土壌診断に基づく栽培管理等の指導により秀品率が42.7%となった。

(7) なしの改植と樹勢強化による生産性の向上

改植による生産性向上と樹勢強化技術の理解促進を図ることにより、樹勢強化技術導入数は13戸となった。

項目	R2	R6	R7 目標値
新規栽培者数(累計)(戸)	2	7	25
アスパラガス面積 (ha)	53	56.8	60
アスパラガス単収(t/10a)	1.5	1.5	1.4
とちあいか作付面積 (ha)	0.6	20.4	21.0
とちあいか単収 (t/10a)	3.9*	5.4	6.6
冬春トマト単収 (t/10a)	6.2	6.9	8.0
にら単収 (t/10a)	1.3	1.4	2.0
輪ぎく秀品率 (8~9月) (%)	43.2	42.7	46.0
なし樹勢強化技術導入数 (戸)	1	13	23

※令和2年産とちおとめ平均単収

3 今後の展開方向と課題

(1) 就農支援ネットワーク会議や、関係機関等との連携により、園芸導入志向者に対し、個々の状況に合わせた支援・指導を行う。

(2) アスパラガス選別施設を活用した新規栽培者の確保・育成と既存栽培者の作付拡大など、産地強化に向けた取組を実施する。

(3) いちご王国・栃木戦略の目標達成に向けて、「とちあいか」の導入推進を図るとともに、新規栽培者等を対象とした重点指導を行い、収量・品質の高位平準化を図る。

(4) 冬春トマトの収量・品質向上のため、新品種や新技术の導入等による経営改善の支援を行う。

(5) 那須管内に適したにらの栽培体系を確立する。

(6) 輪ぎくの高品質安定安定を目指し、秀品率が低下する夏期の高温対策を支援する。

(7) 樹勢強化技術による収量性向上と高温障害軽減効果を実証し、にっこりによる改植の推進及び樹勢強化技術の定着を図る。

課題5 生産技術改善及び規模拡大による畜産力の強化

1 取組の背景

畜産経営は、輸入飼料価格の高騰や、経済情勢による畜産物の需要低迷により収益が低下しており、また、那須地域の畜産農家戸数も減少傾向にある。そのため、収益性の改善や担い手確保、労働費の低減が課題となっている。一方で、畜産の生産基盤強化を図るための技術として、水田を利用した稲 WCS の生産や、スマート農業による省力化などへの関心が高まるとともに、耕畜連携による資源循環農業の推進も求められている。そこで、生産性の向上や高品質な畜産物生産を目指し、先進的な技術の普及定着による畜産力の強化に取り組んでいる。

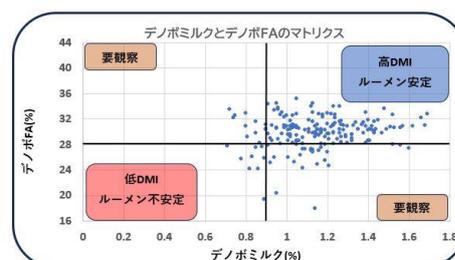
2 普及活動の経過と成果

(1) 生産技術改善及び効率化による生産力強化

スマート農機 (U-motion) の飼養管理への応用の検討を実施し、その結果を牛群検定組合員と共有し、飼養管理の高度化を図った。また、自給飼料生産の省力化のため傾斜地での牧草のドローン播種に取り組んだ。

酪農分野では、黒磯牛群検定組合員を対象とし、高寿命型牛群の飼養管理や資材高騰下でのコスト低減手法に関するアンケート調査、生乳中の脂肪酸組成を飼養管理に活用する手法の検討等を行い、その内容を牛群検定組合の広報誌等に掲載した。また、次年度の暑熱対策実施に向け農閑期で寒冷である2月に暑熱対策の研修会の開催を支援した。

肉牛分野では、和牛繁殖経営の若手生産者組織 (那須塩原市子牛研究会) に対して、出荷牛の発育調査及び飼養管理指導を実施し、生産技術の高位平準化を図った。また、那須和牛の産肉成績向上のため、JA、家畜保健衛生所及び畜産酪農研究センターと連携し、添加剤給与による枝肉成績向上試験を実施した他、血液分析や超音波肉質診断による肥育農家の巡回指導を行い、肥育技術向上を図った。



乳中脂肪酸組成が良好な牛(DnM+DnFの上位5頭、ルーメン発酵が安定した牛)

行ラベル	産次	分娩回数	BHB (mM/L)	乳量 (kg)	乳脂肪 (%)	SCC (千/ml)	乳蛋白 (%)	MUN (mg/dl)	デノボミルク (%)	デノボFA (%)
1326	2	100	0.02	42.2	3.15	7	3.54	10.9	1.05	35.1
1303	2	142	0.02	46.5	3.47	8	3.86	10.5	1.13	34.4
1203	4	43	0.02	62.5	2.9	4	2.91	11.9	0.95	34.4
1179	4	35	0.04	49.3	2.8	8	3.22	7	0.91	34.3
1219	3	213	0.07	45.3	3.93	21	3.17	10.6	1.26	33.9

乳中脂肪酸(デノボFA)のマトリクス



肥育牛の超音波肉質診断

(2) 規模拡大や新規就農・新規参入者の確保・育成による生産力の強化

規模拡大志向農家に対し施設整備等による規模拡大・環境対策の計画策定を支援し、国庫事業の活用を促した (公共事業 11 戸、畜産環境対策総合事業 1 協議会)。また、空き牛舎を活用した和牛繁殖への新規参入希望者の営農計画作成等の支援を行った。

【活動実績】

項目	現状 R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 目標値
スマート農業技術導入農家戸数(戸)	75	80	85	105	110		111
枝肉格付け AB45率(%)	89.6	94.0	97.5	97.0	99.2		95.0
検定乳量(kg)	10,429	10,604	10,620	10,563	10,520		10,629
規模拡大及び新規就農(参入)農家戸数(戸)	5	8	9	14	17		20

3 今後の展開方向と課題

- (1) スマート農業技術の最新技術の把握と情報発信に努め、費用対効果を考慮した導入を支援する。
- (2) 関係機関と連携した新規就農者の情報収集と就農支援に努める。持続的な畜産経営の発展のために粗飼料基盤拡大や畜産環境対策に対して支援を行う。

課題6 水田等を活用した自給飼料の生産と利用の拡大推進

1 取組の背景

那須地域は栃木県全体の畜産農家戸数の約5割を有する畜産地帯であるが、近年の飼料価格高騰などから、持続可能で安定した畜産経営を行うために飼料自給率の向上が求められている。特に那須地域は広大な水田を有するため、これを活用した耕畜連携による飼料作物の栽培及び利用の拡大が期待できる。しかし、飼料増産には収穫・調製の担い手確保が課題であり、コントラクター等の作業受託組織を確保・育成し、作付面積拡大のための取り組みを推進する必要がある。

一方、単収向上技術は気候変動やほ場の大規模・広域化に対応するものが求められており、夏季の高温利用による飼料用とうもろこしの二期作栽培や、作業の効率化につながる農業用ドローン等の新技術の実証により推進を図る必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) 耕畜連携による持続可能な畜産経営の推進

耕畜連携による那須地域の耕種・畜産双方の持続的な経営発展を目指すため、「那須地域における稲 WCS 等飼料作物の生産・利用拡大研修会」を開催した。山形大学農学部 浦川教授による講演、飼料作物を生産する耕種農家2名とそれを給与する畜産農家2名とのパネルディスカッションを行った。

また、稲 WCS 生産農家と利用畜産農家で構成された生産組織に対し、稲 WCS の品質向上や低コスト生産の技術指導を行った。

(2) コントラクター組織等の取り組み支援

コントラクター組織の現状を把握し、各組織の課題に対し作付品種や栽培管理・収穫調製の指導を行うとともに、収穫機械等の導入による、請負面積の拡大を支援した。

(3) 単収向上に向けた取組

飼料用とうもろこしの二期作栽培を行っている農家に対して、二毛作との生育比較や作業計画の作成支援を行い、単収向上や作期分散が期待される技術であることが実証された。

「WCS 用稲の収穫前における牧草のドローン播種検討会」を開催した。牧草の不耕起栽培の一つであるが、ドローン播種後、WCS 用稲の収穫作業により種子が鎮圧されたため、耕起、整地、鎮圧の工程が省略され、効率的な栽培技術として注目されている。

【活動実績】

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標値
水田における飼料作物栽培面積 (ha)	4,587	5,230	6,135	6,080	5,458		6,250
WCS用稲作付面積における専用品種の割合 (%)	25	29	25	24	20		31



稲 WCS 生産農家と利用畜産農家の意見交換会



ドローンによる牧草種子の播種

3 今後の展開方向と課題

- (1) 飼料作物の生産・利用拡大に向け、畜産農家に対して専用品種の稲 WCS の有用的特徴を周知するとともに、耕種農家に対して畜産農家が求める稲 WCS の特徴と高品質な稲 WCS 栽培技術の指導を行う。
- (2) 新しく設立したコントラクター組織に対して、作業計画の作成を支援するとともに、機械体系や品種の見直しによる、効率的な作業体系について指導する。
- (3) 飼料生産コスト低減及び単収増加のため、飼料用とうもろこしの二期作栽培や農業用ドローン等の新技術の活用を推進するとともに、ほ場の特性に基づいた肥培管理や作業体系を指導する。

課題 7 安全・安心な那須の農畜産物生産の推進

1 取組の背景

管内農業の持続的な発展や産地の信頼性を確保するためには、農薬の適正使用による「農産物の安全」確保に加え、「環境の保全」、「作業者の安全」につなげるGAPの取組を進める必要がある。

また、管内は放射性物質による農畜産物への影響が解消されておらず、吸収抑制対策や牧草等の給与前検査に基づく飼養管理指導を継続する必要がある。

2 普及活動の経過と成果

(1) GAPの取組推進

GAP導入のための農場点検の理解促進を図るため、部会組織等に対し講習会等を実施するとともに、各組織の役員への働きかけを行った結果、新規に1組織で農場点検を実施した。

(2) とちぎグリーン農業（みどりの食料システム戦略）の推進

とちぎグリーン農業推進方針への理解促進のために認定農業者や環境保全型農業直接支払事業取組組織向け研修会や、JA生産部会に対しみどり認定について説明会を行い、湯津上天狗園芸部会、どてはら環境保全会、水稻生産者等の146名がみどり認定を受けた。また、市町の実情に合わせたグリーン農業の取組を推進し、研修会を開催した。

環境保全型農業直接支払交付金を活用し、化学肥料施用量及び化学合成農薬成分回数の5割低減の取組を推進した。その結果、同交付金に84組織が取り組み、取組面積は173,907aとなった。

【活動実績】

環境保全型農業直接支払交付金の取組実績（面積：a）

市町名	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	組織数	面積										
大田原市	14	13,836	14	15,807	14	12,816	13	16,017	14	17,928	15	17,882
那須塩原市	41	119,651	40	115,412	40	110,965	38	94,795	38	100,861	35	108,408
那須町	32	42,204	34	43,178	34	42,236	33	42,637	34	45,188	34	47,617
計	87	175,691	88	174,397	88	166,017	84	153,449	86	163,449	84	173,907

(3) 放射性物質対策の推進

大豆、そばへの放射性物質吸収抑制対策の推進を行った。また、688点（R7.3.10時点）の牧草等の給与前検査を実施し、検査結果に基づく飼養管理指導を行った。

3 今後の方向・課題

(1) 農業者及び生産者組織（JA部会等）に対し、GAPの精度向上及び定着のための農場点検や、県による第三者確認の支援、JGAP等の国際水準GAPの継続取得を支援する。

(2) みどり認定の申請や環境保全型農業直接支払交付金の取組拡大により、環境負荷の低減と収益性の向上を両立した取組の拡大を目指す。

(3) 放射性物質吸収抑制対策の推進及び牧草等の給与前検査に基づく飼養管理指導を継続して実施する。また、安全な畜産物の生産のため、飼養管理状況の確認及び出荷指導を継続して実施する。



認定農業者向け研修会

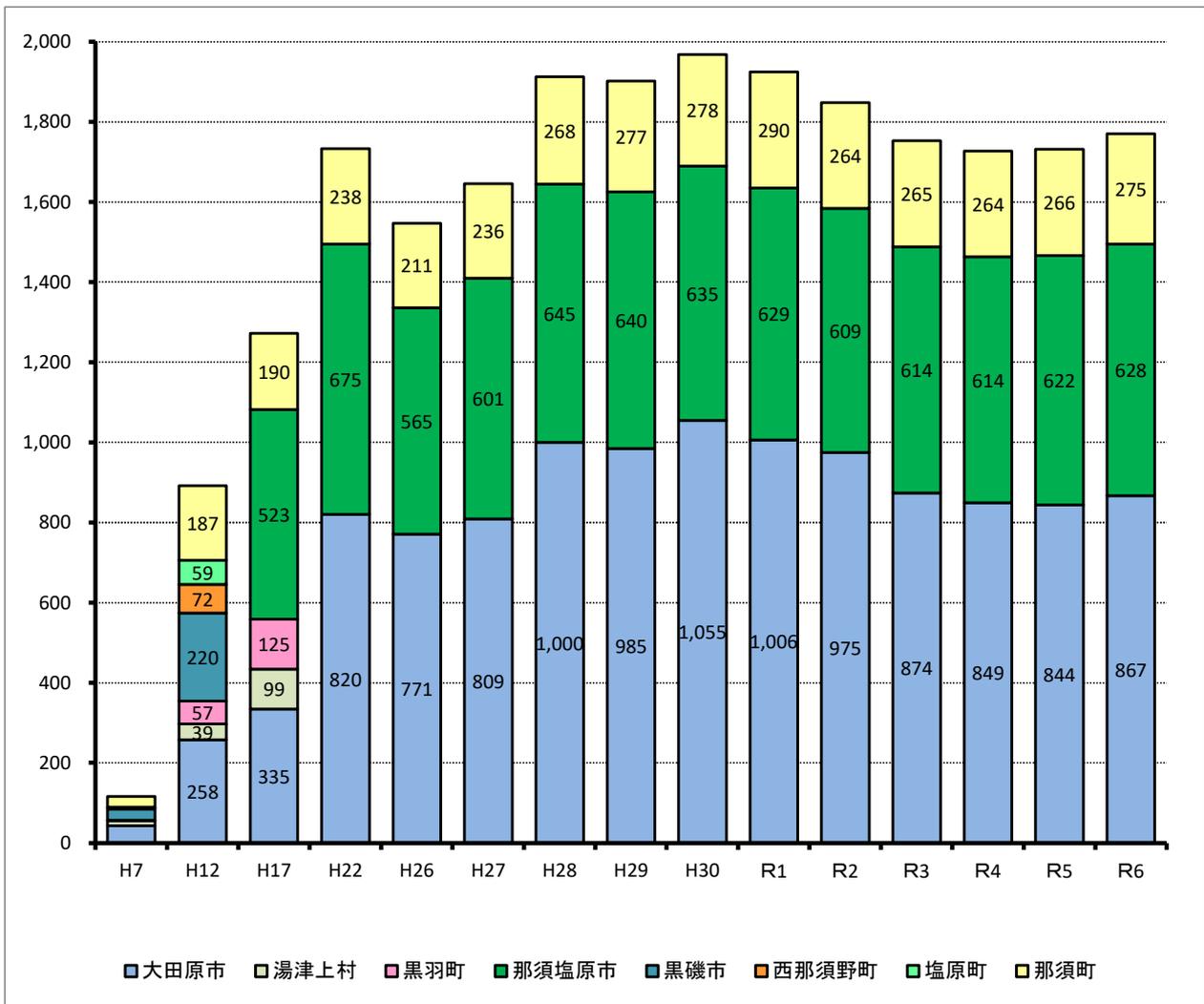


環境直払取組団体向け有機農業研修会

3 管内認定農業者の動き

	H7	H12	H17	H22	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
大田原市	43	258	335	820	771	809	1,000	985	1,055	1,006	975	874	849	844	867
湯津上村	13	39	99	大田原市へ											
黒羽町	1	57	125	大田原市へ											
那須塩原市			523	675	565	601	645	640	635	629	609	614	614	622	628
黒磯市	28	220	那須塩原市へ												
西那須野町	4	72	那須塩原市へ												
塩原町	1	59	那須塩原市へ												
那須町	26	187	190	238	211	236	268	277	278	290	264	265	264	266	275
管内計	116	892	1,272	1,733	1,547	1,646	1,913	1,902	1,968	1,925	1,848	1,753	1,727	1,732	1,770
県合計	419	4,374	5,487	7,523	6,783	6,654	7,295	8,045	8,192	8,148	7,925	7,669	7,638	7,655	7,727
県に占める割合	27.7%	20.4%	23.2%	23.0%	22.8%	24.7%	26.2%	23.6%	24.0%	23.6%	23.3%	22.9%	22.6%	22.6%	22.9%

※いずれも3月末時点(広域認定を含む)



4 那須地方農業者組織の概要

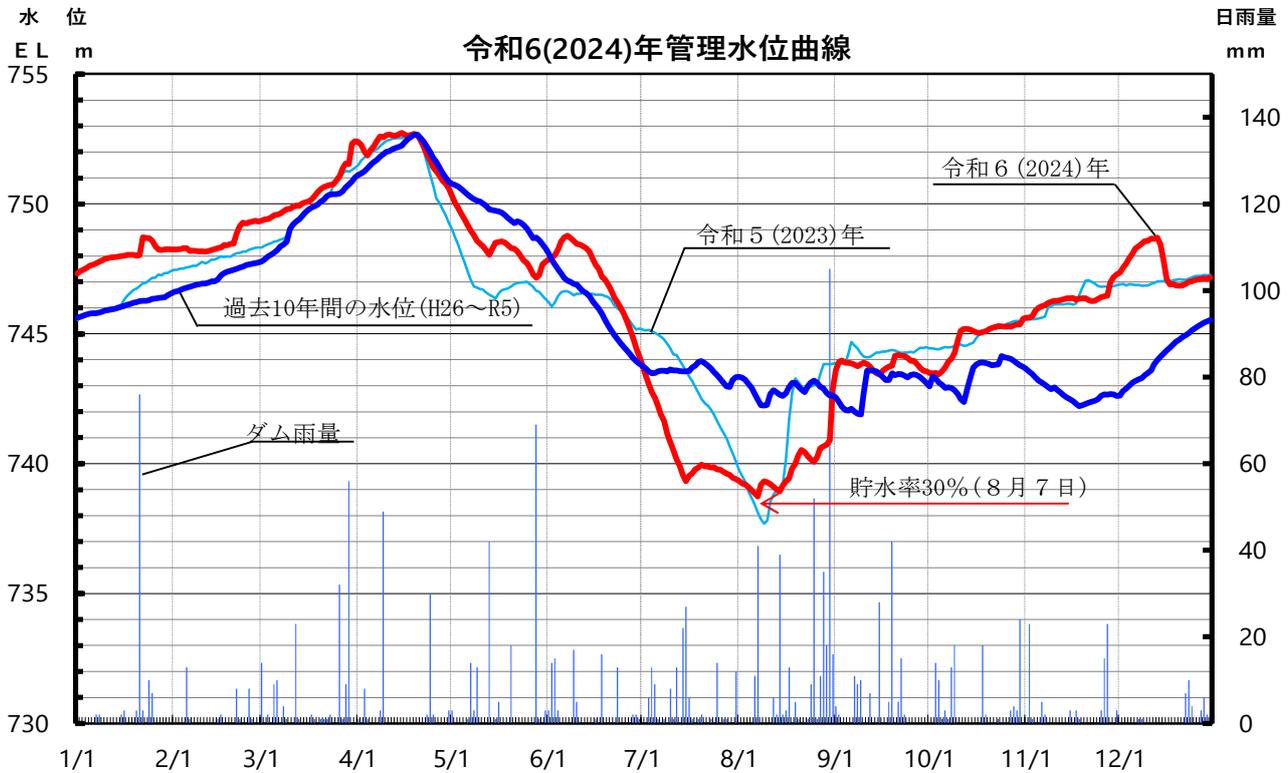
(令和6年)

組織の概要	役員及び主な事業内容
<p>那須地方農業者懇談会 [設立 H13.2.7] [目的]管内農業者団体の相互の連絡協調を図り、各団体会員の連携強化により農業経営と生活の合理化、農村文化の向上及び農村地域の振興に寄与する。 [構成組織]地方RFC、地方農業士会、地区農村生活研究グループ協議会、地方青少年クラブ協議会、地区認定農業者協議会、地方国際農友会 [構成組織数] 6組織</p>	<p>会長 磯 浩美 [大田原市] 副会長 菊池 宏 [那須塩原市] ○那須地方の農業の夢を語る会 ○各組織との連携活動 (2026.4)改選</p>
<p>那須地方RFC [設立 H13.10.11] [目的]協調、友愛、奉仕の精神を常に高揚し、農業に生き甲斐を求めて精進する農業後継者、青年農業者、女性組織等の活動を激励、援助するとともに、会員の加入推進及び地区活動の充実を図り、豊かな農村社会を実現することを目的とする。 [会員数] 45名+賛助会員1組織(那須地方名誉農業士会)</p>	<p>会長 磯 浩美 [大田原市] 副会長 相馬 岩利 [那須塩原市] ○視察研修会 ○生活研究グループ、青少年クラブ活動支援 (2026.4)改選</p>
<p>那須地方農業士会 [設立 H12.2.22] [目的]近代化農業を担い上げる優れた青年農業者等の育成指導並びに地域農業の振興を図るため、農業士相互及び女性農業士との連携の下、組織活動を促進し、もって地域農業振興に寄与することを目的とする。 [会員数] 42名</p>	<p>会長 菊池 宏 [那須塩原市] 副会長 熊田 正和 [大田原市] 副会長 中山 知代子 [大田原市] ○夏期夫妻研修会 ○冬期夫妻研修会 ○生活研究グループ、青少年クラブへの活動支援 (2026.2)改選</p>
<p>那須地区農村生活研究グループ協議会 [設立 H12.4.14] [目的]会員相互の連絡協調を密にし、その活動を促進することにより、グループ員の資質向上と豊かでゆとりある新しい農村型ライフスタイルの実現をめざすとともに、農村女性の地位向上を図ることを目的とする。 [会員数] 46名</p>	<p>会長 朝野 直子 [大田原市] 副会長 竹内 ヒロ [那須塩原市]</p>
<p>那須野が原青少年クラブ協議会 [設立 H12.4.12] [目的]クラブ員相互の親睦と協調を図り、クラブ活動の健全な発展によるクラブ員の資質向上に資することを目的とする。 [会員数] 29名</p>	<p>会長 阿久津 清尚 [大田原市] 副会長 石井 晶 [那須塩原市] ○専門部活動(耕種、施設野菜、露地野菜、果樹、花き、畜産) ○各種交流会 ○実績意見発表大会 ○経営技術改善セミナー ○各種県事業参加等 (2024.3)改選</p>
<p>那須地方国際農友会 [設立 H12.12.13] [目的]海外に派遣された農村青壮年が各国において習得した農業の諸体験を生かして、会員相互の親睦と資質の向上を図り本県農業の近代化と合理化を推進して農民との相互理解と連携を深めつつ国際親善に寄与することを目的とする。 [会員数] 35名</p>	<p>会長 遠藤 拓志 [那須町] 副会長 高橋 雄幸 [那須町] ○研修生壮行会 ○情報交歓会 ○海外研修生派遣、受入れ支援等</p>
<p>那須地区認定農業者協議会 [設立 H12.10.31] [目的]経営感覚に優れた効率的で安定的な経営体を目指す農業経営者としての能力向上と、地域農業リーダーとしての資質の向上を図るとともに、地域農業の振興に寄与することを目的とする。 [構成組織] 大田原市、那須塩原市、那須町各認定農業者組織 [会員数] 1,644 経営体(大田原市 816、那須塩原市 563、那須町 265)</p>	<p>会長 平山 文修 [那須町] 副会長 渡邊 政博 [那須塩原市] 副会長 田代 保 [大田原市] ○研修会 ○各種事業参加 等 (2024.3)改選</p>
<p>那須地方農村女性会議 [設立 H13.3.22] [目的]男女共同参画ビジョンの実現を通して、組織間の連携を深めながら女性の地位向上と、男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。 [構成組織数] 6組織</p>	<p>会長 小沼 伸枝 [栃木県女性農業士] 副会長 相馬綾子[栃木県酪農業協同組合県北支所女性会] ○男女共同参画研修会 ○農村女性の社会参画の推進 ○組織間情報交換連携活動 (2024.5)改選</p>

第4 深山・板室ダムの管理状況

1 深山ダムの水位の動き

1月～4月中旬までは、過去10年間平均(以下「平年」と呼ぶ)以上の貯水位で推移しましたが、取水開始以降は降雨が少なかったため、それ以降は平年以下となりました。5月下旬頃になって、利水関係者による節水の努力や、降雨により一時的に貯水位が回復しましたが、7月に入ってから再び降雨が少ない状況が続き、厳しいダム運用となりました。特に、8月7日は、年内の最低貯水率(約30%)となりましたが、その後の降雨により回復しました。



2 整備補修の実績 (主要なもの)



深山ダム：余水吐巻上装置点検修繕

洪水時に水を安全に流下させる設備である余水吐の機能確保のため、



深山ダム：取水塔操作盤整備修繕工事

用水を安定的に供給するため、取水設備の中核部ある操作盤の修繕を



深山ダム：通信鉄塔建替工事

各種観測データや放流警戒設備との通信データの円滑な送受信に向け、

3 各種活動の実績



森と湖に親しむ旬間(7月)

運用開始50周年を迎えた深山ダムで、「森と湖に親しむ旬間」の取組として、現地見学会を5年ぶりに開催しました。



深山ダム運用50周年記念ダムカードの配布

深山ダムの役割について、一層の理解を図るため、運用開始50周年記



詳細はHPを参照願います。

那須広域ダム

検

第5 農産物モニタリング検査状況

1 農産物の検査

県では、国から示された検査ガイドラインを踏まえて、計画的にモニタリング検査を実施し、農産物の安全性を確認している。

令和6年度においては、下表の日程で大田原市、那須塩原市、那須町の6品目についてモニタリング検査を実施し、全ての検体で放射性セシウムの基準値を下回った（全て検出せず）。

グループ	品目	大田原市	那須塩原市	那須町
山菜「栽培もの」 (野生で出荷制限となっている品目)	こしあぶら	-	-	-
	たらの芽	4/22	4/18	4/18
生産額が多い穀物類	米	8/22		
	大豆	12/12		
	秋そば	10/31		

(網掛け) : 吸収抑制対策実施市町

第6 那須地方の農業の動き

1 農業

(1)市町村別農業産出額(令和5年)

市町村別の農業産出額は、大田原市が289.9億円で県内2位(全国40位)、那須塩原市が504.0億円で県内1位(全国10位)、那須町が224.2億円で県内3位(全国75位)となっている。

耕種は大田原市が県内1位(全国23位)、那須塩原市が県内4位(全国66位)、園芸は大田原市が県内3位(全国110位)、畜産は大田原市が県内3位(全国56位)、那須塩原市が県内1位(全国3位)、那須町が県内2位(全国28位)となっている。

農業産出額の合計

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	289.9	2	40
那須塩原市	504.0	1	10
那須町	224.2	3	75
那須地方計	1018.1	—	—
栃木県計	2929.0	—	—
那須地方/県	34.8%	—	—

(内訳)

① 耕種(米、麦類、雑穀、豆類、工芸農作物、その他作物の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	75.3	1	23
那須塩原市	46.3	4	66
那須町	21.8	12	239
那須地方計	143.4	—	—
栃木県計	653.3	—	—
那須地方/県	22.0%	—	—

② 園芸(野菜、果実、花き、いも類の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	76.9	3	110
那須塩原市	39.3	8	260
那須町	10.1	21	757
那須地方計	126.3	—	—
栃木県計	869.4	—	—
那須地方/県	14.5%	—	—

③ 畜産(肉用牛、乳用牛、豚、鶏、その他畜産物の合計)

	農業産出額 (単位:億円)	県内順位 /25市町	全国順位 /1719市区町村
大田原市	129.7	3	56
那須塩原市	409.2	1	3
那須町	190.2	2	28
那須地方計	729.1	—	—
栃木県計	1276.8	—	—
那須地方/県	57.1%	—	—

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(資料)令和4年市町村別農業産出額(推計)(農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果)

(2)市町別主要農産物の面積、収穫量(令和5年産)

(単位：ha、t)

市町	品目	作付面積	収穫量	出荷量
大田原市	水稲	5,740	34,100	
	麦類	859	3,362	
	大豆	285	430	
	そば	145	103	
	秋冬ねぎ	81	2,370	2,250
	夏秋なす	21	1,090	960
	冬春トマト	7	560	487
那須塩原市	水稲	3,740	21,700	
	麦類	272	1,014	
	大豆	129	188	
	そば	125	74	
	ほうれんそう	120	1,360	1,320
	秋冬ねぎ	25	618	556
	夏だいこん	29	624	568
	夏秋なす	14	798	750
	冬春トマト	2	180	149
那須町	水稲	1,830	10,500	
	麦類	22	88	
	大豆	3	3	
	そば	57	32	
	ほうれんそう	28	291	272
	秋冬ねぎ	5	129	122
	夏秋なす	8	432	341

(出典) 作物統計調査 市町村別データ

(3)農漁業災害発生の状況

農作物、施設被害状況

(単位：ha、千円)

年度	発生日	災害名	地域 (市町)	災害状況			備考
				作物名等	被害面積	被害金額	
R6	—	—	—	—	—	—	
R5	—	—	—	—	—	—	
R4	1/24	強風	大田原市 那須塩原市	パイプハウス(11棟)	0.17	984	
				カーネーション	0.03	388	
				にら	0.01	151	
				パイプハウス(55棟)	1.11	8,482	
R3	4/18	強風	大田原市	パイプハウス(2棟)	0.03	430	
				木造畜舎(2棟)	0.05	464	
			那須塩原市	パイプハウス(21棟)	0.54	3,239	
				木造畜舎(1棟)	0.05	454	
	4/27	降霜	大田原市	キウイフルーツ	2.36	7,741	
	5/2	降雹	大田原市	なし幸水	2.15	12,232	
			なし豊水	2.25	18,096		
			なしにっこり	0.75	6,596		
			なし新高	0.35	3,361		
			なしあきづき	0.15	983		
			なしその他	0.15	1,029		
			ブロッコリー	1.14	2,002		
			ブルーベリー	0.40	1,920		
			アスパラガス	0.20	1,004		
			キャベツ春もの	0.70	679		
		(資料)令和4年市町村別農業	ねぎ	34.20	41,137		
			トウガラシ	2.30	1,870		
			うど養成株	23.00	4,320		
			那須塩原市	キウイフルーツ	2.38	1,608	
				かぶ	2.22	1,523	
				だいこん夏もの	2.60	398	
				ねぎ	1.05	1,275	

農作物、施設被害状況 (単位：ha、千円)

年度	発生日	災害名	地域 (市町)	災害状況			備考
				作物名等	被害面積	被害金額	
R3	8/30	突風	大田原市	パイプハウス(10棟)	0.20	2,760	
				しいたけ出荷作業所	0.01	1,600	
	3/16	地震	大田原市	菌床しいたけ(施設)	0.001	89	
				那須塩原市	菌床しいたけ(施設)	0.02	
			菌床施設ボイラー配管の破損	0.002	800	県北環境 森林事務所報告	

暑熱による畜産関係被害状況(7/1~9/30の死亡畜数) (単位:頭羽数)

年度	乳用牛	肉用牛	採卵鶏	ブロイラー	備考
R6	0	0	2471	0	
R5	35	7	4,808	12	
R4	21	3	0	0	
R3	34	9	2	0	

※県北家畜保健衛生所調べ

(4)農家戸数の動き

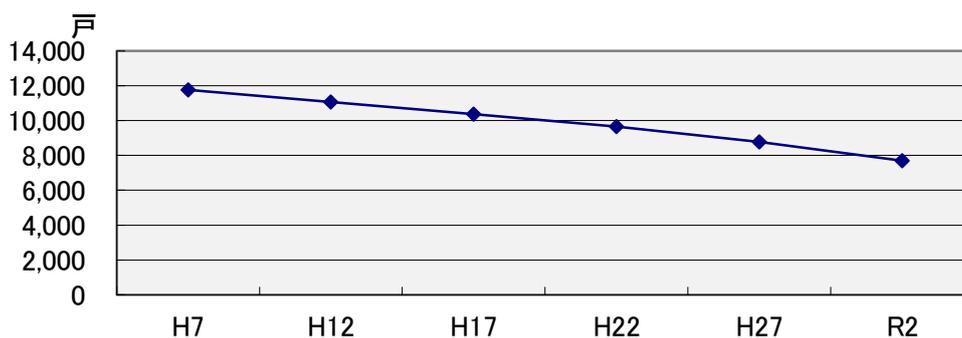
那須地方の農家戸数は減少傾向にあり、令和2年には7,697戸となった。増減を平成27年と比較してみると88%の増減率となり、県全体よりもやや緩やかな減少具合となった。

総農家戸数の推移

(単位：戸)

	H12	H17	H22	H27	R2	増減 (R2-H27)	増減率 (R2/H27)
那須地方	11,058	10,361	9,648	8,773	7,697	△1,076	88%
栃木県	77,532	71,510	64,337	55,446	46,202	△9,244	83%

*平成12年からは販売農家数と自給的農家数の合計 (出典) 農林業センサス



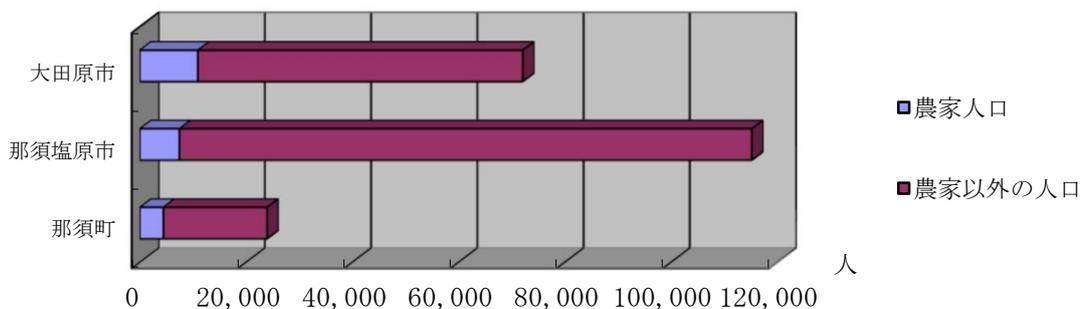
那須地方年次別農家戸数の推移

市町別農家人口率 (令和2年)

(単位：人・%)

	農家人口率		
	総人口	農家人口	農家人口率
大田原市	72,087	10,936	15.2%
那須塩原市	115,210	7,456	6.5%
那須町	23,956	4,442	18.5%
那須地方計	211,253	22,834	10.8%
栃木県計	1,931,254	114,210	5.9%
那須/県			10.9%

※農家人口は農業経営体の世帯員数
(出典) 国勢調査・農林業センサス



市町別農家人口 (令和2年)

(5)専兼業別農家戸数の動き

専兼業別農家戸数の推移

(単位：戸)

		H12		H17		H22		H27		R2	
		那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県	那須地方	栃木県
実数	販売農家数	9,871	65,042	8,963	56,016	8,053	47,833	7,176	39,810	6,107	31,993
	専業	1,280	8,551	1,398	9,084	1,588	10,127	1,761	10,380	-	-
	総数	8,591	56,491	7,565	46,932	6,465	37,706	5,415	29,430	-	-
	第1種	2,237	10,602	1,993	10,283	1,718	7,062	1,227	5,435	-	-
	第2種	6,354	45,889	5,572	36,649	4,747	30,644	4,188	23,995	-	-
割合	販売農家数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
	専業	13.0%	13.1%	15.6%	16.2%	19.7%	21.2%	24.5%	26.1%	-	-
	総数	87.0%	86.9%	84.4%	83.8%	80.3%	78.8%	75.5%	73.9%	-	-
	第1種	22.7%	16.3%	22.2%	18.4%	21.3%	14.8%	17.1%	13.7%	-	-
	第2種	64.4%	70.6%	62.2%	65.4%	58.9%	64.1%	58.4%	60.3%	-	-

(出典)農林業センサス

市町別専業兼業別農家戸数の推移

		大田原市	那須塩原市	那須町	那須地方計	栃木県計	地方/県	
販売農家数	H12	4,584	3,265	2,022	9,871	65,042	15%	
	H17	4,257	2,942	1,764	8,963	56,016	16%	
	H22	3,841	2,620	1,592	8,053	47,833	17%	
	H27	3,454	2,327	1,395	7,176	39,810	18%	
	R2	2,991	1,959	1,157	6,107	31,993	19%	
専業兼業別農家数	専業	H12	559	481	240	1,280	8,551	15%
		H17	649	511	238	1,398	9,084	15%
		H22	752	559	277	1,588	10,127	16%
		H27	835	645	281	1,761	10,380	17%
		R2	-	-	-	-	-	-
	第1種兼業	H12	1,016	805	416	2,237	10,602	21%
		H17	1,003	736	254	1,993	10,283	19%
		H22	875	577	266	1,718	7,062	24%
		H27	581	437	209	1,227	5,435	23%
		R2	-	-	-	-	-	-
	第2種兼業	H12	3,009	1,979	1,366	6,354	45,889	14%
		H17	2,605	1,695	1,272	5,572	36,649	15%
		H22	2,214	1,484	1,049	4,747	60,644	8%
		H27	2,038	1,245	905	4,188	23,995	17%
R2		-	-	-	-	-	-	

(出典)農林業センサス

(6) 経営耕地面積規模別経営体数の動き

那須地方の経営耕地規模別経営体数をみると、総農家数の減少とともにほとんどの階層で減少しているが、10.0ha以上の経営体数は増加している。これは県全体でも同様の傾向が見られる。

また、5.0～10.0haの経営体が県全体の32.5%、10.0ha以上の経営体が県全体の27.1%を占めるなど、規模の大きい経営体の割合が多い。

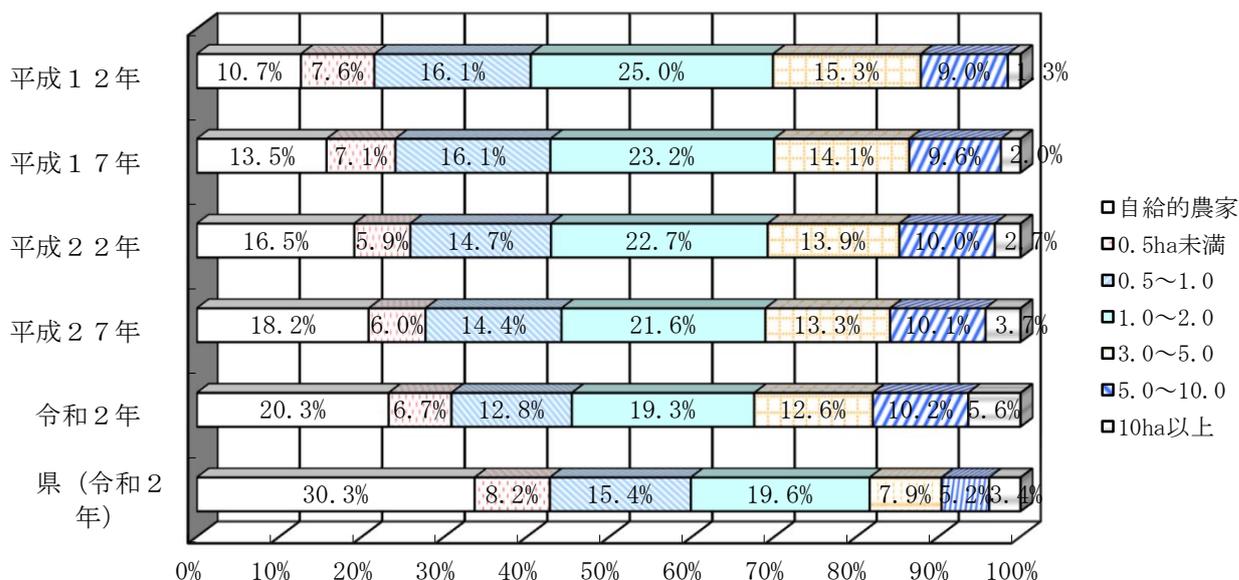
那須地方経営耕地面積規模別経営体数の推移

(単位：経営体 ※自給的農家数は戸)

		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		那須地方 増減率 (R2/H27)
		那須地方	栃木県									
実 数	0.5ha未満	838	8,767	738	6,870	565	5,184	527	4,289	521	3,849	99%
	0.5～1.0	1,781	16,942	1,669	14,295	1,421	11,911	1,262	9,560	998	7,207	79%
	1.0～2.0	2,761	20,372	2,406	17,401	2,186	14,950	1,893	11,983	1,512	9,179	80%
	2.0～3.0	1,655	9,785	1,485	8,605	1,315	7,178	1,113	5,900	978	4,740	88%
	3.0～5.0	1,694	6,413	1,462	5,733	1,337	5,102	1,165	4,391	988	3,699	85%
	5.0～10.0	999	2,382	993	2,487	969	2,618	890	2,582	795	2,447	89%
	10ha以上	143	381	210	625	260	890	326	1,105	435	1,605	133%
	自給的農家 計	1,187	12,490	1,398	15,494	1,591	16,445	1,597	15,636	1,590	14,209	100%
割 合	0.5ha未満	7.6%	11.3%	7.1%	9.6%	5.9%	8.1%	6.0%	7.7%	6.7%	8.2%	
	0.5～1.0	16.1%	21.9%	16.1%	20.0%	14.7%	18.5%	14.4%	17.2%	12.8%	15.4%	
	1.0～2.0	25.0%	26.3%	23.2%	24.3%	22.7%	23.3%	21.6%	21.6%	19.3%	19.6%	
	2.0～3.0	15.0%	12.6%	14.3%	12.0%	13.6%	11.2%	12.7%	10.6%	12.5%	10.1%	
	3.0～5.0	15.3%	8.3%	14.1%	8.0%	13.9%	7.9%	13.3%	7.9%	12.6%	7.9%	
	5.0～10.0	9.0%	3.1%	9.6%	3.5%	10.0%	4.1%	10.1%	4.7%	10.2%	5.2%	
	10ha以上	1.3%	0.5%	2.0%	0.9%	2.7%	1.4%	3.7%	2.0%	5.6%	3.4%	
	自給的農家 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

*0.5ha未満には経営耕地なしを含む

(出典) 農林業センサス



那須地方経営耕地面積規模別経営体数の推移

(資料) 令和4 (注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体における数値を記載

市町別経営耕地面積規模別経営体数(令和2年)

(単位：経営体 ※自給的農家数は戸)

	合計	0.5ha未満	0.5～ 1.0	1.0～ 2.0	2.0～ 3.0	3.0～ 5.0	5.0～ 10.0	10.0ha 以上	自給的 農家
大田原市	3,716	257	476	753	519	509	369	159	674
那須塩原市	2,527	138	302	474	264	324	289	205	531
那須町	1,574	126	220	285	195	155	137	71	385
那須地方計	7,817	521	998	1,512	978	988	795	435	1,590
	100.0%	6.7%	12.8%	19.3%	12.5%	12.6%	10.2%	5.6%	20.3%
栃木県計	46,935	3,849	7,207	9,179	4,740	3,699	2,447	1,605	14,209
那須/県	16.7%	13.5%	13.8%	16.5%	20.6%	26.7%	32.5%	27.1%	11.2%

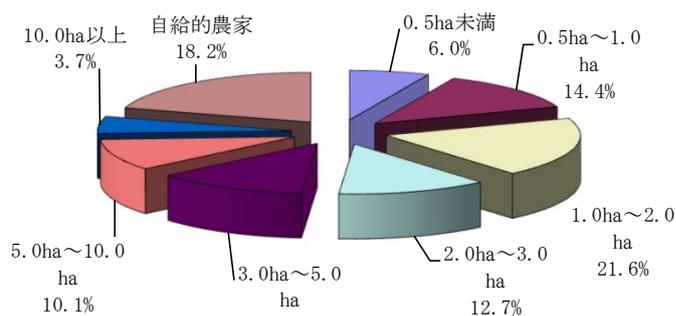
*0.5ha未満には経営耕地なしを含む

10ha以上規模別経営体数(令和2年)

(単位：経営体)

	10.0～ 20.0	20.0～ 30.0	30.0～
大田原市	126	21	12
那須塩原市	157	34	14
那須町	55	10	6
那須地方計	338	65	32
	4.3%	0.8%	0.4%
栃木県計	1,077	279	249
那須/県	31.4%	23.3%	12.9%

(出典) 農林業センサス



那須地方経営規模別経営体数割合(令和2年)

(7) 農産物販売金額別経営体数(農業経営体)

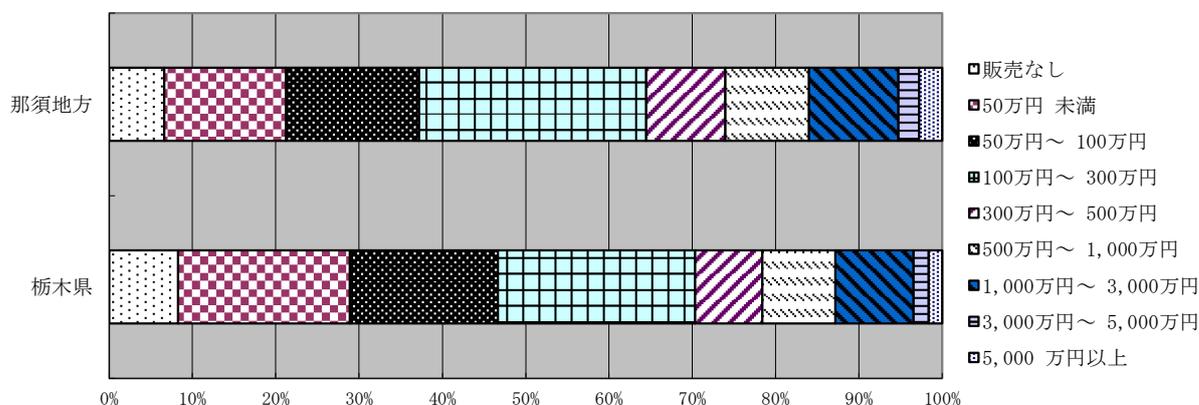
那須地方の農業経営体に占める農産物販売金額1,000万円以上の経営体は、令和2年で13.9%(995経営体)であり、県の10.5%(4,191経営体)に比べ、その割合は高い。

農産物販売金額規模別経営体数(令和2年)

(単位：経営体)

	農業 経営体数	販売なし	50万円 未満	50万円～ 100万円	100万円～ 300万円	300万円～ 500万円	500万円～ 1,000万円	1,000万円～ 3,000万円	3,000万円～ 5,000万円	5,000 万円以上
実数	7,176	414	908	994	1,698	591	627	669	155	171
割合										
那須地方	86.8%	5.8%	12.7%	13.9%	23.7%	8.2%	8.7%	9.3%	2.2%	2.4%
栃木県	82.2%	6.8%	17.0%	14.6%	19.4%	6.7%	7.2%	7.7%	1.5%	1.3%

(出典) 農林業センサス



農産物販売金額規模別経営体数(令和2年)

2 農業労働力

(1) 年齢階層別の経営体数の動き

那須地方の年齢階層別の経営体数を見ると、70歳以上の経営体数は増加している。これは県全体でも同様の傾向が見られる。

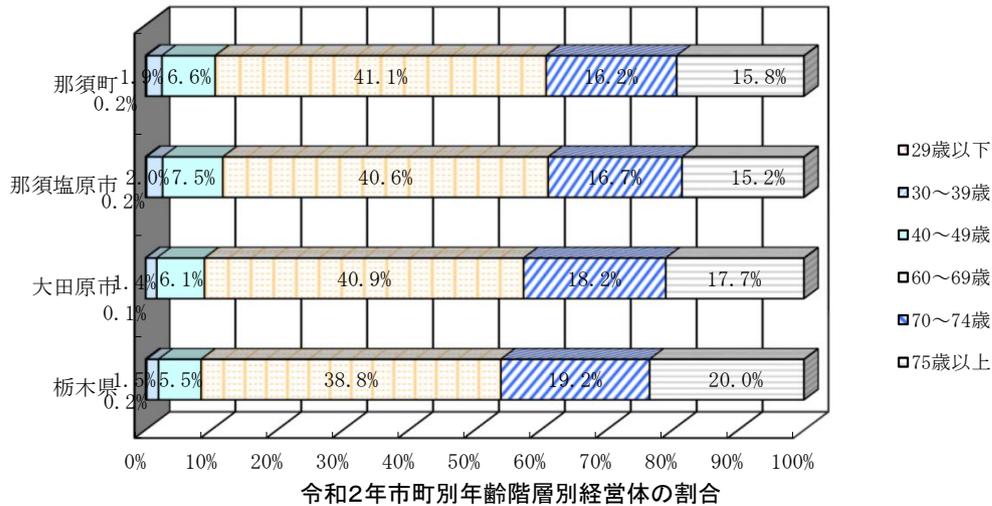
また、75歳以上の経営体の割合は、令和2年で16.5%であり、県の20.0%に比べ低い。

那須地方年齢階層別経営体数の推移

(単位：経営体)

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		
	那須地方	栃木県									
実数	29歳以下	28	121	25	105	4	55	11	59	8	73
	30～39歳	521	2,473	260	1,305	153	729	104	533	105	498
	40～49歳	2,902	15,200	1,706	8,614	875	4,498	466	2,284	413	1,803
	50～59歳	2,835	17,666	3,234	18,326	2,856	14,874	1,810	8,737	1,049	4,833
	60～69歳	2,415	18,259	1,876	12,967	2,398	14,467	3,002	16,119	2,543	12,691
	70～74歳	650	7,025	732	5,834	804	5,742	725	4,661	1,080	6,296
	75歳以上	432	4,298	630	5,596	963	7,468	1,058	7,417	1,029	6,532
計	9,783	65,042	8,463	52,747	8,053	47,833	7,176	39,810	6,227	32,726	
割合	29歳以下	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%
	30～39歳	5.3%	3.8%	3.1%	2.5%	1.9%	1.5%	1.4%	1.3%	1.7%	1.5%
	40～49歳	29.7%	23.4%	20.2%	16.3%	10.9%	9.4%	6.5%	5.7%	6.6%	5.5%
	50～59歳	29.0%	27.2%	38.2%	34.7%	35.5%	31.1%	25.2%	21.9%	16.8%	14.8%
	60～69歳	24.7%	28.1%	22.2%	24.6%	29.8%	30.2%	41.8%	40.5%	40.8%	38.8%
	70～74歳	6.6%	10.8%	8.6%	11.1%	10.0%	12.0%	10.1%	11.7%	17.3%	19.2%
合計	4.4%	6.6%	7.4%	10.6%	12.0%	15.6%	14.7%	18.6%	16.5%	20.0%	
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(出典) 農林業センサス



(資料) 令和4年市町村別農業産出額(推計)

(農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果)

(注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体における数値を記載

(2)基幹的農業従事者の推移

那須地方の令和2年の基幹的農業従事者（自営農業に主として従事した世帯員のうち仕事
が主の世帯員数）は、8,604人となった。また、男女別では男が5,039人、女が3,565人と
なった。

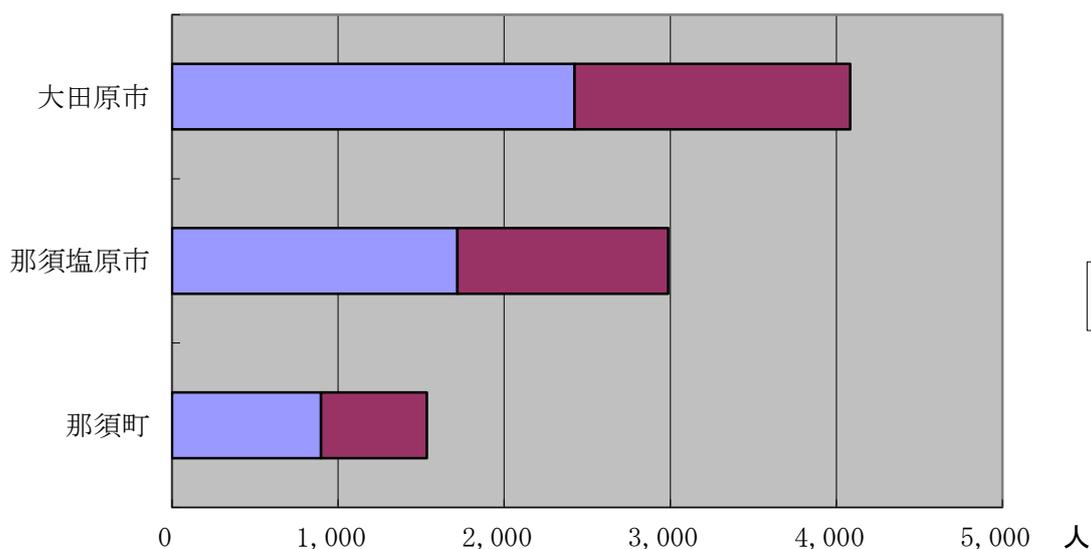
基幹的農業従事者の推移

(単位：人)

		数				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大田原市	男	2,575	2,670	2,833	2,653	2,423
	女	2,586	2,536	2,531	2,191	1,660
	計	5,161	5,206	5,364	4,844	4,083
那須塩原市	男	2,063	2,142	2,146	1,953	1,718
	女	2,151	2,184	2,049	1,677	1,269
	計	4,214	4,326	4,195	3,630	2,987
那須町	男	1,149	875	1,171	941	898
	女	1,218	741	1,083	725	636
	計	2,367	1,616	2,254	1,666	1,534
那須地方計	男A	5,787	5,687	6,150	5,547	5,039
	女	5,955	5,461	5,663	4,593	3,565
	計B	11,742	11,148	11,813	10,140	8,604
	A/B	49.3%	51.0%	52.1%	54.7%	58.6%
栃木県計	男a	34,880	34,605	34,605	29,693	25,613
	女	33,133	30,969	30,969	23,221	17,301
	計b	68,013	65,574	65,574	52,914	42,914
	a/b	51.3%	52.8%	52.8%	56.1%	59.7%
那須 / 県	男	16.6%	16.4%	17.8%	18.7%	19.7%
	女	18.0%	17.6%	18.3%	19.8%	20.6%
	計	17.3%	17.0%	18.0%	19.2%	20.0%

(注)平成27年までは販売農家、令和2年は農業経営体

(資料)農林業センサス



市町別基幹的農業従事者(令和2年)

3 農地

(1) 年次別耕地面積の推移

(単位：h a ・%)

		田	畑	計	水田率
那 須 地 方	平成 2年	22,700	6,160	28,860	78.7
	平成 3年	22,700	6,100	28,800	78.8
	平成 4年	22,600	6,060	28,660	78.9
	平成 5年	22,400	5,930	28,330	79.1
	平成 6年	22,400	5,880	28,280	79.2
	平成 7年	22,300	5,820	28,120	79.3
	平成 8年	22,200	5,770	27,970	79.4
	平成 9年	22,100	5,730	27,830	79.4
	平成10年	22,100	5,610	27,710	79.8
	平成11年	21,700	5,570	27,270	79.6
	平成12年	21,800	5,560	27,360	79.7
	平成13年	21,800	5,530	27,330	79.8
	平成14年	21,700	5,500	27,200	79.8
	平成15年	21,700	5,500	27,200	79.8
	平成16年	21,600	5,650	27,250	79.3
	平成17年	21,600	5,610	27,210	79.4
	平成18年	21,500	5,580	27,080	79.4
	平成19年	21,300	5,690	26,990	78.9
	平成20年	21,100	5,750	26,850	78.6
	平成21年	21,030	5,810	26,840	78.4
	平成22年	20,850	5,890	26,740	78.0
	平成23年	20,680	5,940	26,620	77.7
	平成24年	20,550	6,020	26,570	77.3
	平成25年	20,470	6,040	26,510	77.2
	平成26年	20,430	6,000	26,430	77.3
	平成27年	20,400	5,980	26,380	77.3
	平成28年	20,390	5,950	26,340	77.4
	平成29年	20,360	5,940	26,300	77.4
	平成30年	20,290	5,900	26,190	77.5
	平成31・令和元年	20,220	5,850	26,070	77.6
令和2年	19,850	6,150	26,000	76.3	
令和3年	19,620	6,310	25,930	75.7	
令和4年	19,570	6,360	25,930	75.5	
令和5年	19,430	6,380	25,810	75.3	
令和6年	19,390	6,390	25,780	75.2	
栃 木 県	平成 2年	109,300	32,200	141,500	77.2
	平成 3年	108,800	31,700	140,500	77.4
	平成 4年	108,400	31,300	139,700	77.6
	平成 5年	107,900	30,700	138,600	77.8
	平成 6年	107,400	30,200	137,600	78.1
	平成 7年	106,900	29,700	136,600	78.3
	平成 8年	106,400	29,400	135,800	78.4
	平成 9年	105,900	29,000	134,900	78.5
	平成10年	105,600	28,700	134,300	78.6
	平成11年	105,000	28,500	133,500	78.7
	平成12年	104,600	28,100	132,700	78.8
	平成13年	104,300	27,900	132,200	78.9
	平成14年	103,700	27,900	131,600	78.8
	平成15年	103,000	28,100	131,100	78.6
	平成16年	102,800	27,900	130,700	78.7
	平成17年	102,200	27,900	130,100	78.6
	平成18年	101,300	28,000	129,300	78.3
	平成19年	100,700	28,300	129,000	78.1
	平成20年	99,900	28,400	128,300	77.9
	平成21年	99,388	28,402	127,790	77.8
	平成22年	98,912	28,312	127,224	77.7
	平成23年	98,300	28,100	126,400	77.8
	平成24年	97,800	28,200	126,000	77.6
	平成25年	97,500	28,000	125,500	77.7
	平成26年	97,300	27,700	125,000	77.8
	平成27年	97,100	27,400	124,500	78.0
	平成28年	96,900	27,200	124,100	78.1
	平成29年	96,800	27,100	123,900	78.1
	平成30年	96,400	26,800	123,200	78.2
	平成31・令和元年	96,100	26,400	122,500	78.4
令和2年	95,500	26,600	122,100	78.2	
令和3年	94,800	26,900	121,700	77.9	
令和4年	94,300	27,100	121,400	77.7	
令和5年	93,900	26,800	120,700	77.8	
令和6年	93,600	26,800	120,400	77.7	

(資料) 「耕地及び作付面積統計」

(2)市町別耕地面積の状況（令和6年）

(単位:ha)

項目 市町村	耕地面積	田			畑
		計	本地	畦畔	耕地
大田原市	10,800	9,700	9,310	390	1,150
那須塩原市	9,490	6,260	5,940	320	3,230
那須町	5,450	3,430	3,240	190	2,010
那須地方計	25,740	19,390	18,490	900	6,390
栃木県計	120,400	93,600	90,600	3,000	26,800
那須/県	21.4%	20.7%	20.4%	30.0%	23.8%

(資料)「耕地及び作付面積統計」

※数値は四捨五入しており、田面積の値と畑面積の値の合計が、耕地面積の値と一致しないことがある。

(3)市町別農業振興地域(農振農用地)の現況地目別面積（令和5年）

(単位:ha)

項目 市町村	地目別面積					混牧林地	農業用 施設用地
	田	畑	樹園地	採草放牧地	計		
大田原市	8,826.2	600.7	136.8	73.6	9,637.3	0.0	64.8
那須塩原市	5,626.6	2,679.1	26.7	86.0	8,418.4	0.0	119.5
那須町	2,849.2	1,215.0	0.0	299.9	4,364.1	15.5	43.2
那須地方計	17,302.0	4,494.8	163.5	459.5	22,419.8	15.5	227.5
栃木県計	81,067.0	18,042.0	1,502.7	1,740.6	102,352.3	15.5	656.0
那須/県	21.3%	24.9%	10.9%	26.4%	21.9%	100.0%	34.7%

※端数処理の関係で、計が一致しない場合あり。

資料「令和5年確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査」

(4)市町別農用地利用集積及び利用権設定の状況

		平成30年 3月末現在	平成31年 3月末現在	令和2年 3月末現在	令和3年 3月末現在	令和4年 3月末現在	令和5年 3月末現在	令和6年 3月末現在
大田原市	農振農用地面積(ha)	9,642	9,640	9,636	9,634	-	-	-
	耕地面積(ha)	11,100	11,000	11,000	11,000	10,900	10,900	10,900
	農業者数 [※] (人)	1,146	1,146	1,163	1,121	1,114	1,105	1,117
	農地利用集積面積(ha)	7,497	7,746	7,693	7,061	6,854	6,593	6,628
	うち水田	7035	7,265	7,178	6,584	6,364	6,164	6,192
	農地利用集積率(%)	68	70	70	64	63	61	61
	利用権設定面積(ha)	2,276	2,353	2,376	2,542	2,219	2,374	1,813
利用権設定率(%)	23.6	24.4	24.7	26.4	-	-	16.0	
那須塩原市	農振農用地面積(ha)	8,455	8,433	8,427	8,427	-	-	-
	耕地面積(ha)	9,640	9,610	9,560	9,540	9,530	9,530	9,500
	農業者数 [※] (人)	720	719	721	724	733	742	727
	農地利用集積面積(ha)	5,681	6,127	5,723	5,570	5,595	5,758	6,164
	うち水田	3,106	3,439	4,107	3,920	3,940	4,073	4,474
	農地利用集積率(%)	59	64	60	58	59	60	65
	利用権設定面積(ha)	1,841	1,912	2,460	1,982	2,038	1,722	2,125
利用権設定率(%)	21.8	22.7	29.2	23.5	-	-	22.4	
那須町	農振農用地面積(ha)	4,383	4,375	4,375	4,381	-	-	-
	耕地面積(ha)	5,600	5,560	5,520	5,500	5,480	5,490	5,450
	農業者数 [※] (人)	354	364	347	344	312	385	385
	農地利用集積面積(ha)	2,160	2,202	2,177	2,196	2,121	2,422	2,436
	うち水田	1,387	1,423	1,395	1,402	1,357	1,552	1,556
	農地利用集積率(%)	39	40	39	40	39	44	45
	利用権設定面積(ha)	533	581	597	607	594	457	643
利用権設定率(%)	12.2	13.3	13.6	13.9	-	-	10.3	
那須管内計	農振農用地面積(ha)	22,480	22,448	22,438	22,442	-	-	-
	耕地面積(ha)	26,340	26,170	26,080	26,040	25,910	25,920	25,850
	農業者数 [※] (人)	2,220	2,229	2,231	2,189	2,159	2,232	2,229
	農地利用集積面積(ha)	15,338	16,075	15,593	14,827	14,570	14,773	15,228
	うち水田	11,528	12,127	12,680	11,906	11,661	11,789	12,222
	農地利用集積率(%)	58	61	60	57	56	57	59
	利用権設定面積(ha)	4,650	4,846	5,432	5,131	4,851	4,553	4,581
利用権設定率(%)	20.7	21.6	24.2	22.9	-	-	-	
栃木県計	農振農用地面積(ha)	102,862	102,471	102,433	102,486	-	-	-
	耕地面積(ha)	123,910	123,120	122,600	122,000	121,700	121,400	120,700
	農業者数 [※] (人)	9,566	9,721	9,809	9,813	9,971	10,220	10,342
	農地利用集積面積(ha)	62,857	64,434	64,669	63,515	64,123	64,506	65,755
	うち水田	53,103	52,618	55,929	53,868	54,236	54,675	55,697
	農地利用集積率(%)	51	52	53	52	53	53	55
	利用権設定面積(ha)	31,277	32,289	34,920	33,767	36,390	36,487	36,169
利用権設定率(%)	30.4	31.5	34.1	32.9	-	-	-	

※農業者数：認定農業者、基本構想水準到達者及び集落営農組織等の合計

(資料) 担い手の農地利用集積状況調査
担い手への農地集積面積結果

(5) 農地移転・転用の動き

年次別3条(貸借・売買等)許可件数及び面積

(単位:件・ha)

	27年	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年	5年
件数	208	189	173	185	159	187	166	158	157
面積	164.4	142.6	127.9	152.5	132.0	161.5	142.3	112.2	91.9

年次別4・5条(転用)許可件数

(単位:件)

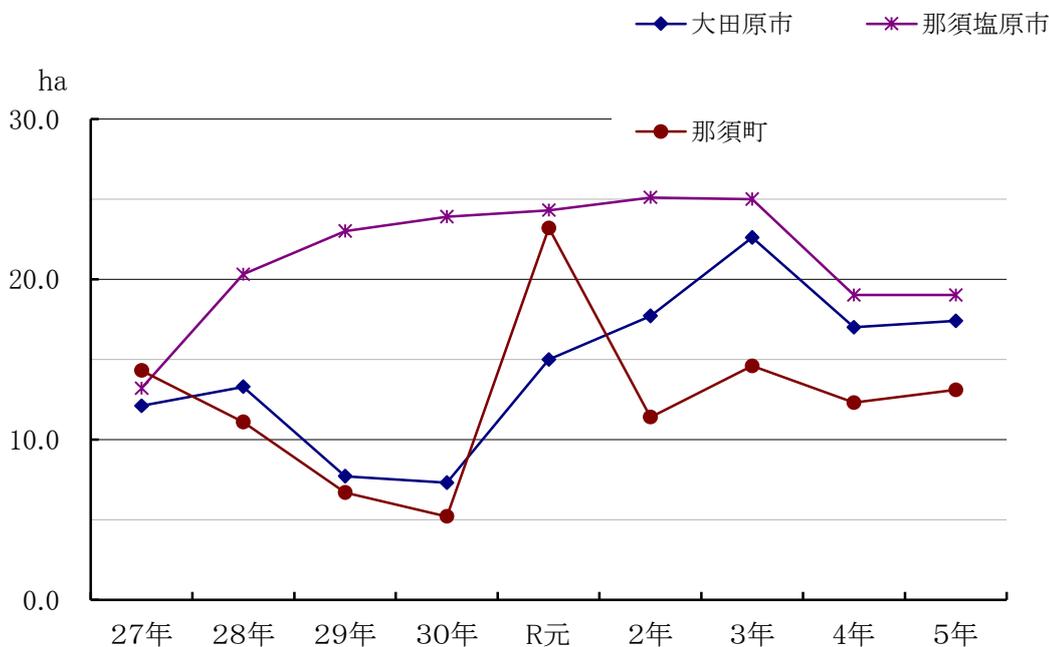
	27年	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年	5年
4条	53	43	51	25	31	28	30	29	32
5条	193	241	210	198	219	213	215	199	194
計	246	284	261	223	250	241	245	228	226

市町別年次別転用面積

(単位:ha)

	27年	28年	29年	30年	R元	2年	3年	4年	5年
大田原市	12.1	13.3	7.7	7.3	15.0	17.7	22.6	17.0	17.4
那須塩原市	13.2	20.3	23.0	23.9	24.3	25.1	25.0	19.0	19.0
那須町	14.3	11.1	6.7	5.2	23.2	11.4	14.6	12.3	13.1
那須地方計	39.6	44.7	37.4	36.4	62.5	54.2	62.2	48.3	49.5

(資料)「農地の権利移動・借賃等調査」



市町村別年次別転用面積の推移

4 市町別5年以内の後継者の確保状況

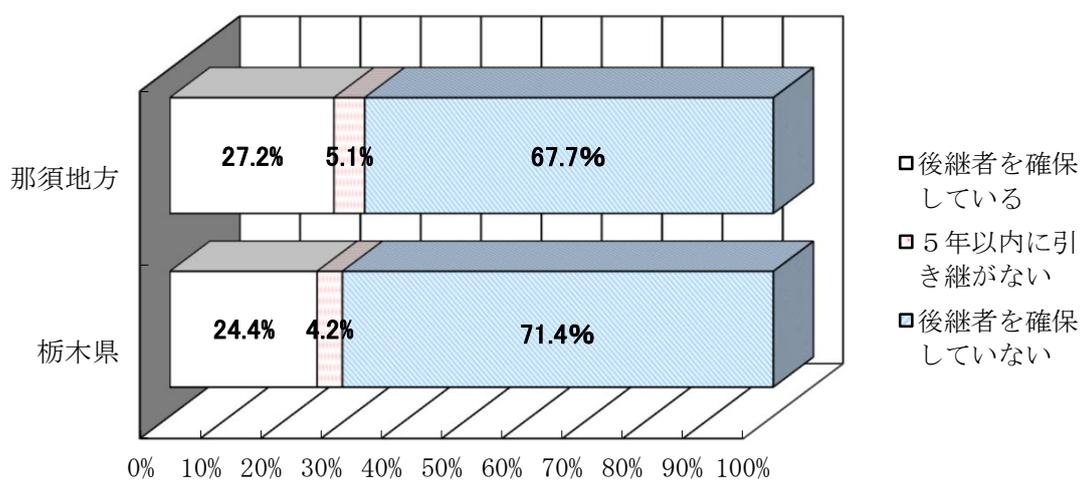
令和2年の那須地方の5年以内の後継者の確保状況別経営体割合は、後継者を確保している経営体が27.2%、5年以内に引き継ぎがない経営体が5.1%、後継者を確保していない経営体が67.7%となっている。

5年以内の後継者の確保状況（令和2年）

（単位：経営体）

	計	5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している			5年以内に農業経営を引き継がない	確保していない
		親族	親族以外の経営内部の人材	経営外部の人材		
大田原市	3,042	693	5	6	130	2,208
那須塩原市	1,996	604	8	5	114	1,265
那須町	1,189	362	8	3	71	745
那須地方計	6,227	1,659	21	14	315	4,218
	100%	26.6%	0.3%	0.2%	5.1%	67.7%
栃木県計	32,726	7,743	147	91	1,383	23,362
那須／県	19%	21%	14%	15%	23%	18%

（出典）農林業センサス



5年以内の後継者の確保状況別経営体数割合

5 ほ場整備実施状況(令和6年5月現在)

(単位：ha)

市町村名	要整備面積	整備済面積	整備率
大田原市	8,824.4	5,370.5	60.9%
那須塩原市	5,638.1	3,861.0	68.5%
那須町	2,852.2	991.0	34.7%
那須地方計	17,314.7	10,222.5	59.0%
栃木県計	81,057.7	56,289.2	69.4%
那須/県	21.4%	18.2%	-

※整備済面積：区画30a以上 (資料) 「農地整備課」

6 農業協同組合等の概要

(1) 農業協同組合

令和6年2月15日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
那須野農業協同組合	20,856	12,302	33	27	6	451

(2) 酪農業協同組合

令和6年4月17日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
那須碓根酪農業協同組合	30	29	7	5	2	7

(3) 開拓農業協同組合

令和6年3月24日現在

組 合 名	組合員数(人)	うち正組合員数(人)	役員数(人)			職員数(人)
			計	理事	監事	
千振開拓農業協同組合	66	64	11	8	3	3
栃木県開拓農業協同組合	769	306	8	6	2	20

7 とちぎの地産地消推進店(那須地域)

「とちぎの地産地消推進店」とは、年間を通じて県産農産物を利用した料理を提供する店舗又は県産農産物コーナー等を設置する小売店等で、「地産地消」の推進に取り組んでいる店舗です。

(1)料理店

令和7年3月1日現在

店舗名	〒	所在地	TEL
中華料理 華園	324-0242	大田原市大豆田210-1	0287-54-0578
前田牧場ファーマーズカフェ&ミートショップ	324-0021	大田原市若草1-761	0287-22-1359
まつ坂	324-0047	大田原市美原1-6-6	0287-23-6275
道の駅那須与一の郷 農村レストラン扇亭	324-0012	大田原市南金丸1584-6	0287-23-8641
黒羽ふるさと物産センターお食事処	324-0241	大田原市黒羽向町1422-1	0287-54-3152
とちぎ和牛 渡邊ファーム	329-2763	那須塩原市井口1168-2	0287-37-5066
人・季・想をつむぐ宿 彩つむぎ	329-2921	那須塩原市塩原265	0287-31-1150
アグリパル塩原 農村レストラン 関の里	329-2801	那須塩原市関谷442	0287-35-2266
ハンターマウンテン塩原 ビッグアップル	329-2922	那須塩原市湯本塩原字前黒	0287-32-4580
オールヴォワール レストラン&カフェ	329-3156	那須塩原市方京1-1-10 那須ミッドシティホテル1F	0287-67-3332
Chus(チャウス)	325-0045	那須塩原市高砂町6-3	0287-74-5156
UNOYA KITCHEN	329-2726	那須塩原市扇町1-3サンマートプラザビル1F	0287-53-7188
御弁当のあきない	329-3436	那須町伊王野1644	0287-75-6062
炭火割烹 与一	325-0302	那須町高久丙1338	0287-76-3486
那須高原友愛の森 なすとらん	325-0303	那須町高久乙593-8	0287-78-1219
滝のある釣り堀 那須高原 清流の里	325-0303	那須町高久乙2714-2	0287-78-0337
ゲストイン 悠香里	325-0303	那須町高久乙3374-644	0287-74-3978
DOG SPA RESORT アルト ピアーノ	325-0302	那須町高久丙4373-20	0287-74-3870
メリメランジュ	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 メインタワー13F	0287-78-6000
エルバージュ	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 メインタワー1F	0287-78-6000
和匠ダイニング菜す乃	325-0302	那須町高久丙1 ホテルエピナール那須 アネックスタワー2F	0287-78-6000
ステーキハウス寿楽本店	325-0301	那須町湯本379	0287-76-3844
ホテル森の風那須	325-0302	那須町高久丙1179-2	0287-73-5572
ホテル四季の館那須	325-0302	那須町高久丙1179-2	0287-73-5576

(2)小売店

店舗名	〒	所在地	TEL
丸亀精肉店	324-0052	大田原市城山1-6-29	0287-22-2454
榊たいらや 大田原店	324-0054	大田原市若松町1638-1	0287-20-1313
ベイシア大田原店	324-0057	大田原市住吉町1-14-12	0287-23-5100
ヨークベニマル大田原住吉店	324-0057	大田原市住吉町2-6-5	0287-20-5800
ヨークベニマル大田原店	324-0047	大田原市美原1-3168-1	0287-20-1494

店舗名	〒	所在地	TEL
(株)オータニ 西那須野店	329-2751	那須塩原市東三島5-89-1	0287-39-1511
フードオアシス オータニ 永田店	329-2712	那須塩原市下永田5-1342-3	0287-39-7688
ベイシア那須塩原店	329-2713	那須塩原市緑2-1155-11	0287-21-2200
ヨークベニマル西那須野店	329-2735	那須塩原市太夫塚6-232-6	0287-37-9421
ヨークベニマル那須塩原店	325-0013	那須塩原市鍋掛1087-27	0287-60-7350
ヨークベニマル黒磯店	325-0057	那須塩原市黒磯幸町2-14	0287-62-2411
ヨークベニマル上厚崎店	325-0026	那須塩原市上厚崎字小林373-1	0287-60-7570
ヨークベニマル西富山店	329-2762	那須塩原市西富山46-1	0287-39-3111

(3)菓子店

店舗名	〒	所在地	TEL
大田原チーズステーション	324-0062	大田原市中田原1901	0287-53-7941
(株)パン・アキモト 石窯パン工房きらむぎ	329-3147	那須塩原市東小屋字砂場368	0287-74-2900
アグリバル塩原 あぐりのかふえ	329-2801	那須塩原市関谷442	0287-35-4401

8 農業の6次産業化総合化事業計画認定一覧

農業の6次産業化とは、農業者が農産物を生産するだけでなく、それを加工し販売するところまで視野に入れた事業展開をすることにより、農業者が多くの利益に関われる仕組みを作ろうという考え方で、六次産業化法に基づく計画認定を受けた農業者の取組を紹介します。

認定時期	認定事業者	所在地	認定計画の概要	主な販売店
H23.5.31	有限会社那須高原今牧場	那須町高久甲5898	チーズ工房を新設し、自家産牛及び山羊の生乳を使ったフレッシュチーズ、セミハードチーズの製造	自社チーズ工房、インターネット通信販売、道の駅(那須高原友愛の森、東山道伊王野)
H24.5.31	農業生産法人株式会社前田牧場	大田原市奥沢111	既存直営店「ファーマーズカフェ」の改築、焼き肉やローストビーフ、熟成肉、餅加工品、ドッグフードの製造	直営店「ファーマーズカフェ」・「ミートショップ」、インターネット通信販売
H24.5.31	ふかさわ梨園	大田原市湯津上1336	「ふかさわ梨園」商品のブランド化を図り、自家産梨を使った「万能たれ」の製造	ふかさわ梨園直売店、そすいの郷直売センター、県内スーパー
H24.10.31	小白井農園	大田原市川田134	高糖度トマトを活かした「小白井農園」をブランド化を図り、自家産トマトの小玉果等を使用した「ピューレ」の製造	自宅直売所、地元スーパー、レストランでの提供
H25.5.31	発田 亮	大田原市南金丸1499-7	自ら生産したブルーベリーを活用したブルーベリージャムや加工用冷凍ブルーベリーの製造販売及びブルーベリーの摘み取り販売を行い所得の向上を図る。	道の駅与一の郷、ゴルフ場、自宅直売所、JA出荷
H26.5.30	有限会社ハーレイ牧場	那須塩原市百村489-3	自社生産のこだわりの生乳を活用し、「スティックチーズ」の製造・販売により、収益の向上を図る。	JR那須塩原駅構内売店、ハーレイ牧場直売所、道の駅(与一の郷、明治の森)、高速道路那須高原SA
H26.10.31	有限会社那須岡田牧場	那須町豊原乙653-6	自社の牛ふんを活用した「牛のさらさら堆肥」の製造に取り組み、専業農家への直接販売や地元の農業資材商社と提携し、一般消費者向けに小売り販売を行い、経営の改善と雇用の拡大を図り、付加価値の高い農業経営を目指す。	カクヤス
H28.6.30	浅野鶏卵 浅野晃子	那須町高久甲6423-1	希少な純国産鶏「もみじ」の有精卵を生かした「那須の子宝たまごの贅沢プリン」の開発・販売事業	TOKOTOKOおおたわら
H29.3.31	青葉屋 平山輝貴	那須町高久甲1994	那須高原で育てた青じそを使った新商品開発・販売事業	道の駅那須高原友愛の森、ろまんちっく村
H30.3.30	人見浩農園 人見浩	那須町高久乙1398	自家産米ゆうだい21を用いた玄米趣味噌の開発・販売事業	インターネット通販、マルシェ
H31.2.28	有限会社ロイヤルベリーズファーム	那須町高久丙4515-5	那須町産ぶどうと耕作放棄地から再生した桑(マルベリー)を活用した新商品開発と自社ワイナリー事業	自社ワイナリー、関連会社
R1.9.30	森林ノ牧場株式会社	那須町豊原乙627-114	放牧で育てたジャージー牛の生乳を使用した発酵バター製造販売事業	自社カフェ、インターネット販売、卸販売

9 那須地方の主要園芸作物(令和6年度)

	品目名	作付面積 (ha)	ブランド化状況
1	ねぎ	115.0	JAなすのブランド園芸作物「那須の白美人ねぎ」
2	なし	70.1	JAなすのブランド園芸作物「なすの梨」
3	うど	53.9	JAなすのブランド園芸作物「那須の春香うど」
4	アスパラガス	56.8	JAなすのブランド園芸作物「那須の高原アスパラ」
5	にら	28.0	JAなすのブランド園芸作物「那須のにら」
6	なす	23.3	JAなすのブランド園芸作物「那須の美なす」
7	いちご	20.0	
8	ブロッコリー	13.8	
9	トマト	12.7	JAなすのブランド園芸作物「那須のトマト」
10	菊	7.2	JAなすのブランド園芸作物「那須の菊」

※那須地方で作付されている園芸作物で作付面積が多い順（JAなすの実績）

※JAなすのブランド園芸作物は、他に春菊「那須の春菊」を含めビューティフルブランド野菜9品目として推進

10 那須地方の直売所等

(1) 農産物直売所

市 町 名	直 売 所 名	店 舗 所 在 地	店 舗 電 話	運 営 団 体 名	定 休 日 ・ 開 店 期 間	自 慢 の 品 名	
大 田 原 市	道の駅那須与一の郷 農産物直売館	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	無休 (12～3月第2週は月曜定休)	野菜、米、花、みそ、 まんじゅう	
	羽田沼農産物直売所	羽田785	—	羽田沼農産物直売所	月～金定休	米、野菜、花	
	あさか直売所	浅香2-3389-53	0287-22-4621	(有)21那須北園芸	無休	野菜、漬物、みそ、 米、花、果物	
	直売所くろっぶす侍塚	湯津上154-1	0287-98-3030	直売所くろっぶす侍 塚利用組合	水曜定休	野菜、漬物、まんじゅ う、みそ	
	大田原市水遊園直売所 (水遊マート)	佐良土2686 なかがわ水遊園内	0287-98-6003	NPO法人 キャリア コーチ	月・第4木定休 水遊園休園日は休業	野菜、果物、米、みそ	
	鉢木農産物直売所	堀之内271	—	鉢木農産物直売所	月曜定休(7月～8月無休)	野菜、果物、米、み そ、漬物	
	大田原市ポッポ農園直売 所	片田1200先	0287-54-4368	大田原市ポッポ農園 組合	火曜定休 (8月・10月無休)	野菜、さつまい芋	
	大田原市黒羽温泉センタ ー内展示直売所	堀之内674	0287-59-0505 農村レストラン「ラージュセル」	有限会社 中野内下 生産団地	月曜・第4火曜定休	野菜、みそ、漬物	
	きらり佐久山農産物直売 所	佐久山2554-1	0287-28-1290	株式会社きらり佐久山	無休	野菜、果物、花卉、ま んじゅう、漬物	
	黒羽ふるさと物産センター 直売所	黒羽向町1422-1	0287-54-3152	黒羽ふるさと物産セン ター組合	無休	野菜、みそ、まんじゅう、 アイスクリーム、漬物	
	地産野菜直売所愛菜園	加治屋83	0287-23-9090 080-8842-4611	地産野菜直売所愛菜 園	無休	野菜、果物、米、漬物、 みそ、花	
	TOKO-TOKOマルシェ	中央1-3-15 トコトコ大田原1階	0287-47-4750	(株)大田原まちづくり カンパニー	無休	野菜、米、弁当、惣菜	
	那 須 塩 原 市	那須の駅直売所	鍋掛1475-357	0287-62-0034	那須の駅直売所	無休	野菜、米
		鳥野目産直所	鳥野目391-1 鳥野目河川公園オート キャンプ場内	—	鳥野目産直会	月～金定休 (11月下旬～4月上旬休業)	野菜、米
那珂川産直所		黒磯362	0287-64-2581	那珂川産直会	月～金定休(祝日は営業) ※冬季休業有	野菜	
なすのマルシェ		下厚崎200-4-3	0287-74-3715	なすのマルシェ	火曜定休	野菜、みそ、まんじゅう	
道の駅明治の森・黒磯 マーケット		青木27	0287-63-0399	(株)明治の森市場	第3火曜定休(3～11月) (12月～2月毎週火曜定休)	野菜、乳製品(チー ズ、ソフトクリーム等)	
高林産直会		木綿畑452-1	0287-68-1092	高林産直会	木曜定休	野菜、米、りんご、きの こ	
ロコスタイルマート		塩野崎184-7 那須ガーデンアウトレット内	0287-74-2267	ロコの会	無休(年1回休業日有)	米・野菜・花卉・漬物	
新菜農産物直売所		鍋掛1091	0287-61-4159	新菜農産物直売所	無休	野菜、米、漬物	
ふるさとにしなす産直会 そすいの郷直売センター		三区町657-26	0287-37-7768	ふるさとにしなす産直 会	無休	野菜、米、漬物	
東遅沢ふれあい即売所		東遅沢65	—	東遅沢むらおこし推進 協議会	月～土曜定休	野菜	
アグリバル塩原 農産物直売四季彩畑		関谷442	0287-35-3789	(株)アグリバル塩原	無休 (6・12月臨時休業有)	高原大根、ほうれんそ う、キウイ、野菜、ウコン	
たかはら森林組合 森林の駅直売所		関谷1425-60	0287-34-1037	森林の駅直売所運営 振興会	無休	野菜、果物、きのこ、 農産加工品、林産物	
塩原ものの語り館農産物直 売所		塩原747 塩原ものの語り館	0287-32-4000	塩原温泉観光協会	無休 (12月～4月中旬休業)	野菜	
みどりの森直売所		東原4-12	0287-63-4713	大森 進	月・水・金・土定休 (12月中旬～4月中旬休業)	野菜、漬物、菓子、総 菜	
那 須 町	遊行庵農産物直売所	芦野2584-3	0287-74-1061	遊行庵農産物直売所	火曜定休(3月中旬～12月) (1月～3月中旬平日定休)	野菜、花、米、うどん 粉、米粉	
	那須高原友愛の森 那須ロイヤル高原マルシェ	高久乙593-8	0287-78-7166	那須未来株式会社	無休 (12月～2月水曜定休)	高原野菜、切り花米、み そ、まんじゅう、餅	
	道の駅東山道伊王野 ふるさと物産センター	伊王野459	0287-75-0577	株式会社道の駅東山 道伊王野	無休	野菜、米、工芸品、まんじゅ う、みそ、切り花、そば粉	
	黒田原駅前みんなの店	寺子丙4-56	0287-74-3631	那須未来株式会社	土・日曜定休	野菜、惣菜、弁当	

那須農業振興事務所調べ

(2)農村レストラン

市町名	農村レストラン名	店舗所在地	店舗電話	運営団体名	定休日・開店期間	自慢の品名
大田原市	道の駅那須与一の郷 農村レストラン扇亭	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	無休 (12～3月第2週は月曜定休)	天盛りそば
	味処ゆづかみ	佐良土2686 なかがわ水遊園 内	0287-98-3055	(公財)栃木県農業 振興公社(栃木県な かがわ水遊園)	無休 (12～3月第2週は月曜定休)	手打ちそば、うどん
	農村レストラン ラージヒル	堀之内674	0287-59-0505	(有)中野内下生産 団地	月曜・第4火曜定休	米、野菜、花
	大田原市黒羽ふるさと物 産センター お食事処	黒羽向町1422-1	0287-54-3152	黒羽ふるさと物産セ ンター組合	無休	そば、うどん、手作りコロッケ
	立岩屋	佐久山2554-1	090-3220- 1860	立岩屋	火曜定休	ラーメン、からあげ 他
那須塩原市	農村レストラン ファーム高林坊	木綿畑451-1	0287-68-7775	(株)ファーム高林坊	木曜定休 (GW、祝日、年末、お盆は 臨時営業)	高林そば、うどん
	道の駅明治の森・黒磯 明治の森ダイニング	青木27	0287-63-0399	(株)明治の森市場	第3火曜定休(3～11月) (12月～2月は毎週火曜定 休)	経産牛を使用したハンバーグ、カ レーライス
	農村レストラン 「そすい庵」	三区町656-2	0287-37-8201	ふるさとにしないす産 直会	無休	手打ちそば、うどん、野菜のてんぷ ら
	アグリバル塩原 農村レストラン「関の里」	関谷442 アグリバル塩原 内	0287-35-2266	(株)アグリバル塩原	無休 (6・12月臨時休業有)	関の里セット、きのこめし、手打ちそ ば・うどん
	アグリバル塩原 あぐりのかふえ	関谷442 アグリバル塩原 内	0287-35-3779	(株)アグリバル塩原	無休 (6・12月臨時休業有)	ジェラート、菓子
	関谷もみじの郷	関谷448-1	080-3699- 4016	関谷もみじの郷運営 協議会	火曜定休	そば、天ぷら
那須町	あしの食堂	芦野2584-3	0287-74-1061	遊行庵農産物直売 所	火曜定休	定食、ラーメン
	道の駅東山道伊王野 お食事処「水車館」	伊王野459	0287-75-0654	株式会社道の駅東 山道伊王野	無休	伊王野水車そば、天ざるそば
	道の駅東山道伊王野 和食処「あんず館」	伊王野459	0287-75-3030	株式会社道の駅東 山道伊王野	無休	後藤牛ローストビーフ丼、プレミア ムヤシオマス丼
	那須高原友愛の森 那須の食のレストランな すとらん	高久乙593-8	0287-78-1219	那須未来株式会社	月～金定休 (11月下旬～4月上旬休業)	なすべん、和牛ステーキ丼・季節の カレーセット

那須農業振興事務所調べ

(3)農産物加工所

市町名	加工所名	所在地	電話番号	利用団体名	加工品目
大田原市	倉骨野菜直売所のぞみ 会農産物加工施設	倉骨246	—	倉骨野菜直売所のぞみ会	味噌、米花、まんじゅう
	ふれあいの丘農産物加 工施設	福原1411-22	—	ふれあい漬物加工所	漬物
	道の駅那須与一の郷 加工・物産館	南金丸1584-6	0287-23-8641	株式会社八百屋蔵人	ジェラート
	湯津上農産物加工所	湯津上3419	—	JAなすの	まんじゅう、漬物
	直売所くろつぶす侍塚	湯津上154-1	0287-98-3030	直売所くろつぶす侍塚利用組合	まんじゅう、もち、赤飯、漬物
	ひまわり農産加工組合	片野田1083-3	0287-98-3744	ひまわり農産加工組合	みそ、三五八、米花
	黒羽ふるさと物産セン ター くらね農産加工 所	大輪266-3	0287-59-0848	黒羽ふるさと物産セン ター組合	味噌、まんじゅう、アイスクリーム、 漬物、餅等
那須塩原市	高林坊農産加工施設	木綿畑451-1	0287-68-7775	(株)ファーム高林坊	自家製粉(そば)、うどん、そばの麵 加工
	そすいの郷農産物加工 所	三区町656-2	0287-37-7768	ふるさとにしないす産直会	弁当、菓子、麺類、味噌
	アグリバル塩原 夢工房もみじ村	関谷442	0287-35-3687	(株)アグリバル塩原	まんじゅう、焼き菓子、だんご
那須町	那須高原友愛の森那須 ロイヤル高原マルシェ (加工部門)	高久乙593-8	0287-78-7166	那須未来株式会社	すいとん、カレー、うどん、コロッケ、 焼きそば、シュウマイ、ソフトク リーム

那須農業振興事務所調べ

11 カントリーエレベーター・ライスセンター設置状況

(1)カントリーエレベーター(農協)設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要					処理能力				事業名	
				DS	貯蔵能力	貯蔵施設形式	ばら出荷施設	指定倉庫	施工業者名	面積(ha)		処理量(t)		
大田原CE	大田原市 浅香	那須野農協 (大田原市農協)	S44 (H4)		2,000	コンクリートサイロ	○	○	佐竹製作所	240	360	1,512	#####	米生産総合改善 パイロット事業 (先進的農業生産 総合推進対策事業)
大田原金丸CE	大田原市 北金丸	那須野農協 (大田原市農協)	S45 (S54,56)		2,000	コンクリートサイロ	○	○	佐竹製作所	195	122	1,171	440	米生産総合改善 パイロット事業 (先進的農業生産 総合推進対策事業)
塩那CE	那須塩原市 四区町	那須野農協 (塩那農協)	H5 H4繰越	50t×14基	3,000	二重鉄板サイロ	○	○	ヤンマー農機	500	150	2,370	514	先進的農業生産 総合推進対策事業

(2)ライスセンター等(農協)設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要			処理能力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
川西RC	大田原市 蜂巢	那須野農協 (那須川西農協)	S63 (H10)	循環式 20t×3基	50t×8基	○	145	155	870	580	水田農業確立対策推進事業
鉢木種子センター	大田原市 前田	那須野農協 (黒羽農協)	H2	循環式 3.3t×12基		○	250	70	1,000	210	主要農作物種子生産改善事業 (H17年に交換のため無し)
			H3	循環式 3.3t×4基		○	30	8	178	40	県単水田農業確立対策特別事業
			H7	循環式 4.3t×10基		○	20		70		農業生産体制強化総合推進対策事業 北滝RC 6基 寺宿RC 4基
			H17	循環式 4.0t×10基 スタアデポ 100t×2基		○	250	70	1,000	210	強い農業づくり(競争力強化総合 対策事業)
那須RC	那須町 富岡	那須野農協 (那須町農協)	H4 (H21)	常温定温型 DAG式1基 循環式 20t×2基	50t×36基	○	300		1,723	300	先進的農業生産総合推進対策事業 強い農業づくり(産地競争力の強化)
調製品質管理センター(粳摺調製施設)	大田原市 富池	那須野農協	H25			○			8,031	3,800	東日本大震災農業生産対策事業
富池乾燥施設	大田原市 富池	那須野農協	H25	累積混合 300t×6基 循環式 20t×3基	50t×5基	○	262	89	1,800	300	東日本大震災農業生産対策事業
湯津上乾燥施設	大田原市 湯津上	那須野農協	H25	累積混合 300t×3基、150t×1基		○	130		900		東日本大震災農業生産対策事業
黒磯RC	那須塩原市 黒磯	那須野農協	H30	累積混合 250t×6基 循環式 25t×2基		○	飼料用米 210 主食用米 134		飼料用米 1,500 主食用米 900		強い農業づくり(産地競争力の強化)

(3)ライスセンター等設置状況

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要			処理能力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
吉際ライスセンター	大田原市 富池	吉際生産組合	S51 (S63)	循環式 3.2t×6基		○	35	12	171	44	高能率集団営農推進対策事業
荒井町島ライスセンター	大田原市 中田原	荒井町島 営農集団組合	S52 (S58)	2.6t×3基 (2.4t×2基)		×	30	10	200	30	高能率集団営農改善事業
乾燥調製施設	大田原市 蛭田	富士山荒井 水稻機械組合	S54	循環式 3.8t×2基		×	45		218	(174)	第二次農業構造改善事業
乾燥調製施設	大田原市 蛭田	上蛭田水稻機械組合	S54	循環式 3.8t×1基		×	26		125	(100)	第二次農業構造改善事業

施設名	所在地	事業主体名 (旧農協名)	設置年度 (増設年度)	施設概要			処理能力				事業名
				乾燥機形式	DS	ばら出荷施設	面積(ha)		処理量(t)		
							米	麦	乾籾	麦	
長倉営農集団乾燥施設	大田原市 北金丸	長倉営農集団	S57	循環式 3.7t×4基		×	12	18	50	15	新農業構造改善事業
一区乾燥調製施設	那須塩原市 西那須野	一区麦作生産集団	S58 (H3)	循環式 4t×4基 (4t×1基)	20t×1基	○	55	25	320	100	米麦低コスト
南区堆厩肥利用 組合乾燥施設	大田原市 親園	南区堆厩肥 利用組合	S58 (H1)	循環式 4t×5基		○	50	12	270	56 (216)	主要穀物等生産総合振興対策事業
稲荷原近代化生 産組合乾燥調製 施設	大田原市 奥沢	稲荷原近代化 生産組合	S59	循環式 4t×6基		○	28	27	148	122 (118)	水田作総合改善モデル地区設置 運営事業
羽田近代化営農 組合共同乾燥調 製施設	大田原市 羽田	羽田近代化 営農組合	S60	循環式 4t×4基		○	40	20	200	91	水田利用再編対策推進事業
沼坪近代化営農 集団共同乾燥調 製施設	大田原市 花園	沼坪営農集団	S60	流環式 4t×7基		○	65	40	332	163 (256)	米麦等大規模乾燥施設整備事業
共同乾燥調製施設	大田原市 湯津上	石田営農集団	S61	循環式 4t×3基		○	30	5	147	520 (118)	水田作総合改善モデル地区設置 運営事業
穀類共同乾燥調 製施設	大田原市 小滝	小滝営農集団	S62	循環式 5t×3基		○	43	27	208	114 (166)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 新宿	新宿ライスセンター	S63	循環式 4t×4基		○	38	16	246	74 (197)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市 大貫	上大貫生産集団	S63	流環式 4t×5基		○	38	20	257	105	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 練貫	練貫営農組合	H1	循環式 4t×6基		○	35	23	189	149 (151)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 大神	大神営農集団	H1	循環式 5t×3基		○	30	25	201	109 (160)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市 北和田	北和田営農組合	H1	循環式 5t×4基		○	35	16	268	70 (214)	県単水田農業確立対策特別事業
共同乾燥調製施設	大田原市 実取	実取近代化営農集 団	H2	循環式 4t×7基		○	32	24	192	101 (154)	水田農業確立対策推進事業
共同乾燥調製施設	那須塩原市 野間	野間麦作生産集団	H2	循環式 5t×3基		○	30	15	162	61 (130)	高生産性地域営農機関施設整備 事業
中野内ライスセン ター	大田原市 中野内	那須野農協(黒羽町 農協)	H3	循環式 3.3t×4基		○	30	8	180	25	県単米麦低コスト生産流通モデル 事業
共同乾燥調製施設	那須町 黒田原	成沢営農集団	H7				30		158		地域農業基盤確立農業構造改善 事業
共同乾燥調製施設	大田原市 須佐木	須賀川地区営農組 合	H14				30		144		新山村振興等農林漁業特別対策 事業
共同乾燥調製施設	大田原市 上奥沢	上奥沢営農組合	H15	循環式 5t×6基		○	60	20	390	85	経営構造対策事業
共同乾燥調製施設	大田原市 上薄葉	農事組合法人グリー ンリーフのさき	H19	循環式 5t×4基		○	30	5	207	18	経営構造対策事業

12 令和6年度経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付面積
(R7. 1. 31現在)

単位:件、㎡

		大田原市	那須塩原市	那須町	管内計		
営農計画書の提出件数(交付申請者数)		1,420	934	482	2,836		
畑作物の直接支払交付金の生産面積	小麦	215,830	43,140	0	258,970		
	二条大麦	7,211,460	1,943,660	203,044	9,358,164		
	六条大麦	39,430	370,410	0	409,840		
	はだか麦	0	0	0	0		
	大豆	2,606,160	1,133,410	5,400	3,744,970		
	てん菜	0	0	0	0		
	でん粉原料用ばれいしょ	0	0	0	0		
	そば	1,415,780	667,010	373,650	2,456,440		
なたね	8,400	0	0	8,400			
水田活用の直接支払交付金の作付面積	戦略作物助成	麦	5,525,200	1,788,210	145,367	7,458,777	
		大豆	244,800	482,280	9,500	736,580	
		飼料作物(除くWCS用稲)	3,561,100	8,167,019	4,878,370	16,606,489	
		うち子実用とうもろこし	0	0	0	0	
		うち青刈りとうもろこし	595,200	959,990	375,703	1,930,893	
		WCS用稲	5,908,400	4,406,748	1,637,913	11,953,061	
		米粉用米	0	11,560	0	11,560	
		飼料用米	7,163,900	3,688,707	864,025	11,716,632	
		うち生もみを直接利用する取組を除く	7,163,900	3,688,707	857,025	11,709,632	
		うち生もみを直接利用する取組	0	0	7,000	7,000	
	加工用米	1,399,200	1,116,800	55,840	2,571,840		
	産地交付金の追加配分等	飼料用米(複数年契約)	0	0	0	0	
		米粉用米(複数年契約)	0	0	0	0	
		そば(基幹作)	554,000	307,150	268,330	1,129,480	
		なたね(基幹作)	4,800	0	0	4,800	
		新市場開拓用米(基幹作)	107,100	5,575	123,378	236,053	
	産地交付金におけるその他作物の助成	野菜	3,713,600	1,383,714	247,094	5,344,408	
		花き・花木	124,400	523,709	32,559	680,668	
		果樹	0	0	0	0	
		その他	19,500	0	0	19,500	
	【参考】主食用米等及び二毛作面積	二毛作	主食用米	52,497,585	36,428,676	1,682,905	90,609,166
			麦	2,489,400	517,720	0	3,007,120
			大豆	2,397,000	713,550	0	3,110,550
			飼料作物(除くWCS用稲)	3,899,300	6,832,837	1,310,913	12,043,050
			WCS用稲	0	0	0	0
			米粉用米	0	0	0	0
飼料用米			0	0	0	0	
加工用米			0	0	0	0	
新市場開拓用米			0	0	0	0	
そば			719,400	359,600	24,500	1,103,500	
なたね	0	0	0	0			
備蓄米		2,518,227	32,540	0	2,550,767		
米及び水田活用の直接支払交付金の交付対象農地		97,240,039	66,542,576	31,381,555	195,164,170		
うち加入者の面積		72,165,664	49,298,441	30,675,436	152,139,541		
主食用米の作付参考値	面積(ha)	4,634	3,243	1,679			
	作付参考値数量換算値(トン)	26,879	18,385	9,200			

13 令和6年度多面的機能支払交付金実施状況

		単位	大田原市	那須塩原市	那須町	計	
農振農用地面積(R5.12.31) ①		ha	9,637	8,418	4,364	22,419	
農地 支払 維持	取組地区数	組織	52	39	15	106	
	交付金	千円	162,037	69,064	11,274	242,375	
	面積計 ②	ha	5,472	2,505	378	8,355	
	率 ②/①	%	56.8%	29.8%	8.7%	37.3%	
資源 向上 支払	共同 活動	取組地区数	組織	42	30	5	77
		交付金	千円	78,911	32,750	3,128	114,789
		面積計 ③	ha	4,389	2,033	175	6,597
		率 ③/①	%	45.5%	24.2%	4.0%	29.4%
	長寿 命化	取組地区数	組織	0	0	0	0
		交付金	千円	0	0	0	0
		面積計 ④	ha	0	0	0	0
		率 ④/①	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	交付金計	千円	240,948	101,814	14,402	357,164	

14 令和6年度農業制度金融承認実績(令和6年12月末現在)

(単位:千円)

種別	市町名 件数・金額	大田原市		那須塩原市		那須町		地方計		県計	地方/県	前年実績	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額			件数	金額
		農業近代化資金	53	288,240	49	303,370	13	79,900	115	671,510	1,563,440	43.0%	273
就農支援資金													
日本政策金融公庫資金	農業改良資金												
	農業経営基盤強化資金											110	4,695,910
	経営体育成強化資金											8	24,640
	農林漁業セーフティネット資金											17	718,000
	青年等就農資金											113	887,474
	その他の公庫資金											68	1,596,978
	合計											316	7,923,002
農業経営負担軽減支援資金													
農業経営改善促進資金									2,400			1	2,400
災害条例資金													
畜産特別資金													
畜産経営体質強化支援資金													
合計	53	288,240	49	303,370	13	79,900	115	671,510	1,565,840			590	9,883,632

(県経済流通課調べ)

15 令和6年度主要事業実施状況

令和7年3月現在 (千円)

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
管理部門							
農業委員会交付金			大田原市	大田原市農業委員会	職員設置費	26,422	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	職員設置費	15,991	
			那須町	那須町農業委員会	職員設置費	12,756	
機構集積支援事業			大田原市	大田原市農業委員会	農地法に基づく事務の適性実施のための支援事業、農地の有効利用を図るための支援事業	712	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	農地法に基づく事務の適性実施のための支援事業、農地の有効利用を図るための支援事業	3,638	
農地利用最適化交付金			大田原市	大田原市農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	13,361	
			那須塩原市	那須塩原市農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	12,365	
			那須町	那須町農業委員会	農業委員会の農地利用最適化に係る活動実績、成果実績に応じた交付金	7,288	
企画振興部							
農業団体等需給調整推進事業	地域協議会需給調整推進事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	278	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	204	
			那須町	那須町農業再生協議会	主食用米の作付参考値の提示に係る事務等	200	
経営所得安定対策直接支払事業推進事業			大田原市	大田原市農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	16,200	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	11,000	
			那須町	那須町農業再生協議会	経営所得安定対策の普及推進活動等	7,171	
畑地化促進事業	土地改良区決済金等支援		那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	土地改良区地区除外決済金の助成金	9,824	
水田農業構造改革推進事業	作付転換拡大緊急対策支援事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	主食用米からの転換拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	1,561	
			那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	主食用米からの転換拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	315	
			那須町	那須町農業再生協議会	主食用米からの転換拡大に対する助成金及びそれに係る事務費等	570	
農業人材強化総合支援事業			大田原市	大田原市	農業次世代人材投資資金(経営開始型)、事業実施に係る事務費等	3,450	
			那須塩原市	那須塩原市	農業次世代人材投資資金(経営開始型)、事業実施に係る事務費等	750	
新規就農者育成総合対策事業			大田原市	大田原市	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	6,404	
			那須塩原市	那須塩原市	新規就農者育成総合対策(経営開始資金)	10,550	
新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業			那須塩原市	那須塩原市	就農後の経営発展に必要な機械・施設等の導入に係る支援	9,696	
地域計画策定推進緊急対策事業			大田原市	大田原市	消耗品費、人件費、通信運搬費	653	
			那須塩原市	那須塩原市	消耗品、通信運搬費	267	
			那須町	那須町	消耗品費、通信運搬費	131	
農畜産物放射性物質影響緩和対策支援事業	産地競争力の強化(推進事業:放射性物質吸収抑制対策)		那須塩原市	那須野農業協同組合農産物受検組合他2団体	放射性物質の吸収抑制のための大豆、そばの加里肥料施用	5,172	
麦・大豆生産技術向上事業	県産小麦・大豆供給力強化事業		那須塩原市	アーデルファーム株式会社	新たな営農技術等の導入(19.5ha)に係る経費	1,560	
産地生産基盤パワーアップ事業(麦・大豆機械導入対策)	県産小麦・大豆供給力強化事業		大田原市	大田原市農業再生協議会	農業機械の導入(1件)	20,312	

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
産地生産基盤パワーアップ事業(麦・大豆機械導入対策)	県産小麦・大豆供給力強化事業		那須塩原市	アーデルファーム株式会社、那須塩原市農業再生協議会	農業機械の導入(2件)	58,014	
産地生産基盤パワーアップ事業	基金事業		那須塩原市	農業者4名	パイプハウス資材(34棟、0.8ha分)	31,821	
農地集積・集約化対策事業	機構集積協力金交付事業		大田原市	大田原市	地域集積協力金 2,536a	7,101	
畜産環境対策総合支援事業	畜産・土づくり施設等導入支援事業		那須塩原市	西那須野白崎畜産クラスター協議会	縦型コンポスト等一式	40,370	
畜産担い手育成総合整備事業		栃木那須地区	那須塩原市	(公財)栃木県農業振興公社	測量	1,987	
			那須町	(公財)栃木県農業振興公社	草地造成改良 0.08ha 草地整備改良 3.89ha	13,940	
畜産担い手育成総合整備事業		那須高原牧場地区	大田原市	(公財)栃木県農業振興公社	草地造成 0.21ha 草地整備 16.83 ha	23,100	
			那須町	(公財)栃木県農業振興公社	鳥獣被害防柵 1,658m	18,737	
農地利用効率化等支援交付金	融資主体支援タイプ		大田原市	大田原市	農業機械・施設の導入(3件)	29,030	
			那須塩原市	那須塩原市	農業機械の導入(1件)	12,693	
遊休農地対策事業	農地いきいき再生支援事業		那須塩原市	那須塩原市農業再生協議会	遊休農地の解消に係る経費	551	
中山間地域等直接支払制度	中山間地域等直接支払交付金	塩原、高林	那須塩原市	那須塩原市	急傾斜農地等の維持管理等	1,534	
		両郷、須賀川、黒羽	大田原市	大田原市	急傾斜農地等の維持管理等	24,290	
		芦野、伊王野、那須	那須町	那須町	急傾斜農地等の維持管理等	44,520	
	中山間地域等直接支払推進交付金		那須塩原市	那須塩原市	事業の推進・確認・交付事務等	15	
			大田原市	大田原市	事業の推進・確認・交付事務等	17	
中山間地農業ルネッサンス推進事業			那須町	那須町	道の駅那須高原友愛の森における農村レストランの営業戦略作成・新メニュー開発	282	
農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)			那須塩原市	株式会社明治の森市場	道の駅明治の森黒磯における乳製品及び経産牛メニュー開発	2,620	
未来へつなぐ「ジモト」農産物応援事業			大田原市	大田原とうがらしの郷づくり推薦協議会	生産体制整備及び地域内普及・啓発事業、消費喚起プロモーション事業	2,020	
インバウンドに対応したとちぎの農村ビジネス創出事業			大田原市、那須町	大田原グリーン・ツーリズム推進協議会連携委員会	農家民宿の改修工事、体験メニュー開発講習会、視察研修、HP改修等	4,745	
経営普及部							
園芸大国とちぎフル加速総合対策事業	スマート果樹園推進事業		大田原市 那須塩原市	JAなすの梨部会	ファーモ気象センサー5台	825	
	「いちご王国・栃木」生産拡大等支援事業		大田原市 那須塩原市	JAなすのいちご部会	パイプハウスK-20型5棟、パイプハウスK-18型2棟、炭酸ガス発生装置2台、LED電照装置1式	17,376	
土地利用型園芸スケールアップ事業	メガ産地育成強化事業		大田原市	JAなすのねぎ選果施設運営委員会	ねぎ増産に必要な出荷資材購入費(9.5ha分)、夏ねぎ導入検討用ほ場90aに必要な資材	7,200	
果樹経営支援対策整備事業	優良品目、品種への転換等		大田原市	那須地方なし産地構造改革協議会	省力樹形への新植	423	
果樹未収益期間支援事業			大田原市	那須地方なし産地構造改革協議会	改植に伴う未収益期間に要する経費の補助	291	

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払推進交付金)			大田原市	大田原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	660	
			那須塩原市	那須塩原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	688	端数切り上げ
			那須町	那須町	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	920	端数切り上げ
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払推進交付金)			大田原市	大田原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	660	
			那須塩原市	那須塩原市	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	688	端数切り上げ
			那須町	那須町	本対策の推進及び取り組んでいる農業者、関係者等に対する確認・交付事務等	920	端数切り上げ
環境保全型農業直接支払事業費(環境直接支払交付金)			大田原市	大田原市	取組農業団体に対する交付金	12,382	端数切り上げ
			那須塩原市	那須塩原市	取組農業団体に対する交付金	65,370	端数切り上げ
			那須町	那須町	取組農業団体に対する交付金	12,082	端数切り上げ
鳥獣被害防止総合対策推進事業(総合支援事業)			大田原市	大田原市野生鳥獣被害対策連絡協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	1,214	端数四捨五入
			那須塩原市	那須塩原市野生鳥獣対策協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	3,933	端数四捨五入
			那須町	那須町地域担い手育成総合支援協議会	実施隊の行う捕獲活動や調査活動に係る経費	264	
意欲ある新規就農者の確保育成事業費	経営資源有効活用リフォーム支援事業費		那須塩原市 1名	認定新規就農者1名	新規就農にあたり中古施設等の修繕に係る経費	2,930	端数四捨五入
飼料生産対策事業費	持続的畜産経営推進事業		那須塩原市	百村飼料生産組織	耕畜連携推進機械導入支援	4,100	端数四捨五入
			大田原市	HQS飼料生産組織	耕畜連携推進機械導入支援	1,177	
肉用牛生産基盤強化拡大事業費	とらぎの和牛繁殖基盤強化拡大事業費		那須塩原市	那須野農業協同組合	優良繁殖雌牛の導入支援に要する経費の助成	400	
水田農業構造改革推進事業費	栃木のお米超低コスト生産対策事業		那須塩原市	法人経営体等(佐藤農園)	低コスト生産に向け、土壌分析による適切な肥培管理を可能にする可変施肥田植機の導入支援	5,115	端数四捨五入
農村整備部							
農業競争力強化基盤整備事業		荒井町島	大田原市	県	水路工 L=397.3m 換地業務1式 補償費1式	72,100	R6局明許 61,934 R6一般 10,166
		下深田	大田原市	県	水路工 L=247m 測量試験費1式	16,590	R6局明許 11,000 R6一般 5,590
		中田原	大田原市	県	区画整理 A=0.7ha 測量試験費1式 補償費1式 換地業務1式	205,000	R5繰越 25,000 R6局明許 112,000 R6一般 48,000 R6補正 20,000
		練貫	大田原市	県	水路工 L=660m 測量試験費1式 換地業務1式	111,039	R5繰越 23,039 R6局明許 40,000 R6一般 48,000
		倉骨	大田原市	県	測量試験費1式、 換地業務1式	80,000	R6一般 40,000 R6補正 40,000

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
農業農村整備計画調査費		親園鴨内川	大田原市	県	計画設計業務	1,980	
基幹水利施設管理事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	管理業務	19,184	
		塩那台地	大田原市	県	管理業務	36,036	
換地関係指導事務費		大田原市	大田原市	県	換地関係指導(荒井町島、下深田、中田原、練貫地区、倉骨)	465	
農業水利施設省エネルギー化推進事業	農業水利施設省エネルギー化推進事業	塩那台地	大田原市	県	交付金	701	
水利施設管理強化事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	大田原市 那須塩原市	管理業務	32,406	
		塩那台地	大田原市	大田原市	管理業務	1,796	
県単換地等調整事業	県単換地等調整事業	赤瀬台・鹿畑	大田原市	大田原市	換地等調整事業 1式	1,452	
		戸能	那須町	那須町	換地等調整事業 1式	462	
農村地域防災減災事業	防災重点農業用ため池緊急整備事業	熊久保望田水利組合ため池	那須塩原市	那須塩原市	測量試験費 1式	10	R6現年
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	熊久保望田水利組合ため池	那須塩原市	那須塩原市	測量試験費 1式	4,000	R5補正(R6～繰越)
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	熊久保望田水利組合ため池	那須塩原市	那須塩原市	測量試験費 1式	38,000	R6補正(R7～繰越)
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	左内溜	那須町	那須町	測量試験費 1式	1,492	R6現年
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	左内溜	那須町	那須町	測量試験費 1式	6,000	R5補正(R6～繰越)
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	左内溜	那須町	那須町	測量試験費 1式	21,000	R6補正(R7～繰越)
	防災重点農業用ため池緊急整備事業	飛倉溜	那須町	那須町	測量試験費 1式	9,500	R6現年
農地耕作条件改善事業	農業用排水施設	片府田5	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機受変電設備 1箇所	14,000	R7～繰越
	農業用排水施設	巻川8	大田原市	湯津上土地改良区	取水門壁修繕 1箇所	12,000	
	農業用排水施設	川西第1	大田原市	黒羽土地改良区	用水路工 L=110m	5,500	
	農業用排水施設	北滝	大田原市	黒羽土地改良区	取水施設改修 1式	20,500	R7～繰越
	農業用排水施設	石田坂	那須塩原市	那須塩原市	揚水機場電気施設更新	60,000	R7～繰越
地籍調査		大田原市	大田原市	大田原市	A=0.75km ²	10,000	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	A=0.14km ²	15,900	
		那須町	那須町	那須町	A=2.50km ²	15,700	
農地集積促進事業(調査・調整事業)		荒井町島	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
		下深田	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	200	
		中田原	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	200	
		練貫	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
		倉骨	大田原市	大田原市土地改良区	調査調整事業	500	
県単農業農村整備事業		佐良土東堀	大田原市	湯津上土地改良区	水路工L=140m	6,400	
		三本木佐野5	那須塩原市	那須塩原市	水路工L=230m	27,500	
		湯津上中の原	大田原市	湯津上土地改良区	水路工L=206m	9,300	

令和7年3月現在 (千円)

事業名	細事業名	地区名等	市町名	事業実施主体	事業の内容	事業費	備考
県単農業農村整備事業		平沢	大田原市	大田原市土地改良区	揚水機設置1基 (D=100mm、11Kw)	2,800	
		片府田	大田原市	湯津上土地改良区	揚水機設置1基 (D=125mm、11Kw)	3,800	
多面的機能支払(交付金)		大田原市	大田原市	大田原市	農地維持支払52地区等 A=5,472ha	240,948	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市	農地維持支払39地区等 A=2,505ha	101,814	
		那須町	那須町	那須町	農地維持支払15地区等 A=378ha	14,402	
多面的機能支払(推進費)		大田原市	大田原市	大田原市		567	
		那須塩原市	那須塩原市	那須塩原市		300	
		那須町	那須町	那須町		95	
那須広域ダム管理所							
深山・板室ダム管理事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	深山・板室ダム管理業務	89,364	
水利施設整備事業		那須野原	大田原市 那須塩原市	県	管理棟新築工事他一式	284,284	R5繰越: 150,080 R6一般: 134,204 R7繰越: 20,000

16 市町村の地域指定等について

	大田原市	那須塩原市	那須町	備考
旧市町村名	大田原市(大田原町、親園村、金田村、野崎村、佐久山町) 湯津上村 黒羽町(黒羽町、川西町、須賀川村、両郷村)	黒磯市(黒磯町、鍋掛村、東那須野村、高林村) 西那須野町(西那須野町、狩野村) 塩原町(塩原町、箒根村)	那須村 芦野村 伊王野村	
特定農山村法の指定地域	旧黒羽町(旧須賀川村)	旧黒磯市(旧高林村) 旧塩原町(全域)	旧伊王野村	特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律(H5)
山村振興法の指定地域	旧黒羽町 (旧須賀川村(S43)・旧両郷村(S46))	旧黒磯市(旧高林村)(S41) 旧塩原町(全域)(S46)	旧伊王野村(S42) 旧芦野村(S42)	山村振興法(S40) (H37.3.31までの時限立法)
豪雪地帯		旧黒磯市(S38.11.1) 旧塩原町(S38.11.1)	那須町(S38.11.1)	豪雪地帯対策特別措置法(S37)
未線引き都市計画区域	一部(35,436ha内13,380ha) (S50.7.1)	旧黒磯市一部(34,312ha内 15,760ha)(S50.7.1) 旧西那須野町全部(5,963 ha)(S31.4.27) 旧塩原町一部(19,007ha内 17,928ha)(S57.12.24)	一部(37,231ha内 26,044ha) (S50.7.1)	都市計画法(S43)
風致地区	城山公園(約5.2ha)(S45.7.24) 大田原公園(約19.3ha)(S45.7.24)	-	-	都市計画法(S43)
首都圏整備法に基づく都市開発区域	一部指定	旧西那須野町指定 旧塩原町一部指定		首都圏整備法(S31)
低開発地域工業開発地区	塩那地区 (大田原市)	- (解除)	塩那地区 (那須町)	低開発地域工業開発促進法(S36)
工業再配置促進法に基づく誘導地域	大田原市 旧湯津上村 旧黒羽町	旧黒磯市 旧西那須野町 旧塩原町	那須町	工業再配置促進法(S47)
農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく農村地域 ※	-	-	那須町	農村地域への産業の導入の促進等に関する法律(H28)(旧農工法)
地域拠点法に基づく地域拠点都市地域	大田原市	旧黒磯市 旧西那須野町	-	地域拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法(H4)
野菜指定産地	那須(冬春トマト) H14.3.22 那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30	栃木県北高冷地 (夏だいこん) S41.8.18 那須(冬春トマト) H14.3.22 那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30 日塩(ほうれんそう) S48.12.20	那須(夏秋なす) H10.5.20 那須(秋冬ねぎ) H7.5.30 日塩(ほうれんそう) S48.12.20	野菜生産出荷安定法(S41)
農村休暇法(第5条)による市町村計画作成年月日	H10.12.1(旧湯津上村) H8.10.1(旧黒羽町)	H8.10.1(旧黒磯市)	-	農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法(H6)
農業振興振興地域の地域指定年月日	H17.10.31	H17.1.28	S47.11.10	農業振興地域の整備に関する法(S44)
農振整備計画策定年月日	H16.2.3	旧黒磯市(H13.9.20) 旧西那須野町(H12.4.19) 旧塩原町(H9.8.11)	H9.10.21	農業振興地域の整備に関する法(S44)
中山間地域等直接支払対象地域	法指定地域(旧須賀川村、旧両郷村、旧黒羽町、旧川西村、旧湯津上村) 知事特認地域(旧金田村、旧親園村、旧佐久山村、旧野崎村2-1)	法指定地域(旧高林村、旧箒根村、旧塩原町) 知事特認地域(旧黒磯町、旧鍋掛村2-1、旧東那須野村、旧狩野村、旧西那須野村)	法指定地域(旧芦野村、旧伊王野村) 知事特認地域(旧那須村)	食料・農業・農村基本法(H11) 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律(H26)
市町村振興計画の名称		第2次那須塩原市総合計画(H29～H38年度)	第7次那須町振興計画(H28～H37年度)	
市町村木	いちよう(S49.11.1)	まつ(H18.3.15)	ごようまつ(S54.11.3)	
市町村花	キク(S49.11.1)	やしおつつじ(H18.3.15)	りんどう(S54.11.3)	
市町村鳥	ウグイス、ヒバリ(R元.10.26)	-	かつこう(S54.11.3)	
市町村魚	ミヤコタナゴ(S49.11.1)	-	-	
農業地域類型	平地農業地域 水田型	中間農業地域 水田型	中間農業地域 田畑型	農林統計

※農村地域工業等導入促進法(旧農工法)に基づく地域指定は、首都圏整備法との関係で市町村合併時点で大田原市、那須塩原市で解除(ただし既存立地への影響はなし)

17 地域計画策定状況

令和7年3月末現在

No.	地域名	地域内農業集落名	策定年月日
大田原市			
1	大田原地区	大田原東	R7.3.31
2		大田原北	R7.3.31
3		大田原西	R7.3.31
4	金田地区	中田原	R7.3.31
5		町島・荒井・岡・今泉・戸野内	R7.3.31
6		富池・市野沢・練貫	R7.3.31
7		羽田・乙連沢・小滝	R7.3.31
8		北金丸	R7.3.31
9		南金丸	R7.3.31
10		上奥沢・奥沢	R7.3.31
11		鹿畑・倉骨・赤瀬・北大和久	R7.3.31
12	親園地区	親園北区・実取	R7.3.31
13		親園南区・滝沢	R7.3.31
14		滝岡・花園	R7.3.31
15		宇田川・萩野目	R7.3.31
16	野崎地区	下石上・上石上・野崎	R7.3.31
17		薄葉・平沢	R7.3.31
18	佐久山地区	佐久山	R7.3.31
19		藤沢・琵琶池・大神南部	R7.3.31
20		大神本田・福原	R7.3.31
21	湯津上地区	狭原・小船渡	R7.3.31
22		湯津上	R7.3.31
23		佐良土	R7.3.31
24		蛭畑	R7.3.31
25		蛭田	R7.3.31
26		新宿・片府田・品川	R7.3.31
27	黒羽地区	黒羽田町・八塩	R7.3.31
28		前田・北野上南区	R7.3.31
29		堀之内・北野上北区	R7.3.31
30		北滝・片田・亀久・矢倉	R7.3.31
31	川西地区	黒羽向町・大豆田・余瀬	R7.3.31
32		蜂巢・桧木沢	R7.3.31
33		寒井	R7.3.31
34	両郷地区	中野内	R7.3.31
35		河原・両郷	R7.3.31
36		寺宿・木佐美	R7.3.31
37		大久保・久野又	R7.3.31
38		大輪・川田	R7.3.31
39	須賀川地区	須佐木	R7.3.31
40		須賀川	R7.3.31
41		雲岩寺・川上・南方	R7.3.31
	計	41	

No.	地域名	地域内農業集落名	策定年月日
那須塩原市			
1	黒磯地区	鳥野目、小結、東原	R7.3.31
2		埼玉	R7.3.31
3		共墾社1丁目、東栄1～2丁目、豊浦、共墾社、下厚崎、渡辺、安藤町、原町、東豊浦	R7.3.31
4		本郷町、新朝日、宮町、本町、黒磯幸町、錦町、住吉町、豊町、中央町、高砂町、弥生町、橋本町、桜町、材木町、大黒町、若葉町、東大和町、黒磯、上厚崎、豊浦中町、豊浦町、未広町、清住町、新緑町、松浦町、阿波町、新町、西新町、豊住町、並木町、若草町、豊浦北町、美原町、北栄町、豊浦南町、春日町	R7.3.31
5	鍋掛地区	寺子	R7.3.31
6		越堀	R7.3.31
7		鍋掛、野間	R7.3.31
8	東那須野地区	大原間、島方、上中野、大原間西1～2丁目、方京1～3丁目	R7.3.31
9		東小屋、山中新田、上大塚新田、佐野、三本木	R7.3.31
10		木曾畑中	R7.3.31
11		沼野田和	R7.3.31
12		下中野	R7.3.31
13		中内、鹿野崎、上郷屋、塩野崎、塩野崎新田、無栗屋	R7.3.31
14		唐杉、北弥六、前弥六、沓掛、前弥六南町、沓掛1～3丁目	R7.3.31
15		笹沼、北和田、波立	R7.3.31
16	高林地区	箕輪、洞島	R7.3.31
17		青木	R7.3.31
18		高林、箭坪	R7.3.31
19		油井、亀山、細竹、西岩崎、板室	R7.3.31
20		戸田	R7.3.31
21		百村	R7.3.31
22		木綿畑	R7.3.31
23		湯宮、鳴内	R7.3.31
24	西那須野地区	四区町、千本松	R7.3.31
25		三区町	R7.3.31
26		二区町	R7.3.31
27		一区町	R7.3.31
28		永田町、扇町、あたご町、西大和、西原町、五軒町、西栄町、東町、西朝日町、南町、西幸町、下永田1～8丁目、太夫塚1～6丁目	R7.3.31
29		緑1～2丁目、二つ室、北二つ室	R7.3.31
30	狩野地区	上赤田、北赤田、南赤田、西赤田、東赤田	R7.3.31
31		三島1～5丁目、東三島1～6丁目、西三島1～7丁目	R7.3.31
32		井口、西遅沢、東遅沢	R7.3.31
33		高柳、西富山、関根、東関根、槻沢	R7.3.31
34		南郷屋1～5丁目、睦、新南、石林	R7.3.31
35	塩原地区	塩原、中塩原、上塩原、湯本塩原	R7.3.31
36	箒根地区	折戸、上横林、横林、接骨木	R7.3.31
37		関谷、遅野沢、藁沼	R7.3.31
38		金沢、下田野	R7.3.31
39		宇都野	R7.3.31
40		下大貫、上大貫、高阿津	R7.3.31
計		40	

No.	地域名	地域内農業集落名	策定年月日
那須町			
1	那須村	①那須高原、守子、伊藤台、広谷地、喰木原、上半俵、下半俵、蕪中、本町、大町、見晴町、旭町、東町、占勝園、西町、元湯、奥那須、湯本仲町、川向町、遅山町、室野井、宇田島、六斗地、横沢、池田、小深堀、一ツ権	R7.3.31
2		②大同、大日向、松子1・2、松田、田代、茗ヶ沢	R7.3.31
3		③北条、長南寺、大島1・2、藤塩、中原、戸能、小島1・2、喜和田、漆塚上・下、新田、羽原、大石、穂積、山梨子	R7.3.31
4		④茅沼、薄室、菱喰内、橋本町、下瀬縫、芦の又、本郷1・2、丸山、岡室、筒地、新高久、桜久保、後藤橋、弓落、廻り谷、渡久保、上瀬縫	R7.3.31
5		⑤時庭、落合、田中、前久保、秋山沢、狸久保、東狸久保、柏、高久、上川、小羽入、立岩、新小羽入、下川、よさぎ集落	R7.3.31
6		⑥綱子、常民夕狩、新夕狩、慈生会、夕狩、黒木、七曲、五十里、東観、柏沼、二枚橋、木戸、水原、成沢、矢の目1・2、追田原、弥次郎	R7.3.31
7		⑦大谷、大沢、大深堀、北沢、荻久保、田島、豊津、高津、柏台、千振、千景園集落	R7.3.31
8		⑧逃室1～3、新逃室、針生、松沼、吉田上・下、上の原、法師畑、西大久保、塩阿久津上、西田、旗鉾、松の倉、音羽町1～4、新黒田、旧黒田、前原、茶臼、幸町1～3、相生町1～3、本町1～3	R7.3.31
9	伊王野村	⑨下町、上町、上郷、東岩崎、大和須、梓、藁沢、大畑	R7.3.31
10		⑩睦家、梁瀬、沼野井、稲沢	R7.3.31
11	芦野町	⑪下芦野、唐木田、西坂、黒川、中の川、上野町、川原町、仲町上・中・下、横町上・下、新道、新町上・下、大ヶ谷、峯岸、板屋、高瀬、三ヶ村	R7.3.31
12		⑫塩阿久津下、石住、水塩大久保、白井、吉の目、上下田、大平、寄居本郷、豆沢、寄居大久保、中重、山中、明神	R7.3.31
	計	12	

18 令和6年度主な農業関係表彰受賞者一覧

(1) 全国段階

(順不同)

コンクール名	受賞名	受賞者名
令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業	農林水産大臣賞	大田原市 大田原とうがらしの郷づくり推進協議会 (会長 吉岡 博美)
令和6年度全国優良経営体表彰	全国担い手育成総合支援協議会会長賞	大田原市 岩城 善広
最高を超える山田錦プロジェクト 2024 (旭酒造主催)	グランプリ 準グランプリ	大田原市 五月女 文哉 那須塩原市 佐藤 友幸
令和6年度農産漁村女性活躍表彰	女性地域社会参画部門(組織)最優秀賞(農林水産大臣賞)	大田原市 大田原市農業委員 (Team あゆみ)
第26回全農枝肉共励会	最優秀賞	大田原市 佐藤 和徳
令和6年度東京食肉市場豚枝肉共励会	名誉賞	那須塩原市 (有)宇野養豚所

(2) 県段階

コンクール名	受賞名	受賞者名
令和6年度栃木県農業青年研究大会 意見発表の部	優秀賞	那須塩原市 森 瑞貴
第6回栃木県農業大賞 【農業経営の部】 【農村活性化の部】 【芽吹き力賞】	栃木県知事賞 栃木県知事賞 特別賞	那須町 伊藤高行・伊藤結花(酪農) 那須塩原市 株式会社アグリパル塩原 (代表取締役社長 君島 圭一) 大田原市 相馬 亮冴(いちご)
令和6年度優良担い手表彰事業 【優良認定農業者の部(個人)】	優良賞	那須塩原市 神藤 芳定
第32回栃木県ホルスタイン共進会	準名誉賞(未經産1~4部) 名誉賞(経産5~8部)	那須塩原市 那須拓陽高校 那須塩原市 小針 勤
第50回とちぎ和牛枝肉共励会	優秀賞 優良賞	大田原市 森 修一 大田原市 磯 泰雄
第41回 栃木県肉用牛総合共進会 種牛の部	最優秀賞(2区) 名誉賞(3区)(農林水産大臣賞) 最優秀賞(4区)	那須塩原市 前田 公一 那須塩原市 古谷 光弘 那須塩原市 白井 通
令和6年度栃木県花の展覧会	農林水産大臣賞(金賞)	那須塩原市 加藤利文
令和6年度とちあいか食味コンテスト	最高金賞(栃木県知事賞)	大田原市 くまかわいちご園

19 栃木県農業士等名簿（那須地方）

栃木県農業士

No	氏名	市町名	経営類型	認定年度
1	高久 一次	那須町	和牛繁殖＋水稲	平成21年
2	秋本 則夫	大田原市	水稲＋麦＋作業受託	平成22年
3	植竹 英夫	大田原市	土地利用型＋アスパラガス＋作業受託	平成22年
4	石塚 政隆	那須塩原市	酪農	平成22年
5	遅澤 喜則	那須塩原市	水稲＋露地野菜(ねぎ・なす)	平成22年
6	高村 広行	那須塩原市	土地利用型＋アスパラガス	平成22年
7	菊池 宏	那須塩原市	水稲＋いちご	平成22年
8	熊田 正和	大田原市	水稲＋和牛一貫	平成23年
9	磯 浩美	大田原市	水稲＋雨除けトマト＋しゅんぎく	平成24年
10	渡邊 光栄	那須塩原市	酪農＋和牛繁殖	平成24年
11	相馬 岩利	那須塩原市	水稲＋麦＋作業受託	平成25年
12	郡司 裕一	大田原市	水稲＋麦＋ほうれんそう	平成26年
13	川又 豊藏	大田原市	水稲＋麦＋和牛繁殖	平成26年
14	君島 章	那須塩原市	酪農	平成26年
15	菅生 賢治	大田原市	いちご＋水稲＋農産加工	平成27年
16	平山 和彦	那須町	花き＋水稲	平成27年
17	村田 光喜	大田原市	耕種＋園芸(山うど)	平成28年
18	佐藤 友幸	那須塩原市	水稲＋和牛繁殖	平成28年
19	佐藤 和徳	大田原市	和牛一貫＋にら＋水稲	平成29年
20	渡邊 博典	那須塩原市	和牛繁殖＋耕種＋露地野菜	平成29年
21	高瀬 隆至	大田原市	水稲＋麦＋作業受託	平成30年
22	松本 良則	那須塩原市	水稲＋作業受託	平成30年
23	平山 貴典	那須町	水稲＋麦＋ねぎ	平成30年
24	高久 淳平	那須町	和牛繁殖	平成30年
25	小野崎 豊	大田原市	水稲＋麦＋大豆	令和元年
26	大関 一男	那須塩原市	酪農	令和元年
27	平山 輝貴	那須町	水稲＋露地野菜＋農産物加工	令和2年
28	渡邊 一浩	大田原市	ねぎ(露地及びハウス)＋水稲	令和4年
29	郡司 勝典	那須塩原市	アスパラガス＋水稲	令和4年
30	高松 英樹	那須塩原市	トマト＋水稲	令和6年
31	廣木 一央	那須町	いちご＋水稲＋麦＋そば	令和6年

栃木県女性農業士

No	氏名	市町名	経営類型	認定年度
1	屋代 ゆき子	大田原市	牧草＋梅・林業	平成16年
2	小沼 伸枝	大田原市	いちご＋水稲	平成17年
3	島田 晴子	那須塩原市	酪農	平成19年
4	中山 知代子	大田原市	いちご＋水稲	平成21年
5	磯 由起子	那須町	酪農＋水稲＋和牛繁殖	平成23年
6	田中 和江	那須町	水稲＋農産物加工＋露地野菜	平成23年
7	齋藤 まゆみ	大田原市	水稲＋いちご	平成24年
8	磯 尾安代	大田原市	アスパラガス＋水稲	平成28年
9	大島 章子	那須塩原市	酪農＋水稲	平成30年
10	岡本 利江	那須塩原市	アスパラガス＋水稲＋ねぎ	令和元年
11	西岡 智子	大田原市	水稲＋ビール大麦	令和3年

20 那須地方の土地改良区名簿

令和7年4月1日現在

土地改良区名	理事長名	住 所	電話番号 FAX	設 立 年月日	面積 (ha)	組合 員数	関係市町	備 考
親 園	たまた みのる 滝田 稔	〒324-0044 大田原市親園2939	0287-28-1064 0287-28-1064	S46.5.10	397	310	大田原市	県圃完了(親園地区)
塩那台地	しほい やすお 渋井 康男	〒324-0024 大田原市福原232-2	0287-28-2274 0287-28-2274	S50.3.17	1,491	1,244	大田原市 さくら市 那須烏山市 那珂川町	国農完了(塩那台地地区)
大田原市	やなぎだ たかお 柳田 崇夫	〒324-0041 大田原市本町1-3-1	0287-22-3226 0287-22-3077	H11.12.24	3,219	2,253	大田原市 矢板市 那須塩原市 さくら市	県圃完了(大沢、藤沢、金丸、石上、宇田川、相の川、親園西部、親園北部、乙連沢、羽田、琵琶池、上奥沢、金田北部、金田北部2期、金田北部3期地区) 県圃中(荒井町島、下深田、中田原、練貞、倉骨地区、親園鴨内川) 団圃完了(上の原、大神、佐久山、藤山堰、野崎、北金丸、赤瀬、平沢地区)
湯津上	こばやし ひでお 小林 英夫	〒324-0403 大田原市湯津上5-776 湯津上農村環境改善センター内	0287-98-2221 0287-98-2621	H18.1.11	1,505	1,027	大田原市 那珂川町	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(湯津上、蛭畑、片府田、巻川、二輪地区) 県土地総完了(巻川、巻川2期地区)
黒 羽	たかお よしひこ 高尾 嘉彦	〒324-0233 大田原市黒羽田町222 旧黒羽中学校A棟1階	0287-54-2671 0287-48-7313	H19.1.10	870	867	大田原市	県土地総完了(大川地区) 県総バ完了(那須地区) 県圃完了(片田、両郷地区) 農構完了(両郷、北滝、両郷河原地区) 県土地総完了(両郷河原地区) 団圃完了(鉢木地区) 団土地総完了(両郷中央、大豆田、篠原、磯上地区)
那須疏水	わたなべ みちたろう 渡辺 美知太郎	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8	0287-36-0455 0287-36-0354	S27.3.10	1,001	924	那須塩原市 大田原市	国農完了(那須野原地区) 農構完了(四区地区)
西那須野東部	かみらぎ 征男 鎌木 征男	〒329-2725 那須塩原市あたご町2-3 那須塩原市役所西那須野支所内	0287-37-6259 0287-37-5116	S43.12.4	243	207	那須塩原市	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(井口槻沢地区) 団圃完了(高柳地区)
黒 磯	つきい みよし 月井 美好	〒325-0116 那須塩原市木綿畑637-1	0287-73-8431 0287-73-8432	H16.2.10	2,089	1,191	那須塩原市 大田原市	国農完了(那須野原地区) 農構(鍋掛地区) 県基幹排水完了(鍋掛地区)
塩 原	きみしま いちろう 君島 一郎	〒329-2801 那須塩原市関谷1264-5	0287-35-3017 0287-35-3057	H17.1.12	934	627	那須塩原市	国農完了(那須野原地区) 県圃完了(箒川沿岸地区) 県農開完了(奥塩原地区)
江戸川用水	ひらやま たかのり 平山 貴典	事務所までお問い合わせください		S29.12.25	146	91	那須町	県ため池(江戸川地区) 団圃完了(桜久保地区) 農構完了(江戸川地区)
那須町	おおひら こういち 大平 康市	〒329-3215 那須町大字寺子乙1240-1 りぼーる・たなか内2階	0287-71-1261 0287-72-7530	H20.4.1	905	887	那須町 那須塩原市	県圃完了(芦野、小島、漆塚地区) 県農振総完了(那須北(松子)) 農構完了(迹室針生、一つ椏地区) 団圃完了(千振、狸久保、上川、山中中重地区) 団土地総完了(那須田中、那須田中Ⅱ地区)

那須地方の土地改良区連合名簿

土地改良区連合名	理事長名	住 所	電話番号 FAX	設 立 年月日	面積 (ha)	組合 員数	関係市町	備 考
那須野ヶ原	わたなべ みちたろう 渡辺 美知太郎	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8	0287-36-0632 0287-37-5334	S45.2.17	4,257	3,202	大田原市 那須塩原市	国農完了(那須野原地区)
藤沢用水	たまむら のりゆき 玉村 德行	事務所までお問い合わせください		S39.2.29	332	287	大田原市 那珂川町	団かん排完了(藤沢1・2・3・4地区)

21 関係機関一覧

名 称	郵便番号	住 所	TEL	FAX
大田原市	324-8641	大田原市本町1-4-1	0287-23-8708	0287-23-1507
那須塩原市	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-62-7147	0287-62-7223
(西那須野支所)	329-2792	那須塩原市あたご町2-3	0287-37-5108	0287-37-5116
(塩原支所)	329-2924	那須塩原市中塩原1-2	0287-32-2913	0287-32-3886
那須町	329-3292	那須町寺子丙3-13	0287-72-6911	0287-72-1009
大田原市農業委員会	324-8641	大田原市本町1-4-1	0287-23-8716	0287-23-8287
那須塩原市農業委員会	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-62-7186	0287-62-7184
那須町農業委員会	329-3292	那須町寺子丙3-13	0287-72-6925	0287-72-1009
(公財)大田原市農業公社	324-0041	大田原市本町1-3-1	0287-23-4834	0287-23-4857
(公財)那須塩原市農業公社	325-8501	那須塩原市共墾社108-2	0287-60-1283	0287-60-1284
(一財)那須町農業公社	329-3222	那須町大字寺子丙4-5	0287-73-5545	0287-73-5546
大田原市農業再生協議会	324-0043	大田原市本町1-3-1	0287-23-4921	0287-23-4925
那須塩原市農業再生協議会	325-0062	那須塩原市上厚崎644	0287-73-5015	0287-63-2700
那須町農業再生協議会	329-3222	那須町大字寺子丙4-5	0287-71-2002	0287-72-6680
那須野農業協同組合	325-0017	那須塩原市黒磯6番地1	0287-62-5550	0287-62-6616
栃木県農業共済組合 那須中央支所	324-0063	大田原市町島666-1	0287-23-1633	0287-23-1634
栃木県農業共済組合 那須北支所	325-0001	那須町高久甲5083-2	0287-64-3663	0287-64-3687
酪農とちぎ農業協同組合 那須高原支所	325-0025	那須塩原市下厚崎5-89	0287-62-1540	0287-62-1546
那須箒根酪農業協同組合 本所	329-2801	那須塩原市関谷1590-3	0287-35-3231	0287-35-3315
那須箒根酪農業協同組合 北那須支所	325-0033	那須塩原市埼玉6-772	0287-62-0237	0287-62-0739
栃木県酪農業協同組合 県北支所	325-0027	那須塩原市共墾社96-7	0287-62-0186	0287-62-0564
栃木県開拓農業協同組合	325-0057	那須塩原市黒磯幸町3-9	0287-62-0274	0287-64-2253
関東農政局栃木県拠点	320-0806	宇都宮市中央 2-1-16	028-633-3311	028-634-0042
農政課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2277	028-623-2340
農村振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2333	028-623-2337
経済流通課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2297	028-623-2301
経営技術課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2319	028-623-2315
生産振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2327	028-623-2335
畜産振興課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2344	028-623-2353
農地整備課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2367	028-623-2378
農業総合研究センター	320-0002	宇都宮市瓦谷町1080	028-665-1241	028-665-1759
農業総合研究センター原種農場黒磯農場	325-0033	那須塩原市埼玉9-5	0287-62-0209	0287-62-0204
農業総合研究センターいちご研究所	328-0007	栃木市大塚町2920	0282-27-2711	0282-27-8462
農業総合研究センター原種農場	329-1224	高根沢町上高根沢5904	028-675-5585	028-675-5966
農業大学校	321-3233	宇都宮町上籠谷町1145-1	028-667-0711	028-667-4943
水産試験場	324-0404	大田原市佐良土2599	0287-98-2888	0287-98-2885
県央家畜保健衛生所	321-0905	宇都宮市平出工業団地6-8	028-689-1200	028-689-1279
県南家畜保健衛生所	328-0002	栃木市惣社町1439-20	0282-27-3611	0282-27-4144
県北家畜保健衛生所	329-2747	那須塩原市千本松800-3	0287-36-0314	0287-37-4825
畜産酪農研究センター	329-2747	那須塩原市千本松298	0287-36-0230	0287-36-0516
とちぎ食肉センター	321-3303	芳賀町稲毛田1921-7	028-616-2783	028-616-2788
県立那須拓陽高等学校	329-2712	那須塩原市下永田4-3-52	0287-36-1225	0287-36-8027
(公財)栃木県農業振興公社	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-13	028-648-9511	028-648-9517
なかがわ水遊園	324-0404	大田原市佐良土2686	0287-98-3055	0287-98-3115
JAなすのアグリサポート	324-0041	大田原市北金丸1563-4	0287-23-3333	0287-23-3280

那 須 地 方 の 農 業

令和7（2025）年4月 発行

編集・発行者 栃木県那須農業振興事務所

〒324-0041

大田原市本町2丁目2828-4

TEL 0287-23-3141

FAX 0287-23-7994

ホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g56/index.html>

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ



那須農振HP